

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第37号

令和8年8月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



令和8年度 宮崎大学医学部整形外科学教室新入教室員歓迎会

令和8年4月11日 於：宮崎観光ホテル



令和7年度宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

令和7年11月29日 於 宮崎観光ホテル

目 次

御挨拶	平川 俊一	1
巻頭言	亀井 直輔	2
医局長挨拶	黒木 修司	4
近況報告 ～開業医編～		
尾田整形外科医院	尾田 朋樹	6
おおつかの杜クリニック	福嶋 麻里	8
かわはら整形外科リハビリテーションクリニック	河原 勝博	9
河野整形外科	河野 雅行	11
ごとう整形外科	後藤 啓輔	12
近況報告 ～関連病院編～		13
出向病院担当医師一覧		53
近況報告 ～大学病院編～		55
学会賞受賞		
第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して「エナジー」	今里 浩之	68
第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞受賞および第 5 回日本足の外科学会最多論文賞受賞のご報告	横江 琢示	70
研究助成 報告		
スポーツ庁委託事業研究助成報告	田島 卓也	71
研修報告		
ポルトガル海外研修のご報告	横江 琢示	72
国内研修報告	藤田 貢司	74
同門会・医局行事		
第 150 回西日本整形・災害外科学会学術集会を終えて	田島 卓也	76
令和 7 年度 第 27 回宮崎大学整形外科同門会テニス大会	神薗 豊	77
第 32 回 (令和 7 年度) 同門会ゴルフ大会を終えて	公文 崇詞	78
第 2 回教室杯ゴルフ大会	池尻 洋史	79
オープンキャンパス開催のご報告	長澤 誠	81
日整会バスケットボール大会を振り返って	肥後 聖	82
日本整形外科学会 2026 第二回モルック大会	三橋 龍馬	83
令和 7 年度 第 16 回 宮崎県少年野球検診 (報告)		85
めんそーれ沖縄！ 同期 3 人で行く弾丸リフレッシュツアー	関本 朝日	90
新入会員紹介 (正会員)		
自己紹介	齊藤 友彦	92
自己紹介	佐藤 光	92
自己紹介	松永 咲穂	93

自己紹介	山崎 颯斗	93
同門会総会議事報告		94
教室同門の研究業績 (2024 年)		96
編集後記	大田 智美	121



御挨拶

同門会 会長

ひらかわ整形外科クリニック 平 川 俊 一

同門会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日々の診療に忙しく励まれている事と推察いたしますが、同門会活動にも特段のご理解ご支援を賜り、誠にありがとうございます。四月の同門会総会で会長をもう一期務めよとのことで推挙を頂きました。ただ古参というだけで会長職を重ねるのは今回までと決めておりますので、二年後は是非とも若い世代にお願いしたいと思います。

今年の春も新入局の先生方が会員に加わって下さいました。亀井教授、黒木医局長の地道な入局勧誘のお陰と感謝申し上げます。同門会の使命として教室の支援とありますが、少しでも同門会活動と皆様との距離を近づけたいと考えておりますので、各種同門会行事にもご参加ください。教室におかれましては多くの先生方が業績を上げておられます。同門会としても誇らしい気持ちでございます。

この原稿を書いているのは六月の初めですが、米国のイランへの戦争開始とホルムズ海峡封鎖、それに伴う原油の輸入中断で生活用品のみならず医療関係消耗品が不足し始めております。エボラ出血熱やクルーズ船のハンタウイルス感染騒動など世界規模の感染症パンデミックの危機も繰り返されております。人類は何時になったらもう一段上のステージに上がれるのでしょうか。

今年は日本整形外科学会創立百周年の節目を迎えます。日整会のホームページを是非ご覧ください。「日整会 100 年史 Web 版公開のお知らせ」から長い頁にはなりますが私達が知らない先達たちの業績、苦勞を窺い知ることができます。私も先日軽い気持ちで読み始めましたが、長い歴史の上に自分たちが立っていることが分かります。

この時期は診療報酬改定の混乱の真っ只中であろうと推察いたします。大学病院をはじめとして正当な医療を行なっている医療機関が赤字に陥る様な医療行政は間違っていると思います。薬剤関係も国は薬価の切り下げを強制し、採算の取れない薬剤製造は縮小されています。薬剤の出荷制限も頻発しており発注をお願いしても小開業医には供給されません。ジェネリックの原材料は中国、インドからの輸入に頼っており、製品として日本国内で形を作っているものです。厚生労働省が品質を保証すると言っても、ペニシリン系の薬剤は日本では製造する技術が採算性の面から失われたと聞いております。2030 年には薬剤製造の体制を整えるように国も製薬会社に協力を依頼しているようですが、コロナのパンデミックでも自国で早急にワクチンを開発できず、医療先進国を名乗っているのも憚られます。いつ原薬の供給を止められるか、首元に刃を突きつけられた様な状態であると思わいたします。

色々と懸念事項ばかり書き記しましたが、今後の皆様の参考になれば幸いです。最後に皆様の益々のご活躍をお祈りしまして、巻頭の挨拶としたいと思います。



巻頭言

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野
教授 亀井直輔

広島から宮崎に赴任して、一年半あまりが経ちました。赴任前の私は宮崎に「とにかく遠い」というイメージしか持ち合わせていませんでした。しかし、いざ暮らしてみると、いかに住みやすいところであるかを日々実感しています。暑いという先入観もありましたが、近年は日本中が暑く、本当の猛暑の時期にはむしろ宮崎の最高気温のほうが低いほどです。冬はそれなりに冷え込む日もありますが、雪の心配が要らず、本当に過ごしやすい土地だと感じています。出張で長時間の移動を強いられることは確かに多いのですが、これもちいぶ慣れ、苦にならなくなってきました。皆さんにとっては見慣れた当たり前の風景かもしれませんが、ヤシの木が立ち並ぶ南国らしい景色は、よそから来た私の目には実に新鮮で、見ても飽きることがありません。週末には妻と愛犬とともに海岸を散歩するのを習慣にしていますが、その景色の美しさには、いつも清々しい気持ちにさせられます。他県へ講演に招かれた際には、散歩中に撮った写真を見せて、宮崎の良さをひそかに自慢しています。この環境の豊かさを学生や研修医にも自覚してもらい、この地に残ってもらえるよう、その魅力を伝えていきたいと思っています。

幸い、整形外科には毎年3～5名の入局者があり、大変ありがたく感じています。これも、皆さんが築き上げてこられた教室の土台があってこそだと、深く感謝しています。とはいえ、診療のニーズはますます高まっており、人員が足りているとは言えません。とりわけ今後は女性医師を増やしたいと考えており、そのためには、人員にある程度の余裕がなければ、理想とする働き方は実現できません。現在は医局長が精力的に勧誘にあたってくれており、医局のInstagramも年々印象が良くなってきました。他大学の先生方から「宮崎大学のインスタ、見えていますよ」とお声がけいただく機会も増えています。しかし、勧誘に力を注ぐだけでは、持続可能とは言えません。長期的な視点に立てば、皆さんとともに、宮崎大学整形外科をいかに魅力的なコミュニティへと育てていくかが重要だと考えています。

私は「楽しく働く」というスローガンを掲げ、どうすれば皆が楽しく仕事に取り組めるかを常に考えています。同門会の挨拶でも述べましたが、「楽しく働く」とは「楽をする」という意味ではありません。私は、高いモチベーションを持って何かに没頭している状態こそが、最も楽しんでいる状態だと定義しています。昨今流行りの「推し活」も、没頭できる対象を求めた結果なのではないでしょうか。ですから、どうすれば仕事へのモチベーションが高まるか、という視点で物事を考えるようにしています。難しいのは、興味を持つ対象が人それぞれ異なる点です。ある人にとって楽しいことが、別の人には苦痛に感じられることもあります。だからこそ、多様性を踏まえたうえで、チーム全体としてうまく成果を挙げられるようにしたいと考えています。たとえば大学では一般に、臨床・研究・教育という三つの要素すべてが求められます。研究に強い関心を持って取り組み、精

力的に論文を執筆する先生もいますが、宮崎大学は決して論文数の多い医局とは言えません。しかし、その一方で、臨床現場では手術の技量に秀で、患者さんとのコミュニケーションを得意とする先生が数多くいます。これは宮崎大学整形外科の大きな強みだと考えています。

私は広島にいた頃から「論文作成のアウトソーシング」を勧めてきました。大学や関連病院で学会発表は行うものの、臨床が忙しくなかなか論文が書けない—そうした先生方のデータをお預かりし、論文化するという取り組みです。宮崎でも、少しずつ始めています。他人に論文を書いてもらうことに抵抗はあると思います。しかし、ある程度の年齢になると、苦手なことを頑張っても成長の速度はさほど上らず、ストレスばかりが溜まっていきます。それよりも、得意な人に任せたほうが組織としての効率は高まり、任された側の実績にもなりますから、何ら問題はありません。宮崎大学整形外科のこれまでの英語論文数（医局員が筆頭著者）は年間数編から多くて10編程度ですが、2026年は6月初旬時点でpublish前のacceptされたものも含めるとすでに8編で、投稿中の論文が20編あり、少しずつ成果も出始めているのではないかと思います。

Googleに勤めていた方が『がんばらない働き方』という本を著しています。その方によれば、日本人は課題に直面するとすぐに「頑張ります」と口にするそうです。しかし、努力で得られる効果には限りがあり、「頑張ります」は思考停止に等しいと指摘しています。Googleでは、「成果を10倍にするにはどうすればよいか」を考えるといいです。個人のエフォートに頼っているうちは成果を2倍にすることすら難しいため、何かしらシステムティックな解決策を考えねばならず、その一つがアウトソーシングだというわけです。チーム全員が一様に同じことに取り組むよりも、それぞれが得意なことに注力し、チーム内で助け合ったほうが、効率は上がります。もちろん、うまくバランスをとる仕組みは必要ですが、助け合いの精神を土台に、一人ひとりのモチベーションが高まるような働き方を目指したいと考えています。ですから医局員の皆さんには、自分の置かれた立場や強みを理解し、その強みを伸ばすことでチームに貢献していただきたいと願っています。

私自身も、多様な視点から医局員の皆さんを評価していきたいと思っています。公平であることは大切にしたいと考えていますが、その一方で、「平等」には、私はあまりこだわりません。一人ひとりの能力や個性に応じた働き場所や立場を提供していくことが、私の責務だと考えています。



医局長挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室 黒木修司

このたび、2026年4月より宮崎大学医学部整形外科 医局長を引き続き務めさせていただくこととなりました黒木修司です。

昨年度は、医局長として初めての1年でしたが、日々の医療や教育、そして医局運営に至るまで、多くの先生方のご協力があって初めて成り立っていることを実感いたしました。関連病院の先生方、同門の先生方、そして医局員の皆さまに多くのお力添えをいただきながら、何とか1年を務めることができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しております。特に宮崎大学附属病院においては、医師の働き方改革が本格的に始まり、2026年4月以降は診療体制や外勤、医学生教育など、これまでの体制を大きく見直す必要が生じています。そのため、関連病院の先生方には、外勤体制や学生実習などにつきまして、さまざまなご相談やお願いをさせていただく機会が増えております。日頃より多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、改めて御礼申し上げます。

今回の働き方改革は、医局にとって非常に大きな「変化」であると感じております。しかし、この変化を単なる「制限」ではなく、新たなチャンスとして前向きに捉えております。医学生には臨床実習を通してより多くの関連病院の魅力を実感してもらい、また医局員一人ひとりが、より能動的に、より自由に、より効率的に、そしてより充実感を持って働ける環境を整備することで、関連病院を含めた宮崎大学整形外科教室全体が、さらに魅力ある組織へ発展していけるものと考えております。

医学生や研修医に宮崎大学整形外科教室を選んでもらうことは、医局長として非常に重要な役割の一つです。現在、医学生や研修医にとって、「どのような環境で学び、どのような仲間と働くか」、そして私たちがその魅力をどのように伝えていくかは、これまで以上に重要となっています。当教室では、専攻医や若手医局員が早期から豊富な経験を積み、それぞれが成長を実感できる環境づくりを重視しております。また、多様なキャリアや挑戦を後押しできることも、当教室の大きな魅力の一つです。

さらに近年では、InstagramなどのSNSを活用し、医局の日常、学会活動、スポーツ支援、教育、イベントなど、宮崎大学整形外科のさまざまな取り組みを積極的に発信しております。これまで医局の活動は、実際に関わる先生方にしか見えにくい部分も多くありましたが、今後は「宮崎大学整形外科がどのような医局なのか」を、県内外の医学生・研修医・若手医師にしっかり伝えていくことが重要であると考えております。

SNSでの情報発信は、主として「医学生・研修医」を対象としておりますが、多くの先生方や看護師などコメディカルスタッフの皆さまからも、「活動内容が分かりやすい」と温かいお言葉をいた

だいております。今後もプライバシーに十分配慮しながら、宮崎大学整形外科の魅力や雰囲気を伝えるコミュニケーションツールの一つとして活用してまいります。

2024 年 10 月に亀井直輔先生が教授に就任されて以降、「楽しく働く」をスローガンに、風通しの良い組織づくりがさらに進んでおります。その流れの中で、若手医師が各分野で自らの志向に応じて挑戦できる雰囲気が医局全体に広がっていることを、大変心強く感じております。今後も、医局員それぞれの多様な価値観やライフステージを尊重しながら、「ここで学びたい」「ここで働きたい」と思っただけの医局づくりを目指してまいります。

最後になりますが、宮崎大学整形外科の教室運営を支えてくださる同門の先生方、そして教室員の皆様に心より感謝申し上げます。未熟な点多々ございますが、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人朋実会 尾田整形外科医院（尾田 朋樹）

【1】病院または医院の特色

当院は昭和 52 年 10 月に尾田整形外科医院（有床診療所 19 床）として開設、平成 5 年 3 月に法人化（医療法人朋実会）し、時代の趨勢に合わせて病床区分の変更、病床削減を行い、コロナ禍を経て入院患者数の減少、当直看護師の確保困難という背景から、令和 5 年 1 月に無床化に至った経緯があります。

私は平成 13 年 7 月に常勤医師として勤務、平成 18 年 4 月に副院長に就任し、平成 23 年 3 月に院長に就任して以降、父である理事長と適度な距離感を保ちつつ、日々の診療に励んできました。平成 30 年 11 月、父の逝去に伴い理事長に就任し、現在に至っています。

【2】新規治療・医療機器の導入状況

消炎鎮痛処置のバリエーションと質向上に力を入れています。

電気刺激治療器具として低周波治療、干渉波治療、パルス治療、微弱電流治療、高電圧治療、温熱療法としてマイクロ波治療。加えて牽引療法（臥位・座位）。マッサージ療法としてウォーターベッド、徒手のマッサージ。運動療法としてエアロバイク、DT- 1、滑車を用いた ADL 向上。加えて 2 年前に筋トレ用のマルチマシン（レボルワン）を導入し、当院理学療法士による指導、実践が好評です。

【3】リハビリテーションの現状

現在、諸事情により運動器リハビリテーションは算定しておらず、非常勤の理学療法士 2 名、マッサージ師（女性）1 名による運動療法、徒手療法を消炎鎮痛処置で算定しています。経営的には課題が多いですが、物理療法（上記【2】）の質向上も含め、患者さんにとってコスパは高いと自負しています。

【4】多く診療されている症例

一般的な外傷、肩・膝の変性疾患に加え、頸椎・腰椎の神経障害性疼痛の治療を積極的に行っています。先代理事長の専門領域であった痛風（高尿酸血症、高脂血症）患者さんが多いのも当院の特徴です。

【5】診療受診について

予約制導入	予約不可
診 療 受付時間	<午前> 8:30 ～ 12:00（※受付締め切り時間は要確認） <午後> 13:30 ～ 17:15（※診療開始時間・受付締め切り時間は要確認） ※診療時間内に医師会病院公務（午後 1 時と午後 6 時から）出席のため、不在の時間帯あり

【6】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブーム、休日の過ごし方など)

日々の診療と医師会公務に加え要介護5の母親の介護を兄妹二人で担当しています。心身ともにギリギリの状況でバランスを保っていましたが、最近は体調の安定もあって日常として慣れてきました。せめて週末はゆっくり休みたいのですが、ストレス発散のためのテニスとオープンカーで郊外を散策する時間の捻出に苦慮しており、結果、お酒の量が増えているのが悩みです。マイブームは、驚くほど多機能になったスマホ活用スキルの習得とガジェット趣味に目覚めつつあることでしょうか。(笑)

【1】病院または医院の特色

同一建物内に有料老人ホーム、グループホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所が併設されています。

小さなクリニックで、患者さんは歩いてこられるご近所の方が多いです。

【2】多く診療されている症例

骨粗鬆症、変形性膝関節症など

【3】診療受診について

予約制導入	予約不可
診療 受付時間	月～土 <午前> 8:30～12:00

【4】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブーム、休日の過ごし方など)

運動はプール時々海です。ギターを習い始めて4年半になりますが、なかなか上達しません。

【1】病院または医院の特色

宮崎市清武町加納で戸田整形外科を継承して11年になります。
医院の名前のあるように運動器リハビリを中心としたクリニックです。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

- ・マッケンジー法を用いた運動療法（腰部ならびに頸部を中心に）
- ・体外衝撃波（拡散型ならびに収束型）を用いた足底腱膜炎や筋腱付着部炎、疲労骨折などの治療
- ・産後ケア実務理学療法士の認定を受けたPTによる理学療法
- ・宮崎県ATの資格ならびに日本スポーツ協会公認のトレーナーやNSCA CSCSの資格を持つPTによるスポーツ選手に対するリハビリ
- ・スポーツナースも在籍しており、県内の大会などに帯同しています。

【3】新規治療・医療機器の導入状況

2025年7月に収束型体外衝撃波（BTL-6000）を導入し足底腱膜炎や石灰沈着性腱板炎・疲労骨折の治療を行っています。（一部自費診療）

【4】リハビリテーションの現状

物療については予約なしで行っています。
理学療法は予約制で行っています。現在PT7名在籍

【5】多く診療されている症例

大学勤務時はスポーツグループに在籍していましたので、スポーツ外傷や障害の患者さんについてはしっかりと対応しています。
しかし、開業医ですので外傷、変性疾患、小児など一般整形についても対応しています。
また体外衝撃波を導入している関係から足底腱膜炎などの患者さんも多く来院されています。

【6】受診方法について

予約制導入	予約不可（受付順で行っています。） 理学療法ならびに装具作成については予約制としています。
診療 受付時間	月・水・金 <午前> 8:50～12:00 <午後> 14:20～18:00 ※水曜日は19:30まで 火・木・土 <午前> 8:50～12:30 日曜日ならびに祝日は休診 当番医があった場合は代休をとることがあります。

【7】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブーム、休日の過ごし方など)

- ・ 6年前に娘が増えました（トイプードル6歳）毎朝の散歩が日課です。
- ・ 中学から大学まで行っていたソフトテニスを4年前から再開しました。市内のクラブチームに加入をして、年に3回秋田杯という大会にも参加しています。
- ・ 3年前から子供達を楽しんでいたウマ娘の影響でリアルの競馬を見るようになりました。市内の育成牧場に行ったり、実家が阪神競馬場のそばですので帰省時にタイミングが合えば足を運ぶようになりました。
- ・ ゴルフもぼちぼちしています。パーティに空きがあったりコンペがありましたら誘ってください。

【1】病院または医院の特色

1980年19床の有床診療所開業して46年経ちました。田舎に準じた場所であり様々なジャンルの疾患が来院しています。開業当初は近くに医療機関も少なく救急病院も有りませんでした。整形外科疾患のみではなく、お産以外のあらゆる疾患が来院し、可及的に自院で対応していました。

【2】新規治療・医療機器の導入状況

特別なものは有りませんが、診療に必要な最小限の機器を導入しました。様々なリハ機器、MRI、CT、MMG、エコー、DEXA、モアレ、手術場用イメージ等々ですが、幾つかは使用する機会も少なく、故障しても部品が無いとか修理に莫大な費用を要しますので稼働していないものも有ります。今後は時代や国の要請もあり電子カルテ導入を検討していますが、種類が多すぎて選択に迷っています。どなたかアドバイスをお願いします。

【3】リハビリテーションの現状

整形外科にとって運動器リハは必須です。単なる物療では医療類似の施術と変わり映えがしませんので、特色を出そうと苦勞しています。田舎故、当初はPTの確保に苦勞しましたが、現在ではある程度の人数確保が来ています。

【4】診療受診について

予約制導入	予約不可
診療 受付時間	9:00～18:00 当初は午前8時から夜8時までの診療でしたが、働き方改革の影響と職員確保が困難となり現在は朝9時から夕方6時までとしております。

【5】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブーム、休日の過ごし方など)

親子2名で診療しています。親・雅行は高齢になりリタイアしたいところですが、医師会の役職もありなかなか思うように出来ません。一生現役も止むを得ないと腹を括りました。子・雅充は地域医療に目覚めて併設の介護施設や訪問診療にも汗をかいています。今後の地域医療は専門単科のみではなく、患者さんの要請があれば「何でも屋」であることが必要ではないかと思います。

【1】病院または医院の特色

特別の事はやっておりません。普通の整形外科で開業しております。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

リハビリ機器も特別なものはなく、理学療法士も1名だけでおすすめの治療と言えるものはありません。

【3】新規治療、機器の導入状況

治療や機器の導入も、開業以来15年、変わってません。

【4】リハビリテーションの現状

PTは、1名のみで、ほぼリハビリ機器で消炎治療が中心です。

【5】多く見られている症例

無床診療所なので、特化した主な症例はありません。

【6】診療受診について

予約制導入	予約不可	
診 療 受付時間	月・水・木・金	8:45～17:30
	火・土	8:45～12:00

【7】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブームなど)

健康維持で、診療終了後、エアロバイク30分を週3回、15年間してます。

宮崎江南病院

益山 松三、甲斐 糸乃、吉川 大輔、鎌田 綾、日高 三貴、福永 幹、當瀬 雅大

【1】病院または医院の特色

回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を有していることから、リハビリテーション（術後中心）が充実しています。また、外傷をはじめとし、脊椎疾患、膝関節鏡視下手術、手外科関連手術など多岐にわたる手術・診療をおこなっています。入院を要する保存治療症例（脊椎圧迫骨折、恥坐骨骨折など）の受け入れや、透析中の整形患者さんの受け入れも当院の大事な役割だと思っています。

【2】新規治療、機器の導入状況

2026 年 4 月より関節センター（センター長：吉川大輔）を開設しました。特に膝関節を中心とし、関節鏡による治療から人工関節まで加療を行っています。膝関節手術症例の相談については吉川が対応します。

また、脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術（BKP）をはじめ、腰部脊柱管狭窄症に対する手術加療も行っています。

【3】リハビリテーションの現状

理学療法士 37 名 作業療法士 19 名 言語療法士 2 名（介護老人保険施設・訪問リハビリテーションスタッフ含む）でリハビリにあたっています。大学病院を中心に、周囲急性期病院からのポストアキュート患者受け入れを行っています。＊院外からの外来リハビリテーションや物理療法は受け付けておりません。

【4】主な症例

腰部脊柱管狭窄症、胸腰椎圧迫骨折

半月板損傷、ACL、変形性膝関節症 変形性股関節症 大腿骨頭壊死

手外科関連疾患（手指外傷、手関節周囲骨折／偽関節、肘周辺外傷、TFCC 損傷、変形性手指／手関節症、絞扼性神経障害 等）

下腿骨骨折、足関節周囲骨折 大腿骨近位部骨折などの外傷疾患

【5】診療受診について

予 約	初診：全例紹介予約制、必ず医療連携相談室を通じて予約お願いします TEL：0120-855-082 Fax：0120-855-083
診 療 受付時間	8：30～11：00

【6】 外来、病床の混雑状況

基本的に混雑しています。待ち時間はご了承ください。

特に夏休みは小児・学生などにより混雑します。

膝関節疾患は月・水、手外科関連疾患は月・木・金にご紹介ください。

近年、手外科関連疾患のご紹介患者増加に伴い初診予約のご希望に添えないことがあります。ご了承ください。

【7】 転院について

窓 口	医療連携相談室 TEL：0120-855-082 Fax：0120-855-083
曜日など	担当により受け入れ曜日は異なります。連携室を通しての調整となります。 基本的には午前に転院してきて頂きます。

【8】 急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	骨折など
連絡先	0985-51-7575（平日は益山もしくは甲斐，時間外は当番医が対応します）		
受付時間	8：30～17：00（平日）		

Message～病院からのお願いなど～

- ・緊急性を要する外傷性疾患や麻酔を要する小児症例などは事前にご連絡をお願いします。
- ・緊急性、準緊急性の場合には紹介状の宛名は「外来担当医宛」でご記載ください。



宮崎市郡医師会病院

池尻 洋史、戸田 雅、木戸 義隆、森田 恭史、池末 和弘

【1】病院または医院の特色

骨折を中心とした急性期外傷の手術治療に特化した病院。

THA や TKA/UKA も行っている。

循環器内科が充実しており、他院で対応困難な症例を県内全域から受け入れている。

【2】リハビリテーションの現状

入院リハビリのみ。原則外来リハビリは行っていない。

【3】主な症例 2025年調べ

2025 年調べ 手術総数 1386 例 主な症例は以下の通り

ガンマネイル 220 例、人工骨頭挿入術 255 例、橈骨遠位端骨折 90 例、THA 75 例、TKA 23 例、UKA 41 例、足関節部骨折 36 例、アキレス腱縫合術 24 例、小児骨折（前腕骨骨折 35 例、上腕骨顆上骨折 11 例、上腕骨外顆骨折 4 例）

【4】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	月～金 8：30～17：15 ※急患の場合 24 時間 365 日受け付けている。

【5】外来、病床の混雑状況

外来は紹介患者および術後 follow の患者のみ。紹介患者は電話による Dr. to Dr. で対応

入院患者は手術症例のみで保存治療の患者は速やかに転院してもらっている

急患にいつでも対応できるようにベッドは確保している

【6】転院について

窓口・曜日 など	当院への紹介は、電話による Dr. to Dr. で対応 当院から他院への転院の場合は地域連携室を通して行っている。
-------------	---

【7】急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	平日・休日問わず基本的にいつでも対応します 急ぎでない場合には平日に紹介頂けると助かります 脊椎疾患は対応できません
連絡先	代表：0985-77-9101		
受付時間	急ぎであれば 24 時間		

Message～病院からのお願いなど～

手術件数は年々増え続け、2025 年は 1300 例以上に達しました。時間外についても救急車は宮崎市郡のみならず西都児湯地区からも広く受け入れており、さらに夜間急病センターや休日当番医からの紹介にも対応しています。小児の骨折や開放骨折などの緊急性の高い症例についてはできる限り対応しています。現在勤務医は 5 名ですが決して充実しているとは思えません。ですが宮崎の救急医療を支えるためにも頑張っていきたいと思いますのでご協力お願いいたします。



宮崎善仁会病院

黒田 宏、松岡 篤、河野 勇泰喜、鮫島 央

【1】病院または医院の特色

主に人工関節手術と骨折外傷手術を行っています。救急部がありますので外傷が多い印象です。

【2】新規治療、機器の導入状況

MRI2 台（1.5/3.0）、CT2 台あります。

【3】リハビリテーションの現状

入院患者は元旦を除きリハビリしています。外来でのリハビリ依頼は受けておりません。

【4】主な症例

TKA、THA、骨折外傷全般

【5】診療受診について

予 約	不可
診 療 受付時間	【初診】8：00～11：00 【再診】8：00～12：00

【6】転院について

窓 口	医療福祉サービスセンター TEL：0985-26-1672
-----	-------------------------------

【7】急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	外傷全般
連絡先	代表：0985-26-1599		
受付時間	24 時間		

宮崎県立こども療育センター

川野 彰裕、梅崎 哲矢、山元 楓子

【1】病院または医院の特色

障害児医療や小児整形疾患の診療が主体ですが、麻痺性の骨関節変形に対する診療も行っております。センターの特徴として、小児の股関節エコーや歩行分析などの検査、股関節脱臼や先天性内反足の治療、痙性麻痺に対するボツリヌス毒素療法などが可能です。毎週火曜日が手術日となっております。現在、痙性麻痺に対する治療として大学病院と連携しバクロフェン髄注療法の症例を増やしており、今後は選択的脊髄後根切断術（SDR）も宮崎で導入できるように進めております。

【2】リハビリテーションの現状

小児から成人の方まで対応しております（PT・OT・ST）。小児の場合、最大週に1回の頻度でリハビリが可能です。補装具の対応、発達障害における特性の評価、嚥下造影検査なども行っております。

【3】主な症例

脳性麻痺、发育性股関節形成不全（股関節脱臼・臼蓋形成不全）、先天性内反足、ペルテス病、二分脊椎、斜頸、骨系統疾患、脚長差、O脚・X脚、筋ジストロフィーなど。手術は脳性麻痺の股関節や足関節の筋解離術や骨切り術、ペルテス病に対する大腿骨骨切り術、斜頸に対する腱切離術、骨延長術、骨端軟骨发育抑制術など行っております。

【4】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	月曜日 8:40～16:00 木曜日・金曜日 8:40～11:30

【5】外来、病床の混雑状況

基本的に新患も再診も完全予約制としております。ご家族からの連絡にて予約を取っております。急ぎの場合には直接ご連絡いただければ柔軟に対応させていただきます。

【6】転院について

窓 口	地域連携室がないので、外来または医師に直接ご相談ください。
-----	-------------------------------

【7】急患対応について

対応可否	緊急手術は麻酔科不在のため難しいのですが、当センターで可能なことは対応させていただきますのでご相談ください。
------	--

Message～病院からのお願いなど～

小児運動器疾患や麻痺性疾患について困るようなことがありましたらいつでもご相談ください。また小児に限らず成人でも対応できることがありますので、遠慮なくご相談ください。

補足：CT・MRIはありません。多指（趾）症や脊椎の手術は行っておりません。



【1】病院または医院の特色

脊椎疾患・スポーツ外傷などに対する手術・保存治療・リハビリテーションを中心に行っております。
また大学病院をはじめ他院での手術患者さんに対する術後リハビリテーションも可能な限り受け入れております。

さらに、本年度より日本脊椎脊髄病学会・専門研修施設に認定されましたので脊椎脊髄専門医を目指す医局の先生方の研鑽の場として貢献出来ればと思っております。

【2】新規治療、機器の導入状況

脊椎：経皮的椎体形成術（BKP）及びセメント注入型スクリューを用いた固定術

腰椎前外側椎体間固定術（ORIF）

椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法 など

関節：1）早期膝 OA に対する加療

①超音波ガイド下インターベンション、膝神経ブロックを含む保存治療

②骨髄由来フィブリンクロットを併用した関節鏡視下半月縫合術及び制道術

③高位脛骨骨切り術（OWHTO）の併用

2）外脛骨・分裂膝蓋骨・Osgood 病等のスポーツ障害の難治例手術

【3】リハビリテーションの現状

リハビリテーション部では学生スポーツ選手のリハビリ・指導を継続的に行っています。

【4】主な症例

脊椎：腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症・腰椎すべり症・頸椎症性脊髄症・頸椎 OPLL・胸椎 OYL・脊椎圧迫骨折 など

関節：膝半月板損傷・靱帯損傷・変形性膝関節症・肩腱板損傷 など

その他：各種外傷 など

【5】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	平日 【初診】＜午前＞ 8：10～11：30 ＜午後＞～16：30 【再診】＜午前＞ 8：10～12：00 ＜午後＞～17：00 ※手術予定によっては午後休診の場合もあります。 土曜（午前のみ）【初診】8：10～11：30 【再診】8：10～12：00

【6】 外来、病床の混雑状況

外来は、混雑する時間帯は平日 8：10～10：00頃、

また、毎週火曜・木曜の午前中は混雑する傾向にあります。

病床は、7～8月および10月、整形中心の3階病棟稼働数は満床傾向にあります。

【7】 転院について

窓 口	地域連携室 0985-28-8555
曜日など	転院希望日や曜日は要相談、 転院日の到着時間は10時をお願いしております。

【8】 急患対応について

対応可否	不可
------	----



独立行政法人 国立病院機構 宮崎東病院

黒木 浩史

【1】病院または医院の特色

独立行政法人国立病院機構が運営する病院で、歴史ある呼吸器内科、宮崎県の神経筋分野難病拠点である脳神経内科をはじめ内科、小児科、外科・呼吸器外科、放射線科、腫瘍内科、児童精神科、整形外科といった診療科があります。宮崎市赤江地域自治区、宮崎空港のすぐそばに位置し、高速道路のインターチェンジも近く立地に恵まれています。

現在、本病院は過渡期を迎えています。2017年に新病棟が完成し拡大路線を歩んでいましたが、2020年に始まった新型コロナウイルス感染症流行が一段落した2024年以降も減少した患者数が回復せず、財務状況の悪化から病院幹部の判断で、急激な病院規模の縮小が断行されました。結果、段階的に5つの病棟中2つの病棟が閉鎖され、病床数が元々の250床から現在140床に激減しました。

【2】新規治療、機器の導入状況

診断機器は充実し、単純X線撮影機器、X線透視装置のほか、CT、MRI、RI、PET、DEXA、超音波診断装置、筋電計があります。

ただしC-armが導入できておらず、透視を要する処置、手術には対応できません。

脊椎手術は手術用顕微鏡視下を実施しています。

※MRIなどの画像診断は混雑していないため、比較的早急に対応できます。（当院放射線部に電話でご相談の上ご予約下さい）

【3】リハビリテーションの現状

リハビリテーション部は、理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名で構成され、心大血管疾患リハを除く、運動器リハ、呼吸器リハ、脳血管疾患リハ、がんリハなどほぼすべての疾患に対応しています。平成30年7月からは神経難病患者に対しHybrid Assistive Limb (HAL) リハを導入し実施しています。

【4】主な症例

外来では一般整形外科全般の診療を行い、手術など専門的治療を要する患者様は宮崎大学病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、宮崎善仁会病院などに紹介し対応して頂いています。手術については、毎日外来診療を実施し、また麻酔科が非常勤であることもあり、火曜日の午後に枠を設け、脊椎手術を中心に手掛けています。その他、充実したリハ部門を活用し、術後患者を受け入れ入院リハビリを行っています。

【5】診療受診について

予 約	可 ※ただし予約なしでも初診対応はしています。
診 療 受付時間	8:40～11:00（再診患者の診察は、時間が合えばその他の時間も実施しています）

【6】 外来、病床の混雑状況

外来の混雑状況は日によって異なります。初診の場合は、予約しておくことで比較的滞りなく実施することができます。

病床は入院が全くてできない程、混んでいることはありません。ただ病床数の削減により、調整を要することが予想されます。入院の段取りを進めるには、地域連携室を経由するとスムーズです。また初診からの即日入院は、一人勤務であるため、他業務の兼ね合いもあり難しい場合があります。

【7】 転院について

窓 口	地域連携室 TEL：0985-56-2311 Fax：0985-56-2275（病院代表）
曜日など	特に転院日は決めていません。こちらの業務量、病棟の受け入れ態勢を確認した上で、できるだけ相手医療機関のご希望に添えるよう手配致します。

【8】 急患対応について

対応可否	原則、不可 ※一人で外来・病棟診療にあたっているため、常に何らかの業務に従事していることが多く、急患に時間を割きづらい環境にあります。ただし時間に余裕があれば、できる対応はするよう心掛けています。
------	---

Message～病院からのお願いなど～

こちらに赴任し 13 年目になり、本院の診療体制は大きく変わりつつあります。しかし当科では、これまで通り、変わらず近隣医療機関と協力し地域医療に資する努力を継続して参ります。今後ともご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

あと手術室は 2 室整備され常に稼働できる状態にあります。手術機器、麻酔医を手配することで、来院して手術を執刀して頂くことが可能です。その後の入院での術後管理、リハビリも引き続き行えます。ご希望、ご興味のある先生はご連絡下さい。

潤和会記念病院

帖佐 悦男、川野 啓介、福嶋 研人、坂本 竜一(リハ)

【1】病院または医院の特色

当院は急性期病棟から回復期病棟や緩和ケア病棟などを有するケア・ミックス型の病院です。県内で唯一の一次脳卒中センターコア（PSC コア）の認定を受けており、急患は脳卒中の患者さんが中心ではあります。

その中で整形外科は 2022 年度より増員となり少しずつではありますが、外来 / 入院患者さんも増えております。主に関節疾患、脊椎疾患、骨粗鬆症などを中心に診療を行っております。整形外科においても救急患者さんから外来、入院、リハビリまで幅広く需要に対応できるように目指しております。

【2】リハビリテーションの現状

当院ではご紹介での外来リハビリテーションは基本的に行っておりません。

入院でのリハビリは地域包括ケア病棟では整形外科が回復期病棟ではリハビリテーション科の先生が担当しています。患者支援室を通じてご紹介いただければ幸いです。

【3】主な症例

手術症例は下肢の関節疾患と脊椎疾患が主です。（変形性股関節症、変形性膝関節症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、腰椎圧迫骨折、頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靱帯骨化症、頸椎椎間板ヘルニアなど）

術式としては関節疾患で人工関節（THA、TKA、UKA）を、脊椎疾患は椎弓切除、椎間板摘出術、後方椎体間固定術、椎体形成術（BKP）、頸椎椎弓形成などを中心に行っております。

【4】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	月曜～金曜 8:00～11:00 <担当> 月曜日：帖佐 火曜日 / 木曜日：川野、福嶋 水曜日：大学医師（比嘉） 金曜日：大学医師（松本） 事前にお電話で予約をいただくとスムーズです。 詳細は HP をご参照ください。

【5】 転院について

窓 口	患者支援室 TEL：0985-47-5314（8：30～17：30） Fax：0985-47-5323
曜日など	基本的に転院は火曜、木曜（川野・福嶋の外来日）の午前中をお願いしています。転院した際に今後の治療方針をご説明させていただいているため外来日の午前中での転院をお願いしております。

【6】 急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	すべての急患対応はできていません。脊椎疾患の急患は可能な限り対応します。
連絡先	代表：0985-47-5555（川野または福嶋までご連絡ください。）		
受付時間	8：30～17：30		



宮崎市立田野病院

矢野浩明、北島潤弥、山下紀美子

【1】病院または医院の特色

地域医療を中心にした病院です。大学が指定管理者です。

【2】リハビリテーションの現状

外来リハビリは術後患者や高齢者のリハビリが多いです。

【3】主な症例

変形性股関節症 変形性膝関節症 脊椎圧迫骨折

【4】診療受診について

予 約	可
受付時間	8：00～16：45

【5】転院について

窓 口	連携室経由が最も確実です。
曜日など	転院は、週末以外は OK です。

【6】急患対応について

対応可否	可（緊急手術などの対応はできません。）
------	---------------------

Message～病院からのお願いなど～

急性期の病床が少なく、包括病床がほとんどです。手術は THA/TKA がメインです。
のんびりリハビリしたい方向けですね。

宮崎県立延岡病院

栗原 典近、小藺 敬洋、増田 寛、川越 亮、鮫島 勇汰、濱川 晃輔

【1】病院または医院の特色

県北の外傷の最後の砦として、医療を担っています。外傷の種類も多様です。同時に脊椎手術と人工関節のできる特色があります。興味のある方はどうぞいらっしゃってください。

【2】新規治療、機器の導入状況

脊椎手術時のナビゲーションを使用。

【3】リハビリテーションの現状

基本は入院リハビリのみです。

【4】主な症例

2025 年度の手術数は 819 件　うち緊急手術 141 例
脊椎 111 例　TKA44 例　THA45 例　その他外傷各種

【5】診療受診について

予　約	可
診　療 受付時間	8：30～（火曜のみ 9：30～）

【6】外来、病床の混雑状況

<外来日>月、火、木（午前中）

病床は 47 床でほぼ満床です。

【7】転院について

窓　口	連携科　FAX にてお申込みください。　Fax：0982-32-6150
曜日など	転院希望日は特に決めていません。

【8】急患対応について

対応可否	可
連絡先	救急科に直接連絡してください。待機できる症例は整形外科に連絡をお願いいたします。

Message～病院からのお願いなど～

急患は出来るだけ対応したいと思っておりますが、マンパワーの関係や満床の場合、手の外科や腫瘍など当院では対応できない疾患はご迷惑をおかけします。



高千穂町国民健康保険病院

塩月 康弘、肥後 聖

【1】病院または医院の特色

山に囲まれ自然豊かな環境で身体にいいかと思われがちですが、盆地なので夏は暑く、冬はとっても寒く氷点下7度まで経験できます。

常勤医 12 名と規模は大きくないので他科との連携は良く、仕事はしやすい環境です。

【2】リハビリテーションの現状

理学療法士 6 人、作業療法士 2 人、言語聴覚士 1 人体制です。

【3】主な症例

高齢者の骨折が多いのは他の施設と同様です。農林業が盛んなこともあって刈り払い機、チェーンソーによる鋸歯損傷も毎年数人発生しています。

【4】診療受診について

予 約	不可	診療受付時間	8:00～11:00
-----	----	--------	------------

【5】外来、病床の混雑状況

毎年5月は田植え前ということもあり受付後診察まで3～4時間待ちとなります。

特に9～10時に受付すると待ち時間が長くなる傾向にあります。

【6】転院について

窓 口	医療連携室の専従担当者がおります。 直通電話回線はありませんので病院代表までお願いします。
曜日など	ベッド空があればいつでも受け入れております。

【7】急患対応について

対応可否	可
急患扱いの 症状	夜間・休日はスタッフ不足 で緊急手術は困難です。



美郷町国民健康保険西郷病院

外山 宗樹

【1】病院または医院の特色

僻地医療機関で自治医大卒業医師派遣先です。

【2】主な症例

変形性関節症、骨粗鬆症、その他

2025 年 4 月に DEXA 導入し、骨粗鬆症診療に力を入れています。

【3】診療受診について

予 約	可	診療受付時間	8 : 00 ~ 16 : 30
-----	---	--------	------------------

【4】外来、病床の混雑状況

最近は混んでいます。

【5】転院について

窓 口	外来看護師
曜日など	いつでも受け入れます。

【6】急患対応について

対応可否	可
受付時間	町内の一次救急全般を 24 時間 365 日対応しています。



宮崎県済生会 日向病院

内田 秀穂、大倉 俊之

【1】病院または医院の特色

急性期病棟、回復期リハ病棟、地域包括病棟があり必要に応じた入院治療が可能です。

【2】新規治療、機器の導入状況

脊椎手術用の顕微鏡及び関節鏡を完備しております。

【3】リハビリテーションの現状

理学療法士 17 人、作業療法士 12 人、言語聴覚士 2 人により幅広い疾患に対応しています。

【4】主な症例

骨折一般、人工関節手術、関節鏡手術、脊椎手術など多岐にわたります。

【5】診療受診について

予 約	可	診療受付時間	8：30～11：30
-----	---	--------	------------

【6】外来、病床の混雑状況

あらかじめ電話で受診可能か確認していただくようお願いします。

【7】転院について

窓 口	地域連携室 TEL：0982-57-3830
-----	------------------------

【8】急患対応について

対応可否	可
連絡先	外来に連絡をお願いします。（時間外は救急外来をお願いします。）

Message～病院からのお願いなど～

恩賜財団済生会は、1911年に明治天皇の「恵まれない人々にも医療の手を差し伸べるように」との済生勅語により創設されました。当院は1958年に地域の強い要望を受けて開設され、本年で開院68年を迎えました。急性期病床81床、地域包括ケア病床26床、回復期リハビリテーション病床42床、療養病床30床の計179床を有するケアミックス型病院です。

診療科は、内科、外科、整形外科、脳神経内科、小児科、眼科、放射線科を常勤医が担当し、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科については宮崎大学医学部附属病院からの非常勤医師の派遣により診

療を行っています。

整形外科は、内田、大倉の2名の常勤医に加え、宮崎大学医学部附属病院整形外科からの応援を受けて診療を行っています。毎週火曜日にはスポーツグループの森田雄大先生、毎週水曜日には脊椎グループの天野翔太先生にご診療いただき、それぞれの専門分野における高度な医療を提供しています。

また、地域の医療機関の先生方との密接な連携のもと、手術適応の検討から術後フォローアップ、逆紹介に至るまで一貫した診療を心がけています。2025年1月1日から2025年12月31日までの1年間における当院整形外科の手術実績は下記のとおりで、人工関節置換術（股関節・膝関節）、人工骨頭挿入術、骨折観血的手術を中心に計279例の手術を施行いたしました。

今後も宮崎県北部地域における公的医療機関としての役割を果たし、地域医療の発展に貢献できるよう努めてまいります。

整形外科スタッフ一同、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（手術症例）

人工関節置換術（膝）	34例
人工関節置換術（股）	20例
人工骨頭挿入術（股）	28例
骨折観血的手術	69例
関節内骨折観血的手術	12例
関節鏡視下靱帯断裂形成術（十字靱帯）	13例
関節鏡視下半月板縫合術	3例
関節鏡視下滑膜切除術	4例
手根管解放術	24例
脊椎椎弓切除術	2例
その他	70例
計	279例



国立病院機構 宮崎病院

安藤 徹、川越 秀一、岩佐 一真

【1】病院または医院の特色

当院は国道 10 号線沿いの宮崎市と延岡市のほぼ中間に位置する川南町にあり、全国に 140 施設ある国立病院機構に属する 180 床（一般 60 床、重症心身障がい児 120 床）の病院です。整形外科および内科を中心とした一般診療に加え、政策医療としてのセーフティネット系医療である心身障がい児医療を提供しております。整形外科では急性疾患から慢性疾患まで幅広く対応しており、西都児湯 2 次医療圏を中心とした地域密着型の病院として質の高い医療の提供ができるよう日々努力しております。

【2】新規治療、機器の導入状況

2025 年 10 月から岩佐一真先生が赴任され、これまで以上に下肢手術（人工関節、外傷）への対応が可能になりました。

【3】リハビリテーションの現状

当院は理学療法士 6 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 1 名で構成され、主に整形外科、重症心身障がい児の領域を中心としてリハビリテーションを行っております。整形外科では術前や術後早期からリハビリ介入し、必要に応じて外来リハビリも行っております。

【4】主な症例

変形性股関節症、変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、変形性肩関節症、肩腱板断裂、膝半月板損傷、肘部管症候群、手根管症候群、一般外傷など

【5】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	月、火、木、金 8:30～11:00 ※救急は時間外でも可能な限り対応いたします。

【6】外来、病床の混雑状況

時期にもよりますが混雑する場合がありますので、受診や入院の希望がある場合には事前に電話等でご確認いただくと良いかと思われます。

【7】転院について

窓 口	地域医療連携部門（フリーダイヤル 0120-27-2876）（専用電話 0983-27-2728）
曜日など	特に設定しておりません。状況に応じて地域連携室を通して決定しております。

【8】急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	事故・外傷後の傷や四肢の疼痛など
連絡先	0983-27-1036	受付時間	24 時間対応

Message～病院からのお願いなど～

お蔭様で当院常勤の整形外科医は現在 3 名体制を維持できており、手術症例数も年間 650 例を超えるなど右肩上がりとなっております。西都児湯地域を中心に質の高い医療を提供できるよう日々精進して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



【1】病院または医院の特色

救急車年間 1000 台以上受け入れている救急対応病院であり、196 床（急性期、地域包括ケア）で多くの診療科（内科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、放射線科、+（非常勤）耳鼻咽喉科）が治療をおこなっています。

整形外科は 2025 年度 430 件の手術をしており、特に人工関節手術を積極的に取り組んでいます。大学から大田先生に非常勤で来ていただいております、手の外科の手術も順調に増えてきました。外来は一般外来の他に、リウマチ外来（予約制）、人工関節外来、手外科外来と専門に特化した外来もおこなっております。

【2】新規治療、機器の導入状況

2025 年 4 月より人工関節手術（膝、股、肩、肘）に対応できるようになりました。

【3】リハビリテーションの現状

入院リハビリがメインであり、外来リハビリはマンパワーの範囲内でやっています。

【4】主な症例

〈手術〉 2025 年度手術 430 件

外傷（203 件）、人工関節（110 件）、大田先生執刀・手外科（40 件）、その他
脊椎手術以外は幅広く対応しています。

〈外来〉 一般外来、リウマチ外来、人工関節外来、手外科外来（大学大田先生）

【5】診療受診について

予 約	リウマチ外来のみ予約制
診 療 受付時間	外来診療時間 8:30 ～ 17:30(月～金曜日) 8:30 ～ 12:30(土曜日)

【6】外来、病床の混雑状況

（外来）非常に混雑していますが、急患や紹介患者は何とかして受け入れますので、いつでも御連絡、御紹介ください。処方依頼、リハビリ依頼などは受け入れが難しいこともありますので御配慮していただければ幸いです。

（病床）原則空床があります。満床やひっ迫はまれです。当院では整形外科病床はなく、全病床が全診療科の共通病床のため、急な場合も調整が比較的容易です。

【7】 転院について

窓 口	地域連携科 TEL：0982(52)7111(代表)
曜日など	月～金（午前、午後）、土（午前）

【8】 急患対応について

対応可否	脊椎疾患以外は原則可	急患扱いの症状	手術、入院が必要な場合
連絡先	0982(52)7111(代表)	受付時間	8:30～17:30(月～金曜日) 8:30～12:30(土曜日)



都城医療センター

濱田 浩朗、吉川 教恵、松永 美穂

【1】病院または医院の特色

病床数 305 床、22 の診療科と研究検査科を持つ中核的な総合病院です。

当院はがん拠点病院、透析も有しているため、通常の外傷よりは、合併症のある患者さんの外傷や人工関節の症例が多いです。また、整形外科はリウマチセンターも併設しており、関節リウマチをはじめとした体軸性脊椎関節炎や乾癬性関節炎などのリウマチ性疾患に対し、薬物療法から、リハビリテーション、手術療法まで総合的なアプローチで治療を行っています。

【2】新規治療、機器の導入状況

2025 年に股関節手術支援として、Rolex Table を導入し、術者 1 人でも人工骨頭や THA も手術が可能になりました。

2026 年 9 月頃に COOLIEF 治療を導入予定です。

【3】リハビリテーションの現状

入院リハのみですが、理学療法士 5 名、作業療法士 3 名、リハ専門医 1 人で、心リハ以外は可能となっています。

【4】主な症例

外傷、人工関節（膝、股、肘、指）、足趾形成、透析の症例、四肢切断等の手術を行っています。関節リウマチに関しては、滑膜切除や人工関節、関節形成、外反母趾、前足部形成、関節固定等の手術療法の他、外来や入院での bDMARDs、tsDMARDs の導入も積極的に行っています。

【5】診療受診について

予 約	可
受付時間	水曜以外の午前 11 時まで

【6】外来、病床の混雑状況

外来に関しては、予約制のため、あまり混雑はありません。リウマチ外来については、他科との兼ね合いで採血待ちが多くなると、混雑することがあります。

病床については、地域包括ケア病棟を有しているため、一般病棟の病床コントロールがスムーズにできます。

【7】 転院について

窓 口	地域連携室
曜日など	特にありません。

【8】 急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	外傷、感染など
連絡先	地域連携室、もしくは吉川までお願いいたします。		
受付時間	いつでも可能です。		

Message～病院からのお願いなど～

初診、特にリウマチ外来は、紹介制で、事前に採血データ等の情報提供が必要です。

橘病院

柏木 輝行、小島 岳史、石田 翔太郎

【1】病院または医院の特色

人工関節置換術（股、膝）、膝周囲骨切り術を中心に、スポーツ外来、サーフィン外来も行っております。医師やコメディカル職員の学会参加・論文発表も積極的に行っています。

また、都城市の中心にあり、周辺のホテルや花屋とも提携、街中清掃活動など都城地域の活性化にも取り組んでいます。

Instagram や TikTok など SNS を活用した情報発信にも力を入れております。

2025 年、2026 年には「World's Best Hospitals 特別賞」を 2 年連続受賞いたしました。

【2】新規治療、機器の導入状況

2021年 11月～Stryker Makoを宮崎県で初導入しました。

2023年 3月～体外衝撃波治療装置を導入しました。

2023年 5月～PRP療法開始しました。

2025年 10月～京セラCUVISを日本国内で初導入しました。

2026年 1月～Smith & Nephew CORIを導入しました。

2026年 1月～APS療法開始しました。

2026年 5月～クーリーフ治療開始しました。

【3】リハビリテーションの現状

365 日休まないリハビリテーションを行っています。

【4】主な症例

人工関節置換術（股、膝、足関節）、スポーツ外傷（膝関節鏡、足関節鏡）、膝周囲骨切り術、一般外傷

【5】診療受診について

予 約	可（人工関節術後、膝周囲骨切り術後のみ対応中）
診 療 受付時間	<午前> 9：00 ～ 11：30（木 / 午前のみ） <午後> 14：00 ～ 17：00

【6】外来、病床の混雑状況

外来は 14 時以降が比較的空いております。

【7】 転院について

窓 口	外来看護師にて対応 TEL：0570-01-7236
曜日など	基本午前中の来院をお願いしております。

【8】 急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	外傷、感染など
連絡先	TEL：0570-01-7236		
受付時間	24 時間		

Message～病院からのお願いなど～

年間 1,000 例以上の手術件数を医師 5 名でこなしていますが、まだまだドクター数が足りていません。TKA、THA、TAA、ACL 再建、半月板縫合、HTO、DTO、BHA、ガンマネイル、橈骨遠位端等。英語論文執筆、学会発表に興味のある、やる気ある若手整形外科医、誰かいませんか？



藤元総合病院

川越 悠輔、河野 翔

【1】病院または医院の特色

小児四肢骨折や開放骨折の緊急手術、透析や循環器疾患（severe AS）など合併症の多い四肢・脊椎外傷、特に大腿骨近位部骨折は24時間以内の手術が可能です。

脊椎分野は頸椎・腰椎の変性疾患・外傷の手術を宮崎西部地区で行っている数少ない施設で、また肩関節疾患も奇数週で外来・手術を行っています。

高気圧酸素療法も施行可能で、骨髄炎や難治性皮膚潰瘍、アスリートのコンディショニングの一助になればと思います。

【2】主な症例

- ・腰部脊柱管狭窄症や頸椎症性脊髄症、圧迫・破裂骨折などの脊椎領域の手術、保存療法
- ・小児外傷、開放骨折、透析患者、循環器(severe AS)や重症糖尿病など合併症の多い症例
- ・肩腱板断裂などの肩関節手術、保存療法

※2025年度の手術実績

外傷 大腿骨近位部骨折（骨接合55例、人工骨頭37例）

下肢骨折 32例 上肢骨折 39例 創外固定 2例

小児骨折 10例

脊椎 頸椎 椎弓形成 20例 固定術 4例

胸腰椎 椎弓切除 26例 固定術 39例 BKP 10例

椎間板ヘルニア摘出 11例 脊椎内異物除去 12例

肩関節（2025年12月より） 関節鏡視下腱板縫合術 4例

手根管症候群・肘部管 7例 腱鞘切開 9例 抜釘 17例 四肢切断 5例

その他 25例

【3】リハビリテーションの現状

外来リハも行っていますが、人員の関係で物療含め週1回程度となっています。

【4】外来診療について

外来担当日	月	火	水	木	金
午前 (9:00~11:30)	川越悠輔 河野翔	手術	川越悠輔 河野翔	※神谷俊樹 川越悠輔	黒木智文 河野翔
午後		手術		手術	手術

川越：骨折、小児整形（発達、股関節検診など） 河野：脊椎、人工関節、骨折

黒木：脊椎、骨折

神谷：肩関節、肘関節、スポーツ、骨折

※神谷 Dr. は第1, 3, 5週の診察・手術になります

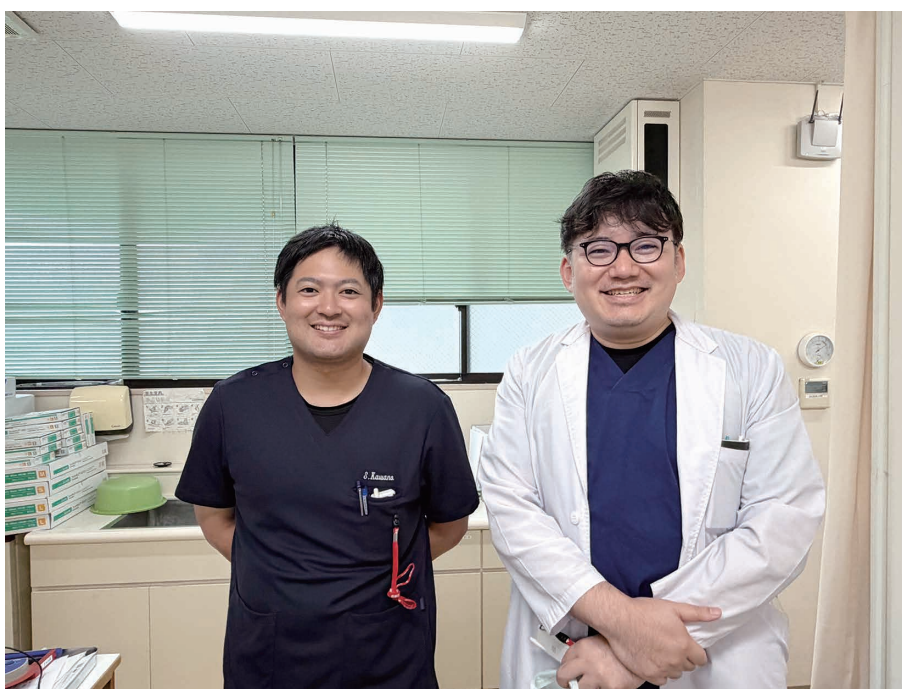
※予約不要です。急患は上記診療時間に関わらずお電話して頂いても構いません。

【5】 転院について

窓 口	転院調整は地域連携室で承っています 連携室へのご連絡は代表電話（0986-22-1717）へお願いします FAX 0986-22-6601 メール hayasuzu-chiiki.renkei@fujimoto.or.jp
-----	--

【6】 急患対応について

対応可否	・ 24 時間、365 日オンコール対応します ・ 急患の御紹介は代表電話 (0986-22-1717) または直接連絡（川越：080-5266-6830）をお願いします
------	---



えびの市立病院

黒沢 治

【1】リハビリテーションの現状

4人の理学療法士が在籍し、外来・入院患者のリハビリを行っています。

【2】診療受診について

予 約	不可
診 療 受付時間	7:00～11:30

【3】転院について

窓 口	地域連携室を通じて転院調整を行っています。
-----	-----------------------

【4】急患対応について

対応可否	可
連絡先	窓口：整形外科外来 TEL：0984-33-1023（代表）
受付時間	連絡を受けた時に対応致します。

都城市郡医師会病院

海田 博志、田中 涼太、土屋 慧祐

【1】病院または医院の特色

外傷・地域医療・医師会紹介病院

【2】リハビリテーションの現状

不足しております。

【3】主な症例

多発外傷 転子部・頸部骨折 橈骨遠位端骨折 膝・股・足・肩関節 OA

【4】診療受診について

予 約	可	診 療 受付時間	9 : 00 ～ 16 : 30
-----	---	-------------	------------------

【5】外来、病床の混雑状況

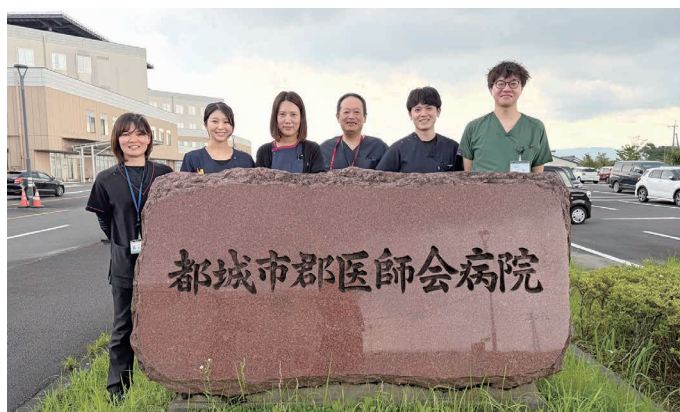
月・木

【6】転院について

窓 口	医療連携相談室	曜日など	特になし
-----	---------	------	------

【7】急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	極力対応します。
連絡先	担当医にご連絡ください。	受付時間	特に制限しておりません。



小林市立病院

上通 一師

【1】病院または医院の特色

高齢化が進行する西諸県郡地域の中核病院です。

【2】新規治療、機器の導入状況

ALS での人工股関節、大腿骨近位部骨折に対する早期手術に取り組んでいます。

【3】リハビリテーションの現状

急性期、回復期リハビリを中心に行っており外来リハビリは積極的には行えていません。

【4】主な症例

多彩な合併症を有する超高齢者の大腿骨近位部骨折、人工関節などです。

【5】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	平日 8 : 00 ~ 11 : 30

【6】外来、病床の混雑状況

農繁期以外の 9 : 00 ~ 10 : 30 頃が混雑しています。病棟は時期によります。

【7】転院について

窓 口	地域連携室 TEL : 0984-23-8225
曜日など	特に決めていません。

【8】急患対応について

対応可否	可	急患扱いの症状	歩行・体動困難
連絡先	平日 8 : 15 ~ 17 : 00 0984-23-8225 (それ以外の時間帯 0984-23-4711)		

Message～病院からのお願いなど～

たまに思い出していただくと嬉しいです。

宮崎県立日南病院

松岡 知己、北堀 貴史、榊 昂典、関本 朝日

【1】病院または医院の特色

県立日南病院は県南地域の中核病院の位置づけで、急患、紹介患者を中心に治療を行っています。常勤の整形外科医が4名であり、初期研修医が年7～8名程度研修している状態です。

【2】主な症例

2025年度の新規紹介患者数は741名、手術件数は573例であり、昨年度より大学病院からの応援で各分野の専門医を招聘し、新たに脊椎手術や肩関節手術を開始しています。高齢化に伴い、心疾患や糖尿病などの合併症管理を要する症例が増加しておりますが、他科との緊密な連携のもとで安全な治療管理を行っております。また、独居高齢者や老々介護といった背景を持つ患者様に対しては、患者支援センターが中心となり、地域連携パスを活用した連携病院（なんごう病院、日南市立中部病院、川越整形外科、春光会記念病院など）へのリハビリ継続目的の転院調整や、必要に応じた施設斡旋など、在宅復帰に向けた多角的な支援を実践しています。人工膝関節置換術および人工股関節置換術は年間約90例を施行しており、地域包括ケア病棟を効果的に活用することで、ほぼ全ての患者様が円滑な自宅復帰・社会復帰を果たされています。医師の働き方改革（時間外労働の適正化）に配慮しつつ、今後も質の高い医療提供と効率的な病棟運営を両立してまいります。

【3】集めたい症例

変形性関節症、脊椎疾患、外傷、足の外科領域疾患、手の外科領域疾患

【4】得意とする疾患

変形性関節症、外傷、皮膚軟部組織感染症

【5】最新の治療機器、新規術式

広範な骨欠損を有する骨折や人工関節再置換術が増加しているため、対応するべくボーンバンクの設立および同種骨移植術を開始する予定です。



なんごう病院

川添 浩史、大野 鉄平

【1】病院または医院の特色

整形はかなり幅広く手術にも対応。リハビリもスタッフ充実しています。内科系も比較的急性期の疾患から看取りまで対応可能。

【2】新規治療、機器の導入状況

OA 膝の骨切も症例が増えています。

【3】リハビリテーションの現状

リハビリスタッフも人数がいるため、かなりしっかりしたリハビリが出来ます。
他院で手術した患者さんのリハビリの受け入れも問題なく可能です。満足度の高いリハビリが行えていると思います。

【4】主な症例

膝関節鏡 半月板、ACL 再建

人工関節 TKA UKA THA

O A 膝に対する骨切り術 O W H T O 逆V骨切り

【5】診療受診について

予 約	可（再診のみ。新患は受付順。）
診 療 受付時間	8：30～11：30（診察は月～土曜、午前中のみ） ただし余りに受診人数が多いときは進行状況を見て早めに受付を止めることあり。

【6】外来、病床の混雑状況

外来は常に混んでいます。

病棟は予定外の当日入院が受け入れられないことがたまにあります。

【7】転院について

窓 口	連携室
曜日など	相談の上、曜日、日時を決めています。

【8】急患対応について

対応可否	可（かかりつけ患者さん、近所に住まいの方など受け入れます。）
連絡先	一旦電話で問い合わせ頂き、病状聞いて受け入れ可否を判断します。 0987-64-0305（病院代表）

Message～病院からのお願いなど～

今後ご協力をお願いします。



串間市民病院

川越 隆行

【1】病院または医院の特色

串間市が設置・運営する公立病院であり、地域における中核医療機関として、住民に対する医療の提供を担っています。

同院は「やさしい医療、高度な医療、安全な医療」を基本理念として掲げ、地域住民の健康維持と医療水準の向上に努めています。

診療においては、整形外科、肝疾患及び消化器分野を重点とした医療の提供に努めています。

【2】新規治療、機器の導入状況

人工関節手術を少しずつ再開したいと思います。

【3】リハビリテーションの現状

外来・入院で運動器リハビリテーション

【4】主な症例

一般外傷

【5】診療受診について

予 約	不要
診 療 受付時間	<午前> 8:00 ~ 11:00(初診は 10:30 まで) <午後> 13:00 ~ 15:30(月・金 再診のみ) 検討中です

【6】外来、病床の混雑状況

外来は現在かなり混みますので、予約を整理してスムーズにまわるように調整し始めました。

病棟は空床あります。

【7】転院について

窓 口	TEL : 0987-72-1234 (代表) 内線 130
曜日など	月曜日から金曜日まで(祝日を除く)の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

【8】急患対応について

対応可否	可能	急患扱いの症状	外傷
連絡先	0987-72-1234 (代表)	受付時間	24 時間

愛泉会宮崎医療福祉センター

柳園 賜一郎

【1】病院または医院の特色

重度心身障害児・者の入所施設であり、120名の入所者がいる。

主に入所者の健康管理に携わっている。

一般の整形外科外来も行っている。

令和8年7月より「愛泉会日南病院」から「愛泉会宮崎医療福祉センター」へ名称変更

【2】新規治療、機器の導入状況

MRI撮影が可能である。

【3】リハビリテーションの現状

理学・作業・言語療法可能

【4】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	8:30～12:30

【5】外来、病床の混雑状況

一般整形外科の入院は無

【6】転院について

窓 口	転院受け入れ 無
曜日など	特になし

【7】急患対応について

対応可否	不可
------	----

公立多良木病院

浪平 辰州、飯田 暁人

【1】病院または医院の特色

当院は地域完結型医療を実践する 150 床の地域中核病院です。付属施設として総合健診センター、介護老人保健施設、地域包括支援センター、在宅医療センターを有しており包括的な医療福祉提供の要として機能しています。また、救急医療にも取り組み、上球磨地域での当院への搬送率は約 90%です。

宮崎県との県境にあるため西米良村、椎葉村の患者さんや救急車搬送も受け入れています。

【2】リハビリテーションの現状

P T 17 名 O T 9 名 S T 4 名で外来リハ、病棟リハを担当しています。

【3】主な症例

令和 7 年 1 年間の手術室での手術症例は 267 例でした。

外傷が主で、大腿骨近位部骨折手術 72 例 橈骨遠位端骨折 18 例 人工関節置換術は 15 例でした。大学より田島先生に関節鏡手術 2 例、日吉先生に変形治癒骨折矯正手術 1 例出張手術行っていました。

外来は高齢者の O A、腰痛など慢性疼痛が主で、令和 4 年中の総外来受診者数は 13,837 人でした。整形外科外来新患者数は 1,432 人でした。

【4】診療受診について

予 約	可
診 療 受付時間	8 : 20 ~ 11 : 00 （急患はこの限りではありません。）

【5】外来、病床の混雑状況

毎日、午前中外来がありますが予約制でも検査等の結果が出てからの診察になるので、どうしても慢性的に午前中の外来はずっと混雑している状況です。

病棟は、急性期は 2 階病棟、回復期になれば 5 階の地域包括ケア病棟に移動していただいています。

【6】転院について

窓 口	地域医療連携室 TEL : 0966-42-2665 Mail : shakai-001@taragihp.jp
曜日など	特にありません。先方のご都合にあわせて柔軟に調整しています。

【7】急患対応について

対応可否	不可
急患扱いの 症 状	症状詳細を教えていただければ柔軟に対応しています。
連絡先	整形外科外来 0966-42-2560（内線 106）
受付時間	8：30～17：15（時間外は救急外来）



出向病院担当医師一覧（2026年7月現在）

宮崎県 宮崎市	宮崎江南病院	益山松三、甲斐糸乃、吉川大輔、鎌田 綾、日高三貴、福永 幹、當瀬雅大
	宮崎市郡医師会病院	池尻洋史、戸田 雅、木戸義隆、森田恭史、池末和弘
	宮崎善仁会病院	黒田 宏、松岡 篤、河野勇泰喜、鮫島 央
	県立こども療育センター	川野彰裕、梅崎哲矢、山元楓子
	野崎東病院	田島直也、久保紳一郎、濱中秀昭、三橋龍馬、座間味 陽
	大江整形外科病院	樋口誠二
	国立病院機構 宮崎東病院	黒木浩史
	潤和会記念病院	帖佐悦男、川野啓介、福嶋研人、坂本竜一（リハ）
	宮崎市立田野病院	矢野浩明、北島潤弥、山下紀美子
宮崎県 県北・ 県央地区	県立延岡病院	栗原典近、小藺敬洋、増田 寛、川越 亮、鮫島勇汰、濱川晃輔
	高千穂町国民健康保険病院	塩月康弘、肥後 聖
	国立病院機構 宮崎病院	安藤 徹、川越秀一、岩佐一真
	済生会日向病院	内田秀穂、大倉俊之
	谷村病院	税所幸一郎
	三股病院	森田信二
	あたご整形外科	木屋博昭
	千代田病院	鳥取部光司、福田 一
	美郷町国民健康保険西郷病院	外山宗樹
宮崎県 県西地区	国立病院機構 都城医療センター	濱田浩朗、吉川教恵、松永美穂
	橘病院	吉田尚紀、小島岳史、石田翔太郎
	藤元総合病院	川越悠輔、河野 翔
	小牧病院	坂本武郎、深野木快士
	えびの市立病院	黒沢 治
	都城市郡医師会病院	海田博志、田中涼太、土屋慧祐
	小林市立病院	上通一師
	押川病院（野尻）	渡邊信二
宮崎県 県南地区	県立日南病院	松岡知己、北堀貴史、榊 昂典、関本朝日
	なんごう病院	川添浩史、大野鉄平
	串間市民病院	川越隆行
	愛泉会宮崎医療福祉センター	柳園賜一郎
熊本県	公立多良木病院	浪平辰州、飯田暁人
沖縄県	ちゅうざん病院	川崎弘貴

宮崎大学医学部整形外科学教室 グループ紹介(令和8年7月現在)

下肢班	脊椎班	上肢・スポーツ班
中村 嘉宏	亀井 直輔	田島 卓也
山口洋一郎	黒木 修司	山口 奈美
今里 浩之	比嘉 聖	大田 智美
藤田 貢司	永井 琢哉	長澤 誠
帖佐 直紀	天野 翔太	森田 雄大
佐々木一駿	高橋 巧	横江 琢示
齊藤 友彦	松本 尊行	神谷 俊樹
山崎 颯斗	佐藤 光	喜多 恒允
		松永 咲穂

リハビリテーション部	救命救急センター
荒川 英樹	日吉 優
山口洋一郎	
今里 浩之	



下肢グループ

「難症例には挑戦し、無駄な残業はしない、Work smarter. Treat better.」

中村 嘉宏、山口 洋一郎、今里 浩之、藤田 貢司、帖佐 直紀、佐々木 一駿、齊藤 友彦、
山崎 颯斗 (2026年7月時点)

はじめに

下肢班は骨盤から足部までの下肢疾患全般を担当し、股関節、膝関節、足関節・足部、骨軟部腫瘍を中心に診療を行っています。

変形性関節症に対する人工関節や骨切り術といった日常診療から、人工関節感染症、再置換術、広範な骨欠損を伴う再建術、骨軟部腫瘍など高度専門医療まで幅広く対応しています。

宮崎県内の先生方には日頃より多くの患者様をご紹介いただき、この場をお借りして深く感謝申し上げます。私たちは大学病院の役割として、地域医療の中で対応が困難な症例や診断・治療方針に苦慮する症例を積極的に受け入れることであります。宮崎県における下肢疾患診療の最後の砦として、地域の先生方とともに患者様を支えていくことが我々の使命であると考えています。

大学病院は単に紹介患者を受け入れる施設ではなく、地域の先生方と協力しながら患者様を診療する場であり、迷う症例や治療方針に悩まれる症例がございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

大学下肢班で行っている診療

股関節疾患

股関節領域は前教授帖佐悦男先生方の伝統を受け継ぐ下肢班の中心的な診療分野であり、宮崎県内の股関節外科診療を支える重要な役割を担っています。

変形性股関節症に対しては人工股関節全置換術 (THA) および寛骨臼骨切り術 (Bernese PAO) を行っています。Primary THA では筋間・神経間アプローチによる低侵襲手術を基本とし、早期機能回復と患者満足度の向上を目指しています。

また、高位脱臼を伴う発育性股関節形成不全や高度変形症例に対しても積極的に対応しており、転子下短縮骨切り術を併用した THA では独自の工夫を加えながら治療を行っています。大腿骨頭壊死症に対しては回転骨切り術や湾曲内反骨切り術などの関節温存手術も継続して行っています。

大学病院として特に力を入れているのが難治性股関節疾患に対する再置換手術です。人工股関節のゆるみや感染、広範な骨欠損を伴う再置換術など、一般的な治療のみでは対応困難な症例に対しても積極的に取り組んでいます。

当科では長年にわたり大腿骨頭骨バンクを活用した同種骨移植を行っており、大規模骨欠損症例に対する骨再建にも対応可能です。近年増加している人工股関節再置換術においては、単にインプラントを入れ替えるだけでなく、同種骨移植を併用した骨再建や複雑な骨盤再建術にも積極的に取り組み、長期的視点に立った治療を行っています。

宮崎県内で治療に難渋する股関節症例に対し、「まず宮大に相談してみよう」と思っていたける存在を目指し診療に取り組んでいます。

膝関節疾患

膝関節領域では人工膝関節置換術を中心に診療を行っています。

近年は従来の Mechanical Alignment に加え、Kinematic Alignment を取り入れた人工膝関節置換術にも取り組み、その臨床成績を評価しています。また、CT ベースナビゲーションや 3D 骨モデルを活用し、より正確で再現性の高い手術を目指しています。

初回人工関節置換術だけでなく、感染やゆるみを伴う再置換術にも対応しており、基幹施設としての役割を担っています。

足関節・足部

足関節・足部領域では、変形性足関節症に対する骨切り術や人工足関節置換術を積極的に行っています。また、外反母趾をはじめとする足部疾患についても患者様の病態に応じた治療を行っています。

症例数は多くありませんが、保存治療から手術治療まで幅広く対応していますが、今後横江先生が海外留学を経てより専門的治療が可能になることが期待されます。

骨軟部腫瘍

骨軟部腫瘍は診断から治療まで高度な専門性を要する分野です。

近年は藤田先生が国内留学を経て診療体制をさらに充実させ、良性腫瘍から悪性骨軟部腫瘍まで幅広く対応しています。診断から化学療法、広範切除術、再建術まで一貫した治療が可能となり、小児症例については小児科と連携しながら集学的治療を行っています。

骨軟部腫瘍は生命予後に関わる疾患であり、迅速な診断と適切な治療介入が重要です。希少がん領域であることから国内外の施設との連携も積極的に進めています。

最近の研究活動

今里浩之先生

筋膜（Deep Fascia）の微細構造を組織学および電子顕微鏡学的に解析し、その特徴を明らかにする研究を行っています。今後は筋膜血流や創傷治癒、筋膜タイトネスとの関連など、臨床応用を見据えた研究へ発展させる予定です。

また、鎖骨における筋付着部を解剖学的・組織学的に解析し、CT データから作成した 3D モデルを用いたプレート固定の最適化に関する研究も進めています。

山口洋一朗先生

生成 AI や Deep Learning 技術を活用した研究を進めています。

現在は整形外科文献を学習した専門特化型 AI の開発や、レントゲン画像から各種計測項目を自動抽出するシステムの構築に取り組んでいます。今後は診断支援や研究支援への応用を目指しています。

佐々木一駿先生

「脛骨骨幹部骨折に対する Masquelet 法の力学的評価 有限要素解析を用いた検討」

健康人ボランティアの CT データから骨モデルを作成して有限要素解析を行う。想定としては、粉

碎の強い開放骨折に対して Masqualet 法（骨欠損部への骨セメント充填と髄内釘やプレートを用いた固定術）を施行した場合を考えている。有限要素解析を用いて、インプラントにかかる応力やひずみを計算し、どの程度の負荷まで荷重を行えるかを明らかにすることが目的である。

帖佐直紀先生

寛骨臼形成不全に対するレントゲン評価とバイオメカ研究や変形性股関節症と THA に関するバイオメカ研究

下肢班が対応する疾患症例

- ・変形性股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術
- ・高位脱臼股関節症に対する短縮骨切り併用 THA
- ・人工股関節感染症および再置換術
- ・骨盤不連続症を伴う人工股関節再置換術
- ・広範骨欠損を伴う人工股関節再建術
- ・大腿骨頭壊死症に対する回転骨切り術、湾曲内反骨切り術
- ・変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術
- ・人工膝関節感染症および再置換術
- ・変形性足関節症に対する骨切り術および人工足関節置換術
- ・骨軟部腫瘍に対する化学療法、拡大切除術および再建術
- ・外傷後変形治癒に対する矯正骨切り術

急患対応について

下肢領域でお困りの症例がございましたら、下肢班の誰にでもお気軽にご相談ください。

緊急性の高い症例については迅速な対応を心掛けております。紹介状作成前の段階でも構いません。診断や治療方針についてのご相談のみでも歓迎いたします。

私たちは、ご紹介いただく先生方を最大限サポートし、地域全体で患者様を支えていくことを大切にしています。形式にとらわれることなく、気軽にご連絡いただければ幸いです。

下肢班の展望

高齢化に伴う変性疾患の増加に加え、人工関節再置換術や骨軟部腫瘍など高度専門医療の需要は今後さらに高まることが予想されます。

下肢班では、人工関節、関節温存手術、骨切り術、骨軟部腫瘍治療、再建手術など幅広い分野で診療の質向上に努めるとともに、下肢疾患診療のさらなる発展を目指しています。

宮崎県の整形外科医療は、大学病院だけで成り立つものではありません。県内各施設の先生方との連携があってこそ、患者様により良い医療を提供できるものと考えています。

人工関節再置換術や再建術、骨軟部腫瘍治療など専門医療を提供する大学病院の存在意義は今後さらに大きくなると考えています。地域の先生方との連携をより一層深めながら、「困ったらまず宮大に相談しよう」と思っただけの存在を目指し、宮崎県における下肢疾患診療の最後の砦として診療・研究・教育に取り組んでまいります。

また、下肢領域は人工関節、骨切り術、腫瘍、再建外科など、整形外科の魅力が凝縮された分野でもあります。その面白さや奥深さを若い医師や専攻医に伝え、一人ひとりみんなが成長できる環境を整えることも私たちの重要な使命です。整形外科の王道である下肢班の魅力を次世代へつなぎながら、今後も地域医療に貢献してまいります。

今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



脊椎グループ

亀井 直輔、黒木 修司、比嘉 聖、永井 琢哉、天野 翔太、高橋 巧、松本 尊行、
佐藤 光 (2026年7月時点)

【1】大学で実施している主な検査、治療、手術、機器などについて

検査 脊椎疾患に対する治療をすべて行っています。レントゲン、CT、MRI、シンチ、PET、DEXAなどの各種画像検査や脊椎特異的なものとして脊髄造影検査、造影CT、各種造影検査(神経根、椎間板、椎間関節など)、筋電図や伝導速度検査、腫瘍に対する生検(椎体生検など)を行っています。

治療 脊椎疾患に対する治療(保存療法、手術療法、リハビリテーション治療など)を中心に行っています。慢性疼痛の患者様には、麻酔科や精神科と協同で治療に当たることがあります。腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼを使用した椎間板溶解療法も施行しています

手術 脊椎手術に関するほぼすべてを行っています。
内視鏡手術、経皮的固定術など低侵襲な手術から、成人脊柱変形や脊椎腫瘍手術など侵襲の大きな手術まで施行しています。

機器 O-arm ナビゲーションや脊髄モニタリングを用いて、安全な脊椎手術を行っています。また最新の脊椎ロボット手術や内視鏡手術の機器も導入して、患者さまに応じて使用しています。

【2】最近での代表的な学会発表

日本脊椎脊髄病学会で毎年学会発表を行っており、2026年は7人が発表を行いました。また日本整形外科学会、日本側弯症学会やMIST学会、日本脊椎インストゥルメンテーション学会など脊椎に特化した学会での発表も行なっております。

【3】最近での代表的な研究

Coplanar 法による側弯症変形矯正のデータベース構築に関する研究として多施設共同研究に参加しています。

また骨粗鬆症とHUに関わる多施設共同研究や、胸椎 OPLLに関わる多施設共同研究にも参加しています。

【4】最近での主な症例(病名と術式)

脊椎手術のほぼすべてを行っています。主なものとして頸椎症性脊髄症や頸椎後縦靱帯骨化症に対する顕微鏡下椎弓形成術、腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起縦割式部分椎弓切除や後方椎体間固定術などがあります。腰椎手術の一部は積極的に内視鏡手術に変更しております。小児期側弯症に対する矯正固定術や成人脊柱変形に対する前方後方矯正固定術も行なっております。MAZOR(脊椎ロボット)、O-arm ナビゲーションや脊髄モニタリングを併用し、安全な手術を心がけております。

【5】 急患の際の連絡方法

●症状、連絡方法や転院までの流れについて

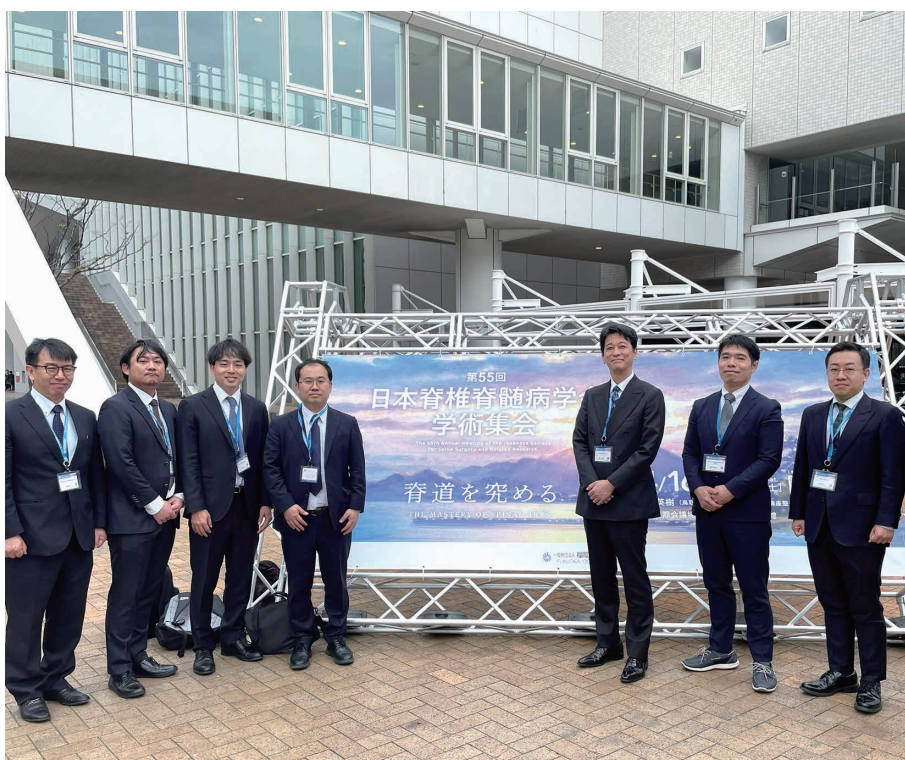
麻痺や膀胱直腸障害などの緊急処置が必要な場合には、平日は大学病院に連絡を頂ければ対応します。夜間は、病棟に連絡いただければ当直（オンコール）医が対応します。患者さまの状況をご相談の上で緊急処置が必要と判断した場合には、救急車や病院車を利用して患者様を搬送していただき必要な手術や処置を行います。緊急処置が必要かどうかわからない場合も、お問い合わせ頂ければ幸いです。

●連絡先について

代表者：大学病院に電話を頂き、脊椎班医師を指名いただければ幸いです。

【6】 ご紹介いただく際のグループからのお願い

緊急で MRI・CT が難しい場合があります。先生方の施設で撮影が可能であれば撮影していただければ助かります。ない場合や緊急の場合には、なくても全然かまいません。



スポーツ・上肢グループ

田島 卓也、山口 奈美、大田 智美、長澤 誠、森田 雄大、横江 琢示、神谷 俊樹、
喜多 恒允、松永 咲穂（2026年7月時点）

【1】大学で実施している主な検査、治療、手術、機器などについて

検査 筋電図、関節造影、Biodex による等速性筋力測定、Kneelax による関節不安定検査、テロス
による関節ストレスX線 等

治療 収束型体外衝撃波治療（難治性足底腱膜炎）

手術 各種関節鏡視下手術（膝、肩、肘、手、股、足関節）、各種機能再建術、自家培養軟骨移植術、
膝複合靱帯再建術 等

【2】最近での代表的な学会発表

AOSSM、ISAKOS、ESSKA、ORS、日本スポーツ整形外科学会、日本臨床スポーツ医学会、日本膝関節学会、などに膝靱帯関連の発表や半月板関連、足関節周囲靱帯・骨軟骨損傷、関節内出血の発表を行っています。

また、AOSSM、日本肩関節学会、日本肘関節学会、日本手外科学会などで腱板や野球肘、手根管症候群などに関する発表を行っています。

【3】最近での代表的な研究

- ・関節内出血と軟骨変性・破壊のメカニズム解明（田島・森田、喜多）
- ・膝関節靱帯再建術の術式開発と機能評価（田島、山口、森田、横江）
- ・円板状半月の病態解明（山口）
- ・人工半月板開発（工学部：山子、医学部：田島、山口、森田、横江、喜多）
- ・手根管症候群とアミロイド（大田）
- ・投球障害の病態解明と危険因子（長澤、神谷）
- ・足関節外側靱帯不安定症の超音波検査による評価（横江）
- ・距骨骨軟骨損傷に対する新規手術療法の開発（横江）
- ・有限要素法による内側半月板後根の応力解析（横江）
- ・有限要素法による円板状半月部分切除による膝関節応力への影響の評価（横江）
- ・腱板断裂と脊椎アライメントの関連性（神谷、長澤）
- ・血友病性関節症の病態解明と新規治療法の探索（田島、喜多）

【4】最近での主な症例(病名と術式)

- ・膝関節靱帯断裂（靱帯再建術、複合靱帯再建術、再再建術）
- ・半月板断裂（フィブリンクロット併用縫合術、形成・縫合術、制動術）
- ・関節軟骨損傷（自家培養軟骨移植術）

- ・膝アライメント異常・変形性関節症（高位脛骨骨切り術、遠位大腿骨骨切り術）
- ・肩腱板断裂（腱板修復術）
- ・肩関節脱臼（制動術）
- ・手機能再建手術、人工関節（肘、指）、手根管症候群（アミロイドーシス関連を含む）
- ・足関節外側靭帯損傷（鏡視下外側靭帯複合体修復術）
- ・距骨骨軟骨病変（腸骨骨膜付き骨移植、新規低侵襲手術）

【5】急患の際の連絡方法

●症状、連絡方法や転院までの流れについて

- ・膝関節ロッキング、膝関節脱臼（複合靭帯）は早めに連絡をお願いします。
- ・膝関節血腫症例は MRI 撮像の後、早めに紹介してください
- ・難治性足底腱膜炎について、MRI で病変部が明確にわかると治療効果が上がりますので可能な限り MRI 施行後にご紹介ください。

●連絡先について

代表者：スポーツ上肢グループ

【6】ご紹介いただく際のグループからのお願い

大学病院での MRI 撮影には数か月かかりますので、関節内評価が必要な場合や腫瘍の場合は MRI 撮影後にご紹介下さい。



リハビリテーション部

荒川 英樹、山口 洋一郎、今里 浩之（2026年7月時点）

【1】大学で実施している主な検査、治療、手術、機器などについて

- ・医学部附属病院全診療科から約 250 件 / 月の新患紹介をいただいています。
- ・高次脳機能障害外来でも県内各地から 2 名程度 / 月の新患紹介をいただいています。
- ・田野病院でのボトックス治療も実施しています。

【2】最近での代表的な学会発表

① 第 51 回日本リハビリテーション医学会九州地方会 教育研修講演

演題名：パラスポーツを支える医科学研究について

演 者：荒川英樹

要 約：パラスポーツの振興や実践における社会的な課題、障がい者の医学的課題などを含めて、リハビリテーション科医の視点から、これまでの医科学研究、マイオカイン研究などに関する発表を行った。

② 第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会 教育講演

演題名：精神科理学療法の洞察—認知症を含めての視点—

演 者：荒川英樹

要 約：精神科医療における理学療法・運動療法は、精神症状や薬物治療に伴う身体症状の改善、長期入院患者の高齢化や地域移行を妨げる身体合併症への対応として重要性が高まっている。令和 2 年度診療報酬改定を契機に、精神療養病棟での疾患別リハビリテーションが可能となり、精神科治療チームにおける理学療法の役割は拡大しつつある。本講演では、認知症を含む精神科領域における理学療法の現状、課題、今後の展望について概説した。

③ 第 63 回日本リハビリテーション医学会学術集会 教育講演 一般演題

演題名：地域で生活する高齢な肺高血圧症患者の運動機能評価

演 者：坂本竜一、川崎弘貴、荒川英樹

要 約：地域在住の高齢肺高血圧症患者を対象に、ロコモ、サルコペニア、フレイルの状態を評価した。対象は少数例ながら、歩行や ADL が自立していても、身体的フレイルやロコモ度 3 に該当する患者が多く、特にロコモ 25 では生活上の不安や困難感が反映されている可能性が示された。高齢 PH 患者では、運動機能が比較的保たれている段階から、低活動や生活機能低下を予防する包括的な支援が重要と考えられる。

【3】最近での代表的な研究

- ・ロコモティブシンドロームに関連した整形外科疾患、循環器疾患、精神疾患などの研究
- ・パラスポーツ研究
- ・災害リハビリテーション研究



救命救急センター

日吉 優 (2026年7月時点)

【1】大学で実施している主な検査、治療、手術、機器などについて

救命センターに運ばれてくる多発外傷・重症外傷患者の検査、観血的・保存的治療、リハビリを主に行っています。全身状態が安定している紹介患者は整形病棟へ入院の上、手術を行うこともあります。

外来は follow up 外来を行っています。

【2】研究について

整形外傷学会：

- ・四肢開放骨折レジストリー作成 多施設共同研究
- ・寛骨臼骨折レジストリー (ORAF) による寛骨臼骨折の術後成績評価 多施設共同研究

九州整形外傷研究会：

- ・高度汚染開放骨折の成績評価 多施設共同研究
- ・Gustilo III B 下腿開放骨折の治療成績 多施設共同研究

【3】最近での主な症例(病名と術式)

骨盤輪骨折に対する経皮的 screw 固定や観血的手術

寛骨臼骨折に対する観血的手術・人工股関節手術

四肢骨折、四肢開放骨折に対する初期治療～最終固定、軟部組織に対する手術

【4】急患の際の連絡方法

- 症状、連絡方法や転院までの流れについて

高度救命救急センターの特性上、多発外傷や重症外傷などで集学的治療が必要な場合などは連絡頂ければ、救命のベッドコントロールの先生に相談致します。

- 連絡先について

代表者：日吉 優

【5】ご紹介いただく際のグループからのお願い

現在、寛骨臼骨折のレジストリー登録を行っていますので御紹介いただけますと助かります。

特に若手の先生方で治療方法等お困りのことがあれば、こちらは大変勉強になりますので御相談ください。一緒に考えましょう。悩んでいることはみんな一緒です。



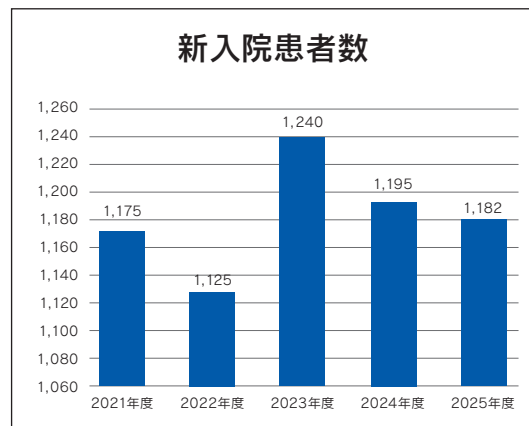
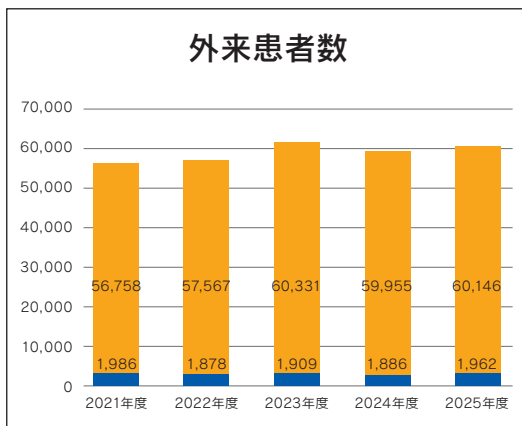
宮崎大学医学部附属病院 整形外科 診療状況

整形外科医師数(2026.7月時点)

下肢	脊椎	上肢・スポーツ	リハビリテーション部	救命救急センター
8人	8人	9人	3人	1人

外来・入院稼働状況(過去5年間比較)

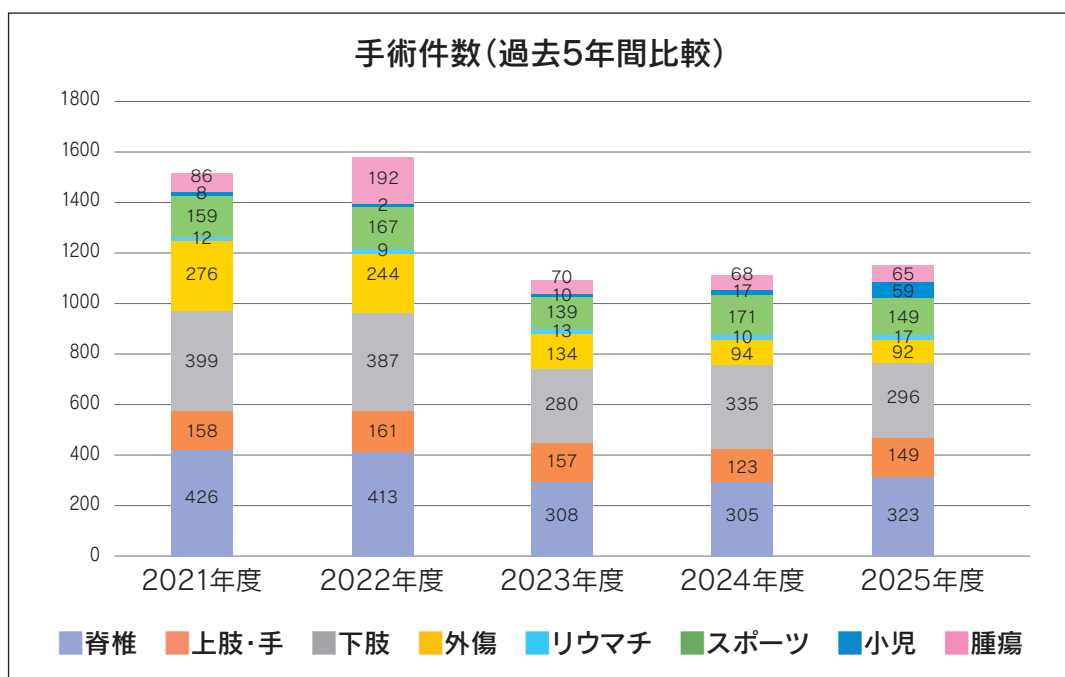
年度	外来(人)				入院(人)		
	初診患者	再診患者	計	1日平均患者数	新入院	1日平均患者数	病床数/床 (2023.10)
2021年度	1,986	56,758	58,744	242.7	1,175	47.0	58
2022年度	1,878	57,567	59,445	243.6	1,125	45.7	53
2023年度	1,909	60,331	62,240	256.1	1,240	51.0	53
2024年度	1,886	59,955	61,841	256.1	1,195	51.6	53
2025年度	1,962	60,146	62,108	256.6	1,182	50.2	55



■初診患者 ■再診患者

手術件数(過去5年間比較)

年度	脊椎	上肢・手	下肢	外傷	リウマチ	スポーツ	小児	腫瘍	合計
2021 年度	426	158	399	276	12	159	8	86	1,524
2022 年度	413	161	387	244	9	167	2	192	1,575
2023 年度	308	157	280	134	13	139	10	70	1,111
2024 年度	305	123	335	94	10	171	17	68	1,123
2025 年度	323	149	296	92	17	149	59	65	1,150



初診受付について

■初診患者予約制(令和2年6月より開始)

ご紹介いただく際には、初診予約申込書と診療情報提供書をFAXにてお送りください。

< 初診予約申込書提出先 > FAX:0985-85-9715(予約専用)

詳細は宮崎大学医学部整形外科学教室のホームページ(「診療案内」>「外来診療」ページ)よりご確認ください。

転院依頼について

当院への転院のご相談については、主治医から直接お問い合わせください。

その後、入院支援担当者からご連絡いたします。



第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して「エナジー」

宮崎大学整形外科 今 里 浩 之

この度は、大変名誉のある賞をいただき、ありがとうございます。私なりに積み上げてきたものに、改めて医師 14 年目という年に賞をいただけることに感謝いたします。

私は宮崎大学に入局後、大学→宮崎市郡医師会病院→多良木病院→県立延岡病院→宮崎市郡医師会病院→宮崎大学下肢班と異動をし、現在下肢班で仕事をさせていただいております。多くの先生にご指導いただき、外傷・関節外科を中心とした整形外科医としての人生を歩んでいこうかと最近志を新たにしているところであります。この賞と講演の機会を通じて、自分の今までの整形外科医人生とこれからの人生を考えたところ、大事にしてきたことは根拠に基づく保存療法と手術適応のバランス「中庸」でありました。外傷とくに骨接合に関して、手術が保存療法の利点をあらゆる面で上回る場合に選択し、迅速かつ正確に、周到的術前計画を遂行することを良しと考えます。何をやっても骨癒合するときはしますが、科学的根拠に、先人たちの残した知恵を加えた哲学があることが、骨接合（術後 X 線）の面白い部分なのかなと思ったりもします。（勝手に骨接合後の X 線をパトロールして、レントゲン警察を名乗っております、お気をつけください（笑））必要十分な手技を遂行したら、術後 X 線も美しく経過も良好なことが多いです、それを面白がっていくのが楽しいと思います。

人工関節も同様であります。手術が保存療法を上回る際によしとし、胸を張って選択することが一丁目一番地であります。TKA について、大学には Robot はありませんので、従来法の究極化を考えており、中村先輩の方法に準じております。その上で、何か人工関節関連の研究を生み出せたらよいのですが、と切り口を探している段階であります。私調べでは、manual MA (Mechanical alignment：従来法) TKA は KA (Kinematic alignment: 個人が本来持つ Alignment を維持した手術、内反膝を維持したままなど) ならびに Robot・Navi と、長期成績は変わりません。短期成績では疼痛や患者満足度で、Robot ± KA で勝る結果が出てきていますが、まだ結論ではなさそうです。とにかく必要な人に適切な保存療法をし、骨切りも踏まえた加療を吟味した上で選択しないといけないと自分自身に思い、診療させていただいております。

THA に関して、下肢班では前方アプローチである AMIS (Anterior minimally invasive surgery) approach か、前外側アプローチの Dall 法を modified した Transgluteal approach (TG) で行っております。AMIS approach で行くと、術後経過は迅速で 2 週での自宅退院を基本達成できますが、TG は術中の視野が良く術後 1 年の経過は同等です。TG の良さは改めて偉大であると考えます。TG の習得を必死に追っていた 3-4 年目のころ、中殿筋の付着部を解剖学的に詳細に記した JBJS の論文を目にし、美しい、やってみたいと思い、解剖学で博士号を取得しました。自分の中で美しい・本当に面白いと思う論文は生み出せていませんが、いつかは生み出したいとも思っております。

まだ道半ばで、ラグビードクターとして高校日本代表に帯同させていただいたり、解剖学で学位を取得したり、手術を任せていただいたり、患者さんをご紹介いただいたりと多くのものをいただき、現在も日々成長を感じながら仕事をできているのは宮崎大学整形外科の同門の先生方のおかげです。本当にありがとうございます。また、私自身の家族にもいつも支えてもらい、本当に感謝しております。

専門性を追い求める一方、関節や外傷の基本を学べる地域医療に近い下肢グループは、どこでも戦える個人を目指せると思います。そして、医師としての成長と、人間としての豊かな人生を両立する集団を目指しております。私自身も刺激的で毎日少しだけでも成長を感じていきたいものですし、後輩・先輩に対しても、それを提供できる個人でありたいとも思います。

最後に、面白い人生であるためには、人間としての「エネルギー」が必要だと考えます。もちろん欲があることは重要ですが、その源泉としての「エネルギー」を生み出すために肉体的にも精神的にも健康である必要があり、皆様にもそうであってほしいと願います。心を込めて、エネルギー。





第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞受賞および 第 5 回日本足の外科学会最多論文賞受賞のご報告

宮崎大学医学部附属病院整形外科 横江 琢 示

平素より大変お世話になっております。この度、第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞および第 5 回日本足の外科学会最多論文賞を受賞させていただきましたのでご報告させていただきます。まず宮崎整形外科医学奨励賞に関しましては大変歴史のある栄誉ある賞を受賞させていただき感謝申し上げます。初期研修は地元である愛知県名古屋市の病院で終了後、帖佐前教授を中心とする宮崎大学医学部整形外科に戻ってきたという県外出身者では稀な経歴であると思います。医局入局後、様々な医局関連病院で様々な患者さんを診させていただき 2019 年から大学病院のスポーツ上肢グループで当初より希望のあったスポーツ整形に従事させていただいています。ここ最近は臨床研究および英語論文作成を精力的に行い本賞を受賞させていただけたのだと思います。この 10 年はとても充実したものであり、宮崎県に戻ってきて正解であったと自負しております。本当にありがとうございます。

また第 5 回日本足の外科学会最多論文賞を受賞させていただきました。本賞は日本足の外科学会会員の中で 2024 年度において英語論文を多数書いた研究者上位 3 名が選出される大変栄誉ある賞です。昨年はポルトガル留学中であり授賞式には参加できなかったのは残念でしたが、異国で家族と喜んでいたのを覚えています。ポルトガルのボスである Helder 先生に報告すると、自分の事のように大変喜んでいただいたのも鮮明に覚えています。本賞に満足することなく引き続き世のためになる研究および英語論文の作成に従事して参ります。

最後になりますが、2 つの受賞に際しご指導いただきましたすべての先生方および事務の方、そして家族に深く御礼申し上げます。同門会の先生方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



第 19 回宮崎整形外科医学奨励賞受賞式にて。座長をいただいた森田雄大先生と今里浩之先生と



第 5 回日本足の外科学会最多論文賞



スポーツ庁委託事業研究助成報告

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野
宮崎大学医学部スポーツメディカルセンター

田 島 卓 也

この度、令和５－７年度スポーツ庁委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」に採択され、無事に事業が終了いたしましたので、ここにご報告させていただきます。本グラントはスポーツ庁の全国公募で実施され、厳正な採点のもとに全国で５団体のみが採択されました。「居住地に関わらず最適なスポーツ医科学サポートを受けることができる体制の構築と環境の実現」「国スポ障スポ等の全国大会出場レベルのみならず県大会出場レベル・部活動・地域クラブまで拡大すること」「地域における競技力向上を支える体制の構築など、国と地方の競技力向上施策の連携強化」が募集要項に記載されており、我々は宮崎大学（研究責任者：田島卓也）で応募し、「地域住民健康増進モデル」で幸運にも採択していただきました。他の採択団体は「トップアスリート育成モデル」として北海道スポーツ協会、京都府、新潟医療福祉大学、「パラアスリート支援モデル」として和歌山県立医大となっております。

我々は「県内のスポーツメディカルリソースを活用し、幅広い対象者に対し最適・最新かつ横断的・包括的なメディカルサポートを提供し、アスリート・県民の健康増進に寄与する」ことを目指し、①県内のスポーツメディカルスタッフの資質向上、②スポーツメディカルスタッフの出務機会・活動機会の創設、派遣（競技団体、クラブ、チーム、部活動）、③横断的・包括的なメディカルチェックシステムの構築、④リモートメディカルサポートシステム構築（DX化）、⑤女性アスリート、パラアスリートへのサポート、⑥地域における健康スポーツ相談会の実施、⑦スポーツ外傷・障害の病態解明・基礎研究、を事業の柱として展開いたしました。そのために「県内のスポーツメディカル資格保有者を統括する医療職能団体（医師会、看護協会、薬剤師会、栄養士会など）」「スポーツに関連する行政機関（宮崎県スポーツ協会、県総合政策課など）」「中央団体（国立スポーツ科学センター、日本アンチ・ドーピング機構など）」20を超える団体とコンソーシアムを形成いたしました。事業をスムーズに展開するためのアドミニストレーターを宮崎大学医学部整形外科、宮崎県スポーツ協会、宮崎県総合政策課、みやざき女性アスリートWGから合計６名を選出し各種事業に関して緊密に連携し協議を重ねました。コンソーシアム団体のご協力の下、３年間で講習会／研修会：32回、救護活動：55回、視察研修：9回、メディカルチェック・検診：11回、栄養サポート：8回を企画・運営・実施し、のべ505名のスポーツメディカルスタッフに活動機会を創設することができました。スポーツ庁委託事業は令和７年度で終了いたしますが、令和８年度からは宮崎県の支援をいただき活動を継続させていただくことになり、大変嬉しく思います。我々の活動をサポートしていただき教室、同門の先生方に心より感謝申し上げます。

今後も教室およびスポーツランド宮崎の発展のためにより一層精進したいと思います。



ポルトガル海外研修のご報告

宮崎大学医学部附属病院整形外科 横江 琢 示

平素より大変お世話になっております。2025 年 4 月から 2026 年 3 月の 1 年間、ポルトガルで海外留学をさせていただきましたので簡単にご報告させていただきます。海外留学は私にとって若い頃からの目標の一つでした。予定としては学位取得後すぐにでも海外留学をしたいと考えていましたが、COVID および家庭の事情で少し遅くなってしまいましたが結果的に良い時期に海外留学ができ、無事に帰国できて良かったと思います。私は chronic ankle instability、距骨骨軟骨損傷などが一番興味がある疾患でありこの分野で世界的にご高名な先生のところを訪ねたいと以前より考えていました。以前より交流のありました札幌医大整形外科教授の寺本篤史先生、および CARIFAS の高尾昌人先生のご協力のもと、ポルトガルの Helder Pereira 先生のところで勉強させていただく機会を得たことは本当に光栄にそして嬉しく思います。Helder 先生は ESSKA-AFAS の Past-President で現在はポルトガル関節鏡学会の President であるいわゆる世界的に有名な先生です。足部足関節および膝関節の関節鏡下手術を専門とされており、多数の手術を見学させていただきました。手術手洗いも許可していただき、たくさん手術に参加させていただきました。また、臨床研究も共同でさせていただき、いくつか英語論文および英語の教科書も執筆させていただきました。また、Helder 先生のグループの他の先生の手術にも複数の病院で参加させていただきましたが、どの先生も非常にやさしく接していただきました。Helder 先生は常時、私および私の家族のことを気にしてくださり、いつもゲストとして対応していただきました。1 年という短い期間でしたが、Helder 先生と友達になることができ、Helder 先生の global networking の 1 員になれたことは非常に光栄なことです。今後も良好な関係性を継続および発展させながら、国際的に活躍できる foot and ankle surgeon および orthopaedic sports surgeon になれるように精進してまいります。妻と生後 4 か月の長男とともにポルトガルに向かったあの日の事を忘れることはないと思います。仕事がない日は、日本にいたらまず不可能であったであろう多くの時間を家族と共に過ごせ、子供の成長も見守ることができたのもとてもかけがえのない時間であったと思います。田島先生がニューヨークに出向されてから 15 年間、誰も我が医局から海外に出ていないのは危惧すべき事実であり、若い先生には是非とも高い志を持っていただきチャンスがあれば是非とも海外留学を計画していただきたいと考えます。その際は、私を訪ねていただければ喜んでご協力させていただきます。

最後になりますが、今回のポルトガル留学に関与いただいたすべての先生方および事務の方、そして家族に深く御礼申し上げます。また、今回の海外留学の援助として同門会から支援金もいただきました。本当にありがとうございました。同門会の先生方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



Helder 先生と



ポルトガルの先生方および手術室スタッフと



国内研修報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 藤田貢司

令和7年4月より、広島大学整形外科 骨軟部腫瘍グループへ国内留学の機会をいただき、1年間の研修を終えました。今回、このような形で留学経験を振り返る機会を頂戴し、大変光栄に思います。

私が国内留学を決断した最大の理由は、自身の知識・技術不足を痛感したことにあります。宮崎大学で骨軟部腫瘍診療を担当していた坂本武郎先生が異動され、その後を引き継ぐ立場となりましたが、自分一人で診療を担うには経験不足であると感じていました。亀井教授へ相談した際、「広島へ行ってみるか」とお声掛けいただき、今回の国内留学が実現しました。

広島大学では、日常診療、外来、病棟管理、手術、研修医・学生指導に加え、研究活動にも携わる機会をいただきました。骨軟部腫瘍診療を専門とする施設ならではの症例数と経験は非常に刺激的であり、再建を伴う悪性骨軟部腫瘍手術や、小児・AYA世代の症例など、宮崎では経験が限られていた症例にも数多く接することができました。

また、広島大学では脳神経外科、形成外科、ウイルス学教室など、他科・他分野との連携が非常に盛んであり、骨軟部腫瘍診療を多角的に発展させようとする姿勢を強く感じました。特に、低酸素環境で作用する Hypoxia-activated prodrug (HAPs) や、抗酸化ナノ粒子を用いた研究など、基礎研究と臨床応用を結びつけようとする取り組みは大変印象的でした。

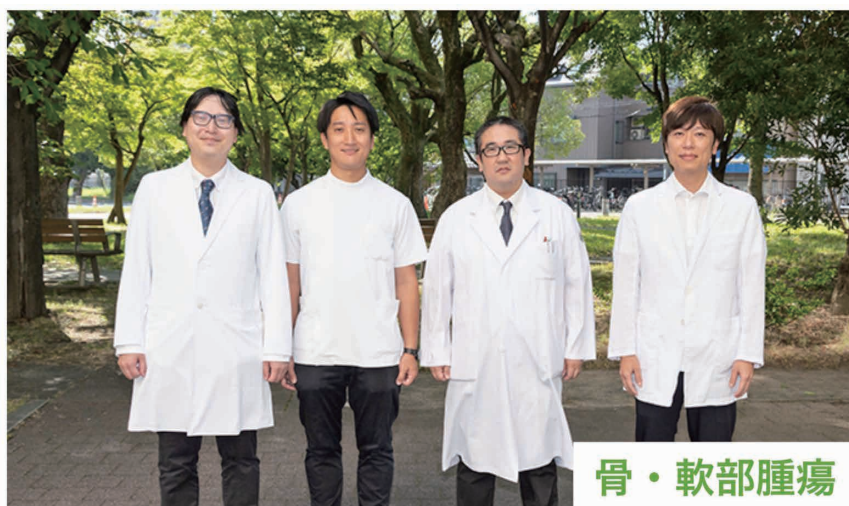
一方で、今回の国内留学を通じて、「自分に足りないもの」だけでなく、「自分が持っているもの」を再確認する機会にもなりました。他施設の先生方の診療・研究・学会活動への向き合い方を見ることで、自分が今後どのような医師を目指したいのか、より具体的にイメージできるようになったと感じています。

生活面では、広島市中区に居住しながら勤務していました。平日の当直はなく、比較的時間に余裕のある環境であり、資格試験の勉強やランニングなどにも取り組むことができました。広島は食事も美味しく、街としても非常に住みやすい印象でした。

もちろん、私が留学することで宮崎大学側には人的負担が生じており、多くの先生方に支えていただきました。特に下肢グループの先生方には大変な負担をお掛けしており、感謝の気持ちは尽きません。

国内留学は、単に技術や知識を学ぶ場というだけではなく、自分自身を客観的に見つめ直す非常に貴重な機会であったと感じています。今回の経験を今後の診療・研究に活かし、少しでも宮崎大学へ還元できるよう、今後も努力していきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった亀井教授をはじめ、宮崎大学整形外科ならびに広島大学整形外科の先生方、日頃より支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。





第 150 回 西日本整形・災害外科学会学術集会 を終えて

宮崎大学医学部整形外科学教室 田 島 卓 也

2025 年 11 月 15-16 日に第 150 回西日本整形・災害外科学会学術集会（亀井直輔会長）が「奏～Symphony～」をテーマに掲げ、宮崎市民プラザで開催され成功裡に終わりましたので報告させていただきます。

2015 年の第 130 回学術集会（帖佐悦男会長）以来の 10 年ぶりの宮崎での開催、かつ亀井教授が主催する初の学会であり、同門会の皆様のご支援・ご指導をいただきながら新体制の教室一丸となって鋭意準備を進めて参りました。

主題および企画は教室員の先生方の希望や意見を募り、内容を吟味した結果、主題は「Save the meniscus－膝半月板縫合のリアル－」「アミロイドーシスと運動器疾患」「脊椎脆弱性骨折に対する治療戦略」「Joint Decision：関節温存 vs 人工関節置換」、企画は「整形外科と生成 AI－診療・研究・論文執筆における最新活用法－」「アスリート支援の最前線－スポーツメディカルサポート－」「急性期・重度外傷治療の実践と課題」を各々策定いたしました。

大変ありがたいことに多くの演題応募をいただきました。教室員で査読した結果、最終的に 260 題を採択させていただきました。また、特別講演 2 題、企画シンポジウム 3 セッション、主題シンポジウム 3 セッション、ランチョンセミナー 6 題など盛りだくさんの内容を構成いたしました。亀井教授のご意向でなるべく多くの医局員および同門会の先生方にシンポジウムの演者、あるいは座長としてご協力していただきました。質の高い発表と活発な討議が随所でみられたのも皆様のお力添えの賜物であると存じます。

最終的に 2 日間の開催を通じて 561 名もの方々に参加していただきました。盛況のうちに第 150 回西日本整形・災害外科学会学術集会は終了いたしました。県外より参加された皆様には宮崎の美味しいものを堪能していただけたと思います。

学術集会を開催するにあたり、同門会の先生方、医局員の先生方、事務の皆様のご支援ご協力なくしては、運営はもとより準備もままならなかったと存じます。皆様のお力添えをいただきながら一丸となって無事に記念すべき第 150 回西日本整形・災害外科学会学術集会を宮崎で開催できたことを心より嬉しく思います。

今後も亀井教授のもと、数多くの学術集会が開催されることと思われますが、変わらぬご支援を賜れば幸甚です。





令和 7 年度 第 27 回宮崎大学整形外科同門会 テニス大会

かみぞの整形外科 神 園 豊

大会は 11 月 24 日、宮崎市郊外のエントランスプラザにあるテニスコートで行われました。例年は大会が終わった夜にあるはずの忘年会が大会前日にあったため、当日は二日酔いで頭痛と吐き気とめまいと闘いながらのテニスでした。

同門会員の参加者は、松本英裕先生、小田朋樹先生と私の 3 名、それにテニス仲間 5 名を加えて 8 名でダブルス戦を行いました。

眩しいくらいの晴天の中、何度も転びながら焦点の定まらないボールを追いかけた結果、テニスが強かったのか、酒が強かったのか、優勝することができました。

来年は正気のテニスで優勝を目指したいと思います。

年々、会員の高齢化のために参加者が減少しています。次回は多数の参加を期待します。





第 32 回 (令和 7 年度) 同門会ゴルフ大会を終えて

くもん整形外科 スポーツ・骨関節クリニック

公文 崇 詞

令和 7 年 11 月 30 日に第 32 回同門会ゴルフ大会が宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部で開催されました。この度、私が運よく優勝できましたことよりご挨拶申し上げます。

私がゴルフを始めることができたのは、県立延岡病院在職中に先輩医師の市原久史先生になかば強引にすすめられたのがきっかけでした。ちょうど 40 歳になる年で、ゴルフを始めるには少々遅い気がしたことや、周りの先生方に少しでも早く追いつければという思いもあり、すぐさまレッスンに通うこととしました。その甲斐があったせいか比較的順調にスコアーも伸び、今では先生方に迷惑をかけず楽しくラウンドできるようになっていると思っております。開業した後も同門の先生方にはよくラウンドやコンペにお誘いいただき、公私ともに大変お世話になっており感謝申し上げます。

現在はなかなか時間が作れずレッスンには通えておりませんが、週に 3～4 回はクリニック近くの練習場に足を運び、軽くその日のストレスを発散している日々でございます。

休みは日曜日祝日のみでラウンドできる日は限られておりますが、他にこれといった趣味はないもので、休日はできるだけゴルフのラウンドに充てるようにしております。

どこにでも馳せ参じますので、同門の先生方のさらなるお誘いをお待ちしております。宜しくお願い申し上げます。





第 2 回教室杯ゴルフ大会

宮崎市郡医師会病院 池 尻 洋 史

令和 8 年 4 月 12 日、第 2 回教室杯ゴルフ大会が開催されました。当日は曇り空で時折小雨がぱらつく天候ではありましたが、元教授の帖佐悦男先生、同門会長の平川先生、新入局員の佐藤光先生をはじめ、総勢 12 名の先生方にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で大会が行われました。

今回は例年ベストグロス争いの中心となる益山先生がご不参加でした。そのため、「今年こそベストグロスのチャンスがあるのでは」と淡い期待を抱いて大会に臨みました。しかし、その期待を打ち砕くには江夏先生お一人で十分だったようです。幸運にも江夏先生と同組でラウンドすることとなり、その安定感のあるプレーを間近で拝見しながらの 18 ホールとなりました。

ラウンド中は一進一退の展開が続きましたが、最終 18 番ホールを迎えた時点で私は江夏先生に 2 打差をつけられていました。正直なところ、ベストグロス賞獲得はかなり厳しい状況でした。

それでも 18 番では会心のショットで 2 オンに成功し、イーグルパットで逆転への望みをつなぎました。一方の江夏先生は 3 段目のバンカーからのショットがグリーン奥のバンカーへ。「もしや流れが変わるのでは」と少しだけ期待したのは私だけではなかったと思います。

しかし、そこから江夏先生の真骨頂でした。残り 50 ヤードのバンカーショットをピンそばへびたりと寄せる見事なりカバリー。私はイーグルパットを惜しくも外し、バーディーでフィニッシュしましたが、江夏先生は危なげなくパーセーブ。最後まで勝負を楽しませていただきましたが、「やはり江夏先生は江夏先生だった」と改めて実感する結末となりました。

結果としてベストグロス賞には届きませんでしたが、ハンディキャップに恵まれたこともあり、思いがけず優勝することができました。優勝はもちろん嬉しかったものの、目標としていたベストグロス賞を逃したため、どこか複雑な気持ちも残る表彰式となりました。これもまたゴルフの面白さなのかもしれません。

また、今回も先生方と楽しくラウンドしながら親睦を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。本大会の開催にあたり、幹事を務めてくださった森田雄大先生には、事前準備から当日の運営までご尽力いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回は 12 名の参加でしたが、今後さらに多くの先生方にご参加いただき、本大会がより一層盛会となることを期待しております。私自身も次回は優勝の防衛ではなく、今回果たせなかったベストグロス賞獲得を目標に練習に励みたいと思います。





オープンキャンパス開催のご報告

宮崎大学医学部整形外科 長 澤 誠

2025 年 8 月 8 日（金）、宮崎大学にてオープンキャンパスが開催されました。

当科では「スポーツドクターのお仕事 ～現場での応急処置～」をテーマに、スポーツドクターの役割について紹介するとともに、参加者の皆さんに実際の医療器具を用いた応急処置を体験していただきました。

担当は今里浩之先生、神谷俊樹先生、そして私、長澤の 3 名。エコー機器やギプスシーネを用いた実習を通して、スポーツ現場における医療対応をより身近に、リアルに感じていただける内容となりました。

今回は宮崎県内のみならず、北海道からも高校 1～3 年生の皆さん計 10 名にご参加いただきました。参加者の皆さんは終始楽しそうに取り組まれ、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

中には「今回の体験を通して、ますますスポーツドクターを目指したくなった」と話してくれる学生さんもあり、私たちにとっても大変嬉しく、励みになる時間となりました。

高校生の皆さんから若いエネルギーをもらった一日でした。将来、一人でも多くの皆さんと一緒に医療の現場で働けることを楽しみにしています。





日整会バスケットボール大会を 振り返って

高千穂町国民健康保険病院 整形外科 肥 後 聖

2026 年 5 月 21 日に第 99 回日本整形外科学会親善バスケットボール大会が兵庫県神戸市の磯上体育館にて開催されました。バスケットボール競技については数年ぶりの開催となりました。野球やサッカー、モルックとは違い固定のメンバーがいない状況であり、チームメンバーを探すところからのスタートとなりました。亀井直輔教授、バスケ関連の仕事をしている石田翔太郎先生や川越隆行先生、福島研人先生を核に私の周囲の同門の先生や新入局員の先生に連絡をさせていただき 16 人ほどメンバー候補を集めることができました。いざ直前に最終メンバーを確認したところ、亀井教授を含め計 6 人のみ (内バスケ経験者 2 人) での大会参加となりました。

5 月 9 日に田野町の田野 B&G 海洋センター体育館にて練習を行いました。未経験者も含めシューティングや 1 on 1 などを行い、バスケを思い出すような練習を行い本番への気持ちを高めました。

5 月 21 日朝 6 時に体育館に集合しました。体育館に入ると部活の大会かのように屈強な整形外科医がひしめき合っていて驚かされました。聞くところによると週に 1～2 回練習を行なっている大学医局バスケ部もあるようでした。

初戦の相手は九州大学でした。九州大学の核になるメンバーは私の大学時代に有名であった選手との対戦でした。亀井教授率いる石田先生、佐藤先生、齊藤先生、山崎先生、私で必死にプレーをさせていただきました。何本か得点することはできましたが結果は惨敗でした。

残念な結果ではありましたが医局員の先生とバスケを一緒にできたこと、大学時代の懐かしい先生と再会できたこと含めてとても有意義な大会となりました。

今後の課題として第一はメンバーの獲得です。経験者で興味がある先生は私に連絡をいただければ幸いです。メンバーを集めて練習していきたいと思います。

最後になりましたが同門の先生方には今大会参加者を快く送り出していただき大変ありがたく思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。





日本整形外科学会 2026 第二回モルック大会

野崎東病院 三橋 龍馬

昨年に引き続きモルック大会にエントリーしたはいいいものの私を含め抄録を提出しておらず、昨年のメンバーは参加がままならない状況で一時は出場辞退を検討していました。黒木浩史先生にも相談させて頂き辞退は避けたほうが良いだろうとの大人の意見を頂き、新たに若手メンバーを募りました。そこで高橋巧先生、座間味陽先生に参加を表明頂きなんとか参加にこぎつけました。例年の通り、岡田整形外科の福岡院長にご快諾を頂き本番に近い良好なフィールドをお借りすることができました。岡田整形外科のグラウンドでGWに練習を行い本番に挑むこととなりました。練習後は福岡先生と私のおじさん二人で15時から駅前のビールフェスに繰り出し18時には二人でへべれけになってしまったことはいいい思い出です。神戸で行われた学会初日、当日朝5時40分のポートライナーに乗らなければ試合に間に合わないという夜型の人間には非常に厳しいスケジュールでありました。密かに参加する意思を持ってきていたにも関わらずその意思をくみ取れなかった私の失態で練習を行っていなかった今里先生も朝早くから応援に来てくださりました。今里先生はあたかも仕事のできるGMのような雰囲気を出し相手チームを萎縮させてくれました。

予選は3チームで2セットを行いトップチームが決勝トーナメント出場できるやや変則的なルールで行われました。1セット目は①三橋②黒木③高橋④座間味(以下敬称略)の順で挑みましたが奮闘むなしく40-50で落とし2セット目に10点以上の差をつけてなおかつセットで勝たなければ予選突破はかなわないという非常に厳しい状況になりました。そして2セット目、高橋の調子や良しと判断し①高橋②三橋③黒木④座間味の順に変更し勝負に挑みました。モルックは自分の木の棒を投げて12本の数字の書いてある棒を倒す競技です。ルールは棒を倒した本数がポイントになり50点ちょうどに達したら勝利となります。1本のみ単独で倒すとその棒に書いてある数字がポイントになります。つまりチームの全員がすべてを完璧にこなしても 12×4 で48、最後に2、48+2で50というように最低でも5回投げなければ勝利できません。まず①高橋②三橋が中距離の12の棒を確実に倒しこまで24点。さらに③黒木が近場の密集地の11を狙うも隣の棒も2本倒し結果3点。しかし隣を倒し距離ができたことで11を単独で倒しやすくなり、迎えた④座間味、見事に11点の棒のみを倒し11点、こまで計38点。相手チームも徐々に点数を稼ぐ状況の中、遠くにある12点を倒せば奇跡のパフォーマンスとなる注目の1投。高橋が見事に命中させて奇跡の勝利となりました。高橋の劇的な1投により予選突破することができ黒木(浩)の目にはうっすらと涙が浮かんでいました。この試合ヒーローインタビューをされるとすれば高橋であることは間違いなくモルックニュースターの誕生でありました。キャプテンとしては密着している周囲の棒を倒すことなく見事に1本のみ倒すことで11点をたたき出した座間味の1投が最も難易度が高く勝利を手繰り寄せたと考えます。しかしよく考えるとその前の黒木の適度に棒を散らしたことでそれが

可能となったことを考えるとモルックの奥深さを再確認することとなりました。私も初勝利に感無量でありました。(翌日も5時起きになることが確定し残念な気持ちがなかったといえはウソになるかもしれません。おかげで夜の同門会では酒を控えめに飲むことになり体にはよかったと思います。)まさかの敗北を喫した相手チームはこの日のために医局で朝夕と練習をしていたとのこと。我がチームに本日モルック自体をすることが2回目である選手が2名いることを伝えると膝から崩れ落ちておりました。この時点で今里先生は翌日には確実に応援に来ないことを大きな声で宣言し俺は有言実行だとおっしゃっておりました。夜の飲み会を控え目にこなし迎えた翌日の決勝ラウンド。亀井教授、田島(卓)スポーツセンター長、黒木(修)医局長が早朝から応援に来てくださいました。決勝ラウンドは昨年予選で同リーグとともに敗戦したチームでした。1セット目を38-50で落とし挑んだ2セット目…。なんとかセットはとりましたが50-40であり計88-90で惜敗という結果になりました。相手はかなり練習を積んでおり、日整会の日付がプリントされた予選用と決勝用のチームTシャツを作って参加したとのことで我々との大会に臨むための努力の差は明確でありました。来年以降は作戦参謀として亀井教授やA I担当解析要員として山口Y o ! (A) I ro 先生に協力を仰ぎ望むべきかもしれません。モルックの投擲の際の動きは肩関節周囲炎の改善に有効な振り子運動に類似しておりますので最近肩の調子が悪いなという中年整形外科医、日整会の発表がある若手の先生に来年以降の参加をお勧めいたします。やってみると非常に奥深い競技です。興味のある医局員の先生はぜひ発表をしたついでのモルック競技にご協力いただけると幸甚です。

現場からは以上です。

追伸：日整会2日目の夜、ホテル自室で缶ビールを飲みながら書いた文ですので失礼あればこの場をお借りしてお詫び申し上げます。



令和7年度 第16回 宮崎県少年野球検診(報告)

日 時： 令和7年12月21日(日)

場 所： 宮崎大学医学部附属病院 2 階 整形・外科外来

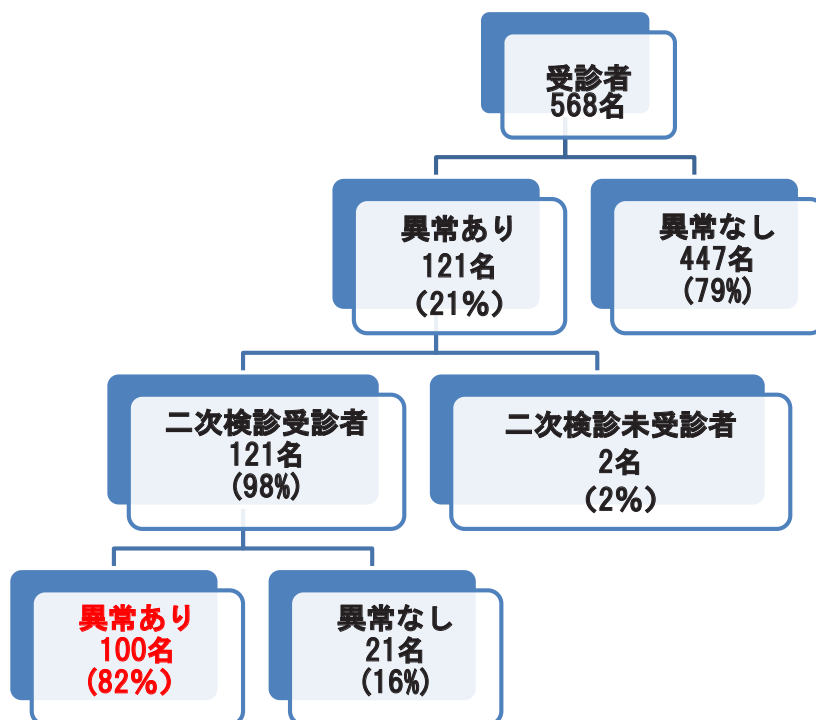


宮崎大学医学部 整形外科

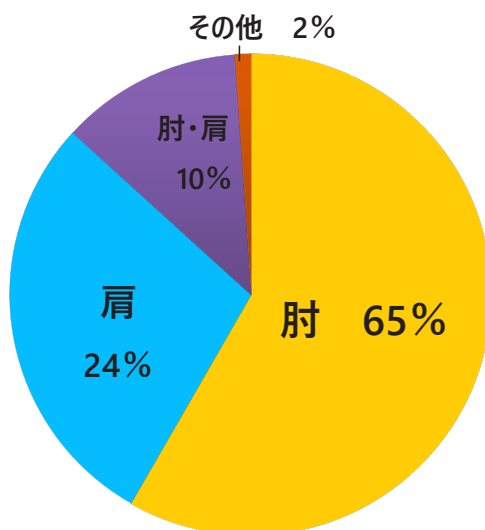
長澤 誠 大田 智美 神谷 俊樹

TEL 0985-85-0986 / FAX 0985-84-2931

1、 受診者の内訳

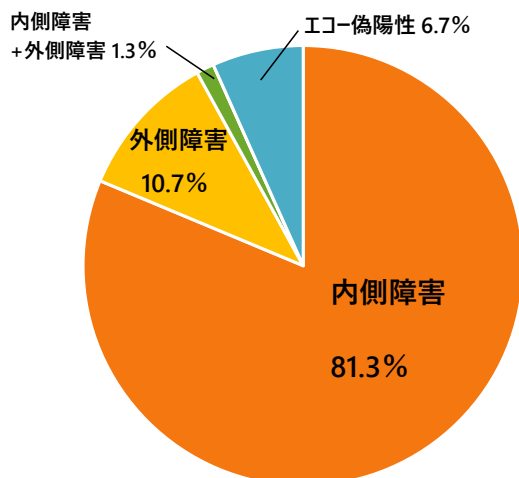


2、 二次検診にて、異常があった選手(100名)の異常部位



二次検診で「異常あり」と診断された選手の約 75%に肘の異常を認めました。

3、 二次検診で肘に異常を認めた選手 (75 名) の内訳



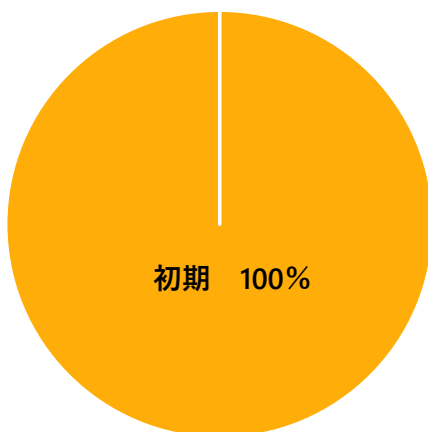
・**内側障害**: 肘の内側の靱帯、骨端軟骨の障害。投球を控えると治りやすい。

・**外側障害**: 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎。肘外側の軟骨障害。年齢や進行状態など発見の時期に応じた投球禁止が必要である。**場合によっては手術が必要となり、後々障害が残ることがある。**

・**エコー偽陽性**: 明らかな外側障害ではないが、疑わしく、経過観察が必要である。

短期間の投球禁止で治る内側障害が 81.3%でしたが、長期間の投球禁止、場合によっては手術が必要となる外側障害が 10.7%(9 肘)に認めました。

4、 肘外側障害の病期

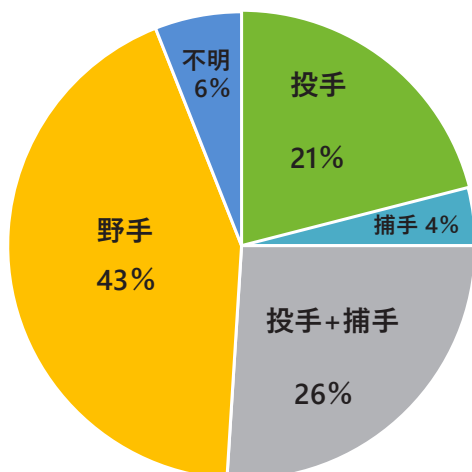


外側障害は初期、分離期前期に発見されれば手術せずに、障害なく治ることが多いです。しかしその時期は症状が出にくく、症状が出たときには進行しています。そのため、検診を受け**初期、分離期前期に見つけることが重要です。**

以前の検診で早期に発見され、手術をせずに(保存的に)野球に復帰している子どもたちがたくさんいます。

外側障害 9 肘全例が手術せず治癒する率が高い初期で見つかりました。検診は早期発見に効果がありました。

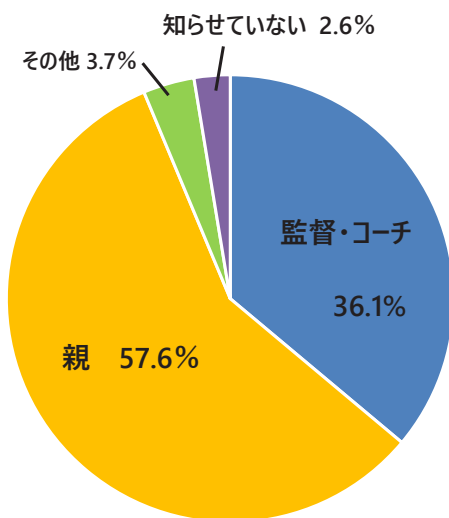
5、肘異常者のポジション



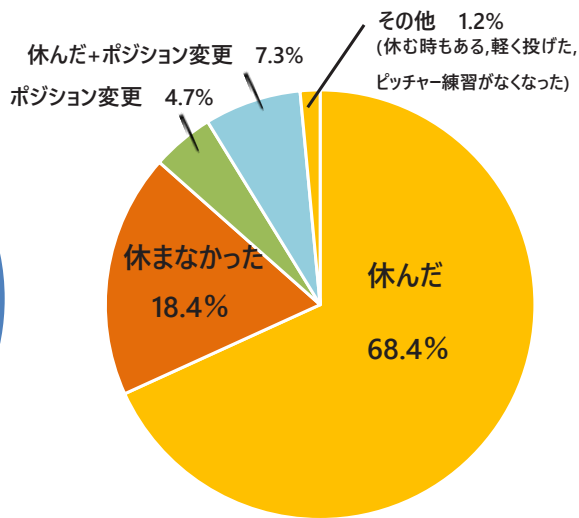
肘異常者は投球機会が多い**投手**か**捕手**が**51%**を占めました。

6、肘に痛みがあったときの対応（選手問診票より）

問：誰かに知らせましたか。
（190 名が回答※複数回答含む）



問：練習は休みましたか。
（190 名が回答）



約94%の選手が監督もしくは親に痛みがあることを伝えているにもかかわらず、約18%の選手は練習を続けていました。

7、結果より

痛みがあっても練習を続けている人の割合は、これまでの検診結果とほぼ同じ結果でした。

監督や指導者の皆様のおかげで、これまでと同様、検診に効果があったものと考えます。

投球休止で改善する内側障害が子供には多く、休める環境ができると外側障害への悪化も予防できます。誰かに SOS を出せる環境、投球を休止しやすい環境作りが予防には重要です。

小学生の野球障害のほとんどは肘障害です。肘には成長軟骨が多く、負担がかかりやすいために生じます。今回の調査で投球機会と関係していた肘障害の中でも短期間の休息で改善する内側型野球肘が 81.3%で、長期間の投球禁止や場合によっては手術が必要な外側障害が 10.7%でした。検診で発見された外側障害は全て手術せずに治癒する初期、分離期前期であり、検診は早期発見に有効でした。

リトルリーグと全日本軟式野球連盟の投手規則

○ リトルリーグ（2010 年度より）

リトル年齢投球制限

- ・11～12 歳 1 日 85 球
- ・9～10 歳 1 日 75 球

リトル年齢 14 歳以下の投手（1 日）

- ・66 球以上の投球、4 日間の休息が必要
- ・51～65 球の投球、3 日間の休息が必要
- ・36～50 球の投球、2 日間の休息が必要
- ・21～35 球の投球、1 日間の休息が必要
- ・1～20 球の投球、休息日は必要ない

※1試合中に4イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。

○ 全日本軟式野球連盟

投手の投球制限について 2026 年改正

- ・70 球以内（4 年生以下 60 球以内）
- ・1 週間の投球数を 210 球以内（4 年生以下 180 球以内）
- ・試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。



めんそーれ沖縄！ 同期3人で行く弾丸リフレッシュツアー

宮崎県立日南病院 関本朝日

同門会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年まで行われていた医局旅行ですが、今年度は新入局員のみでの旅行となりました。日々の業務の息抜きとして、同期の池末和弘先生、濱川晃輔先生と共に3人で出かけた2泊3日の沖縄旅行についてご報告させていただきます。

■ 1日目：絶景ドライブ、プロ野球キャンプで大興奮！

那覇空港に降り立ち、レンタカーを借りて本場の沖縄そばで腹ごしらえをした後、まず向かったのは「海中道路」です。両側に広がるエメラルドグリーンの海を眺めながらのドライブで、一気に南国気分が高まりました。池末先生が沖縄での研修医時代にお世話になった海を3人で眺め、ゆっくりとした時間を過ごしました。次は北谷町へ。この時期の沖縄ならではの(宮崎もですが)のイベント、プロ野球の春季キャンプをのぞきに行きました。タイミング良く、阪神タイガースと中日ドラゴンズの試合を観戦できました。熱狂的な野球好きの池末先生は、プロの迫力あるプレーを間近で見ることができて大興奮！思わぬ熱気にあてられ、旅のテンションも一気に最高潮に達しました。「アメリカンビレッジ」にも寄り、異国情緒あふれる街並みや夕日が沈む海辺を散歩しました。夜是那覇の国際通りに繰り出し、沖縄料理を肴に飲み歩きを敢行。気心の知れた同期ならではの他愛もない話題で大いに盛り上がり、夜更けまで語り明かしました。最後は生演奏の島唄ライブ！濱川先生の見事なカチャーシーで締めくくりました。

■ 2日目：後輩との再会と、心癒されるリゾート滞在

2日目は少し早起きをして、読谷村にある「バンタカフェ by 星野リゾート」へ。目の前に広がる海を見渡しながらの朝活は、日常の喧騒を忘れさせてくれる至福のひとつでした。お昼には、現在沖縄県立北部病院で初期研修中の後輩である上石先生と合流。沖縄名物のボリューム満点なステーキと一緒に頬張りました。遠く離れた地で逞しく奮闘する後輩の姿に頼もしさを感じ、私たちも良い刺激をもらうことができました。午後は私の念願だった「美ら海水族館」へ。雄大なジンベエザメの泳ぎに癒やされ、イルカショーで大歓喜しました。夕方には恩納村の「HIYORI オーシャンリゾート沖縄」へチェックイン。全室オーシャンビューという素晴らしいロケーションのなか、リゾートホテルならではの贅沢で穏やかな時間を満喫しました。

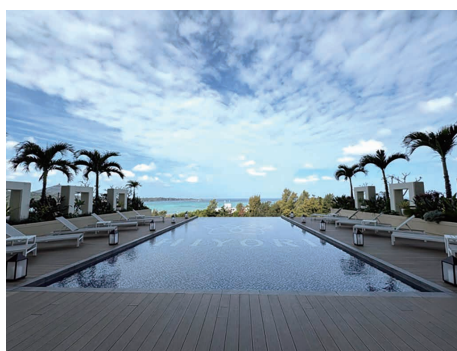
■ 3日目：最後まで沖縄を満喫

最終日は、出発の時間までホテルのテラスで海風を感じながらのんびりと過ごしました。チェック

アウト後は浦添市のパルコシティに立ち寄り、お土産探しやショッピングを満喫。旅の締めくくりは、空港近くの「瀬長島ウミカジテラス」へ。青空と飛行機の離発着を眺めながら美味しいタコライスをいただき、後ろ髪を引かれる思いで帰路につきました。

■ おわりに

あっという間の3日間でしたが、美しい自然と美味しい食事、熱いスポーツ観戦、そして何より同期との語らいを通じて、心身ともに大変リフレッシュすることができました。運転・案内をしてくれた池末先生、旅を盛り上げてくれた濱川先生、同期の頼もしさを感じた3日間でした。この旅でチャージしたエネルギーを糧に、今後の業務・研鑽により一層励んでいきたいと思います。最後になりますが、同門会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。



新入会員自己紹介（正会員）



名 前：齊藤 友彦

生年月日：1999 年 12 月 20 日

出身高校：宮崎県立宮崎西高等学校

出身大学：宮崎大学

専攻医 1 年目の齊藤友彦です。初期研修で久留米・福岡市に行きましたが、入局にあたりせっかくなら医者の少ない地域で働こうと帰ってまいりました。学生時代は陸上・登山をやっており、整形外科にもお世話になることがありました。小林・延岡に縁があり、それらの地域でも働けたらいいなと思っています。体力には自信があるので頑張っています。ご指導よろしくお願いいたします。



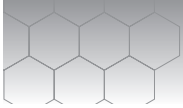
名 前：佐藤 光

生年月日：1984 年 6 月 21 日

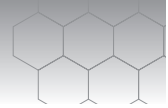
出身高校：宮崎県立宮崎西高等学校

出身大学：宮崎大学

本年度新入局員の佐藤光です。私は高校進学後に東京の大学に進学し、しばらく東京で過ごした後、改めて出身地の宮崎の自然や風土の素晴らしさに気づき、30 歳手前で帰郷し宮崎大学医学部に入学した再受験生です。小中学校では野球やサッカーなどスポーツに打ち込んでいましたが、思えば運動器に対して関心を持つきっかけになったと感じています。宮大入学後はサーフィン部を立ち上げ、これからも改めて競技サーフィンで頑張っていきたいと考えているところです。研修医も宮大病院で過ごさせて頂きましたが、進路を考える中で多くの整形外科の先生方との出会いに恵まれ、最終的に素直に一番やりたいと思える整形外科へ進むことができ幸せを感じている日々です。大好きな宮崎で運動器の魅力を感じながら、少しでも多くの患者様に運動器の「できたらいいな」を叶えることができる医師を目指し日々邁進致します。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



新入会員自己紹介（正会員）



名 前：松永 咲穂

生年月日：1998 年 10 月 9 日

出身高校：宮崎県立宮崎大宮高等学校

出身大学：宮崎大学

今年度、宮崎大学整形外科に入局させていただきました。松永咲穂と申します。
生まれは鹿児島市で、宮崎市育ちです。趣味は旅行で国内だと宮古島へよく行きます。
海外は去年はモルディブに行きました。今年はフィンランドでオーロラを見たいと考えています。
整形外科は幅広い分野があることに魅力を感じ入局を決めました。
コツコツ精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします



名 前：山崎 颯斗

生年月日：1997 年 5 月 19 日

出身高校：宮崎県立宮崎大宮高等学校

出身大学：宮崎大学

生まれも育ちも宮崎の純粋な宮崎人です。
小～中学校までは野球をし、高校ではラグビー、大学では軽音楽部に所属しておりました。今年は野球大会に参加するのが楽しみです。たくさん練習しようと思います。
食べること、飲むことが大好きで、最近はウイスキーにはまっております。
ですが、最近結婚したため、あまり飲みに行けなくなって寂しく思っております。
至らぬ点多々ございますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

同門会総会 議事報告

令和8年度総会：令和8年4月11日（土）17：00～17：30 宮崎観光ホテル

1. 令和7年度(R7.4/1～R8.3/31)事業報告

(1) 会員状況（令和8年4月7日現在）

正会員：205名、賛助会員：44名

(2) 入会・退会

正会員入会：池末 和弘 先生（令和7年4月1日付）

関本 朝日 先生（令和7年4月1日付）

濱川 晃輔 先生（令和7年4月1日付）

賛助会員入会：寶亀 淳 先生（令和7年4月11日付）

寶亀 登 先生（令和7年4月11日付）

賛助会員退会：佐井 伸男 先生（令和8年1月31日付）

(3) 慶事

御開院 令和7年 5月 7日 船元 太郎 先生

御結婚 令和7年 6月14日 肥後 聖 先生

御結婚 令和7年11月29日 坂本 竜一 先生

御結婚 令和8年 3月 8日 土屋 慧祐 先生

(4) 事業報告

令和7年4月12日（土）：第1回役員会、同門会総会、奨励賞、新入医局員歓迎会
「宮崎観光ホテル」

9月：第36号同門会誌発行

9月24日（水）：第2回役員会「ホテルメリージュ」

11月：同門会名簿・会則発行

11月23日（月・振休）：第27回同門会テニス大会（優勝者：神菌 豊 先生）

11月29日（土）：第3回役員会、はまゆう整形外科セミナー、忘年会
「宮崎観光ホテル」

11月30日（日）：第32回同門会ゴルフ大会（優勝者：公文 崇詞 先生）

令和8年2月25日（水）：第4回役員会「ホテルメリージュ」

(5) 第18回宮崎整形外科医学奨励賞

受賞者：山口 洋一朗 先生、森田 雄大 先生

座 長：永井 琢哉 先生

(6) 教室支援（留学・学会・研究助成など）

- ・第150回西日本整形・災害外科学会（令和7年11月15日～16日、宮崎市民プラザ）
- ・英語論文支援経費（3件）
- ・短期留学支援費（0件）

(7) 会計報告

令和7年度決算は監査報告があり、総会（R8/4/11）にて承認された。

2. 令和8年度（R8.4.1～R9.3.31）事業計画・予算

(1) 令和8年度の予算案は総会（R8/4/11）にて承認された。

(2) 役員会開催

第1回役員会（令和8年4月11日、宮崎観光ホテル）

第2回役員会（令和8年10月頃、未定）

第3回役員会（令和8年11月28日、宮崎観光ホテル）

第4回役員会（令和9年3月頃、未定）

(3) 総会、歓迎会、講演会、忘年会開催

令和8年4月11日（土）：同門会総会、奨励賞、新入医局員歓迎会
「宮崎観光ホテル」

11月28日（土）：はまゆう整形外科セミナー、忘年会
「宮崎観光ホテル」

(4) 第19回宮崎整形外科医学奨励賞

受賞者：今里 浩之 先生、横江 琢示 先生

座 長：森田 雄大 先生（第18回受賞者）

＊表彰式および講演は、令和8年4月11日の新入医局員歓迎会で実施

(5) 親睦行事（予定）

令和8年11月（未定）：第28回同門会テニス大会

令和8年11月（未定）：第33回同門会ゴルフ大会

(6) 会則並びに同門会誌発行

①第37号（令和8年8月頃） ②会則名簿（令和8年11月頃）

(7) 教室支援（留学・学会・研究助成など）

- ・英語論文支援経費
- ・短期留学支援費

業 績

2024年1月～2025年3月

論文(英文)

番号	論文タイトル	著者名	掲載誌名	巻号頁	発行年月
1	Differences in Retromalleolar Fibular Groove Morphology According to Level of Axial Computed Tomography Scans	Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Koki Ouchi,,Nami Yamaguchi,Yudai Morita,Etsuo Chosa	Orthopaedic Journal of Sports Medicine	12 (3)	2024.03
2	The impact of glucocorticoid use on the outcomes of rheumatoid arthritis in a multicenter ultrasound cohort study.	Fumiaki Nonaka, Shoichi Fukui, Tohru Michitsuji, Yushiro Endo, Ayako Nishino, Toshimasa Shimizu, Masataka Umeda, Remi Sumiyoshi, Tomohiro Koga, Naoki Iwamoto, Tomoki Origuchi, Yukitaka Ueki, Nobutaka Eiraku, Takahisa Suzuki, Akitomo Okada, Naoki Matsuoka, Hirokazu Takaoka, Hiroaki Hamada, Tomomi Tsuru, Yojiro Arinobu, Toshihiko Hidaka, Keita Fujikawa, Tamami Yoshitama, Yoshifumi Tada, Hideo Ohtsubo, Jun Ishizaki, Tomoyuki Asano, Takahiro Maeda, Atsushi Kawakami, Shin-Ya Kawashiri	The International Journal of Rheumatic Diseases	27(3):e151-18	2024.03
3	Clinical and ultrasound features of difficult-to-treat rheumatoid arthritis: A multicenter RA ultrasound cohort study.	Michitsuji T, Fukui S, Morimoto S, Endo Y, Nishino A, Nishihata S, Tsuji Y, Shimizu T, Umeda M, Sumiyoshi R, Koga T, Iwamoto N, Origuchi T, Ueki Y, Yoshitama T, Eiraku N, Matsuoka N, Okada A, Fujikawa K, Ohtsubo H, Takaoka H, Hamada H, Tsuru T, Nawata M, Arinobu Y, Hidaka T, Tada Y, Kawakami A, Kawashiri SY.	Scandinavian Journal of Rheumatology	53(2):123-129	2024.03
4	Screening of Undiagnosed Increased Lateral Ankle Laxity Using Stress Ultrasonography	Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Etsuo Chosa,Nami Yamaguchi and Yudai Morita	Orthopaedic Journal of Sports Medicine	12 (4)	2024.04
5	Ureter position and risk of ureteral injury during lateral lumbar interbody fusion	Hideaki Hamanaka, Takuya Tajima, Syuji Kurogi, Kiyoshi Higa, Takuya Nagai, Tomofumi Kuroki, Hiroki Takamori, Syoichiro Mukai, Toshiyuki Kamoto, Etsuo Chosa	Journal of Orthopaedic Science	29 (3) : 775-780	2024.05
6	Retromalleolar groove morphology of the tibialis posterior tendon (TPT) in patients without TPT pathology evaluated by axial computed	Takuji Yokoe, Fan Yang,Takuya Tajima, Nami Yamaguchi,Yudai Morita,Etsuo Chosa	Foot and Ankle Surgery	30 (7) : 608-611	2024.05
7	Comparison of ultrasonographic evaluation methods for ankle syndesmosis in non-weight bearing and weight bearing conditions	Takuji Yokoe, FanYang, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita, Etsuo Chosa	Foot and Ankle Surgery	31 (1) : 20-24	2024.06

論文(英文)

番号	論文タイトル	著者名	掲載誌名	巻号頁	発行年月
8	Favorable Short-Term Outcomes of a Patient With Symptomatic Bipartite Navicular Bone Treated by Screw Fixation	Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Etsuo Chosa	Cureus	16(8):e67959	2024.08
9	The evaluation of rotational lateral ankle laxity in gravity stress position by ultrasonography: normative value in uninjured ankles	Takuji Yokoe, Fan Yang, Takuya Tajima and Etsuo Chosa	BMC Musculoskeletal Disorders	25:764	2024.10
10	Direct repair of the chronic ochronotic Achilles tendon rupture: a case report	Takuji Yokoe, Makoto Nagasawa, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Tomomi Ota, Yudai Morita, and Etsuo Chosa	BMC Musculoskeletal Disorders	25:843	2024.10
11	Influences of advanced age in rheumatoid arthritis: A multicentre ultrasonography cohort study.	Chieko Kawahara, Shoichi Fukui, Tohru Michitsuji, Ayako Nishino, Yushiro Endo, Toshimasa Shimizu, Masataka Umeda, Remi Sumiyoshi, Tomohiro Koga, Naoki Iwamoto, Tomoki Origuchi, Yukitaka Ueki, Nobutaka Eiraku, Takahisa Suzuki, Akitomo Okada, Naoki Matsuoka, Hirokazu Takaoka, Hiroaki Hamada, Tomomi Tsuru, Yojiro Arinobu, Toshihiko Hidaka, Keita Fujikawa, Tamami Yoshitama, Yoshifumi Tada, Hideo Ohtsubo, Jun Ishizaki, Tomoyuki Asano, Atsushi Kawakami, Shin-Ya Kawashiri	Modern Rheumatology	34(6):1142-1148	2024.10
12	Distinct clinical outcomes based on multiple serum cytokine and chemokine profiles rather than autoantibody profiles and ultrasound findings in rheumatoid arthritis: a prospective ultrasound cohort study.	Shoichi Fukui, Tohru Michitsuji, Yushiro Endo, Ayako Nishino, Kaori Furukawa, Shimpei Morimoto, Toshimasa Shimizu, Masataka Umeda, Remi Sumiyoshi, Tomohiro Koga, Naoki Iwamoto, Mami Tamai, Tomoki Origuchi, Karin A J van Schie, Yukitaka Ueki, Nobutaka Eiraku, Tamami Yoshitama, Naoki Matsuoka, Takahisa Suzuki, Akitomo Okada, Hiroaki Hamada, Masahiro Ayano, Toshihiko Hidaka, Tomomi Tsuru, Takahiro Maeda, Tom W J Huizinga, René E M Toes, Atsushi Kawakami, Shin-Ya Kawashiri	Rheumatoid Arthritis Journal	11(1):e005163	2025.01
13	Association between restricted outings and geriatric locomotive function scale score in the general elderly population during the COVID-19 pandemic	Masashi Uehara, Jun Takahashi, Shota Ikegami, Ryosuke Tokida, Hikaru Nishimura, Noriko Sakai, Etsuo Chosa	Journal of Orthopaedic Science	30(1):180-184	2025.01
14	Biomechanical effects of LCWHTO vs. MOWHTO on medial meniscus posterior root repair: a finite element analysis	Fan Yang, Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Takuya Tajima, Naosuke Kamei & Etsuo Chosa	scientific reports	15:10008	2025.03

論文(和文)

番号	論文タイトル	著者名	掲載誌名	巻号頁	発行年月
1	膝関節周囲骨折に対して1期的にロボット支援MakoTKAを施行した2例	柏木悠吾、小島岳史、柏木輝行、福島研人、黒木啓吾、吉田尚紀、帖佐悦男	整形外科と災害外科	73(2):249-252	2024.03
2	Perthes病の診断遅延から見えてくる問題	梅崎哲矢、川野彰裕、福島研人、帖佐悦男	日本小児整形外科雑誌	33(1):38-42	2024.06
3	サーフィン大会帯同で妥当な日当を支給するための取り組み 一般社団法人宮崎サーフメディカルチームを設立して	小島岳史、石田翔太郎、帖佐悦男	九州・山ロスポーツ医・科学研究会誌	35:5-7	2024.07
4	ジャパンラグビーリーグワンにおける外傷・障害調査	田島卓也、帖佐悦男、中村明彦	日本臨床スポーツ医学学会誌	32(3):342-344	2024.08
5	橈骨遠位端骨折を合併したVarusPosteromedialRotaryInstabilityの1例	甲斐系乃	日本肘関節学会雑誌	31(2):134-137	2024.09
6	肝硬変を基礎疾患に持つ多発膿瘍の2例	飯田暁人、小菌敬洋、井口公貴、北島潤弥、石原和明、大倉俊之、栗原典近	整形外科と災害外科	73(4):205-207	2024.09
7	受傷4か月後に観血的整復を要した小児陳旧性外傷性股関節脱臼の1例	大野鉄平、中村嘉宏、今里浩之、福永 幹、藤田貢司、山口洋一朗、日吉 優、船元太郎、坂本武郎、帖佐悦男	整形外科と災害外科	73(4):152-154	2024.09
8	リファンピシン使用によりステロイド作用が減弱し治療に難渋した手関節非結核性抗酸菌症の1例	松永美穂、大田智美、田島卓也、山口奈美、長澤 誠、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	整形外科と災害外科	73(3):204-207	2024.09
9	鎖骨-骨幹部骨折に髄内針を使用した小経験	井口公貴、小菌敬洋、飯田暁人、北島潤弥、石原和明、大倉俊之、栗原典近	整形外科と災害外科	73(3):112-115	2024.09
10	脊髄手術の術中・術後の止血に難渋し発覚した血小板機能異常症の1例	肥後 聖、比嘉 聖、濱中秀昭、黒木修司、永井琢哉、日高三貴、高橋巧、帖佐悦男	整形外科と災害外科	73(3):17-22	2024.09
11	地域から考えるポストコロナのロコモ対策と展望	船元太郎、永井琢哉、帖佐悦男	運動器リハビリテーション	35(3):240-246	2024.10
12	下肢変形に対し複数回の骨端成長軟骨發育抑制術を要した関節弛緩を伴う脊椎骨端骨幹端異形成症の兄弟例	福島研人、川野彰裕、梅崎哲矢、帖佐悦男	日本整形外科学会雑誌	98(11):1019-1022	2024.11
13	人工関節周囲感染に対しCLAPを施工しインプラントが温存できた3例	小牧 亘、深野木快士、植村貞仁、福富雅子、帖佐悦男	宮崎整形外科研究会誌	29:1-3	2024.11
14	入院中の管理困難な症例に対する取り組み	座間味 陽、松岡知己、平川雄介、川越隆行	宮崎整形外科研究会誌	29:4-5	2024.11

論文(和文)

番号	論文タイトル	著者名	掲載誌名	巻号頁	発行年月
15	整形外科病棟におけるインシデントレポート	石原和明、飯田暁人、井口公貴、北島潤弥、大倉俊之、小菌敬洋、栗原典近	宮崎整形外科研究会誌	29:6-7	2024.11
16	人工骨頭置換術後にバイポーラーカップとフェモラルヘッドの分解・脱臼を来した1例	柏木悠吾、柏木輝行、小島岳史、石田翔太郎、吉田尚紀	宮崎整形外科研究会誌	29:8-9	2024.11
17	人工膝関節置換術患者の骨粗鬆症有病率	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、石田翔太郎、吉田尚紀	宮崎整形外科研究会誌	29:14-15	2024.11
18	高校生期の野球選手における投球速度と身体的特性の関係性 ～野球ボール回転解析システムMA-Qを用いて～	綱翔太郎、松澤雄太、泉 俊彦	臨床と理学療法	11(2):3-10	2024.11
19	主科による転移性骨腫瘍への考え	石原和明、飯田暁人、井口公貴、北島潤弥、大倉俊之、小菌敬洋、栗原典近	整形外科と災害外科	74(2):241-243	2025.03

総 説

番号	タイトル	著者名	掲載誌名	巻号頁	発行 年月
1	緩みのないセメントレスシステムを安全に抜去できるかー不確実性が少ない安心、安全な抜去手技の導入ー	中村嘉宏、帖佐悦男	関節外科 基礎と臨床	43(2):74-83	2024.02
2	膝関節周囲疲労骨折に対するスポーツ復帰を目指したリハビリテーション診療	山口奈美、帖佐悦男	メディカルリハビリテーション	300(5月増大 号):83-88	2024.05
3	骨関節疾患	坂本武郎、帖佐悦男	臨床と研究	101(7):79-82	2024.07
4	関節鏡およびスポーツ整形外科関連手術に対するレジストリー: JOSKAS eNOTEからJSOAレジストリーへ. 特集. 大規模レジストリーによる整形外科リアルワールドエビデンス構築	田島卓也、鈴木朱美	臨床整形外科	59(7):891-895	2024.07
5	神経筋電気刺激療法(NMES)の筋萎縮予防・筋力増強効果	田島卓也、帖佐悦男	関節外科 基礎と臨床	43(10):116-123	2024.10
6	人工股関節再置換術(大腿骨側)	中村嘉宏、帖佐悦男	関節外科 基礎と臨床	43(11):108-117	2024.11
7	特集 その痛みはどこから? -スポーツによる外傷・障害-, 筋損傷の痛みと治療のアプローチ	田島卓也	臨床スポーツ医学	41(12):1314-1319	2024.12
8	細胞を用いた再生医療の現状と今後の展望 臨床への展開(Vol.8) 間葉系幹細胞の磁気ターゲティングによる関節軟骨再生治療の開発	亀井直輔、安達伸生、 越智光夫	医学のあゆみ	292(4):326-330	2025.01

著 書

番号	題名	著者名	書名	執筆頁	発行年月
1	Ⅱ.急性期のリハビリテーション医学・医療のための基礎知識 安静と臥床の病態生理	荒川英樹	急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト 第2版	p15-19	2024.03
2	Ⅱ 膝関節 Modified Larson法による膝関節後外側支持機構再建術	田島卓也、帖佐悦男	新OS NEXUS No.10 股・膝関節の鏡視下手術	p134-142	2024.05
3	Chapter1 健康な乳幼児の発育・発達 身体機能の発達 11)運動系	帖佐悦男	子どもの発育・発達と乳幼児健診 ー育児サポートにも大活躍！ー	p62-68	2024.10

学会発表(招待口演・シンポジウム)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
1	わが国の側弯症学校検診の現状と未来展望	黒木浩史	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
2	柔道における成長期スポーツ障害 一腰椎分離症の予防についてー	紙谷武、井汲彰、黒木修司、佐々木英嗣、立石智彦、米田實、木田将量、神谷宣広、松永大吾、宮崎誠司、三上靖夫	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
3	子どもの運動器が危ない ー運動の大切さとなぜ子どもの頃からロコモ予防が必要かー	帖佐悦男	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
4	成長期野球選手の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する治療成績	長澤 誠、田島卓也、山口奈美、大田智美、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.06	北九州
5	ロコモ検診データ5000例を用いたAIによるロコモスクリーニング	山口洋一朗、今里浩之、横江琢示、森田雄大、永井琢哉、舩元太郎、田島卓也、帖佐悦男	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.06	北九州
6	当センターにおける両側Perthes病の検討	福嶋研人、川野彰裕、梅崎哲矢、帖佐悦男	第63回小児股関節研究会	2024.06	横浜
7	精神病床入院患者の活動、運動機能とリハビリテーション医療	荒川英樹	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会	2024.06	東京
8	Double-bundle ACL reconstruction with BTB and gracilis composite autograft for Asian collision athlete. (Invited lecture)	Takuya Tajima	TOSSM-JSOA combined meeting	2024.07	Pattaya, Thailand
9	JOSSM50周年記念企画、これからのJSOAに期待すること;スポーツ整形外科(関節鏡およびスポーツ整形外科関連手術)におけるレジストリ	田島卓也、鈴木朱美	第2回日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京
10	宮崎県におけるスポーツドクターと栄養士との連携	森田雄大	日本スポーツ栄養学会第10回大会	2024.09	埼玉県
11	間葉系幹細胞磁気ターゲティングによる軟骨再生	亀井直輔、安達伸生、越智光夫	第39回日本整形外科学会基礎学術集会	2024.10	東京
12	自治体と連携して開催した世界骨粗鬆症デー(WOD)の取り組みについて	前原孝政、小牧亘、太田尾祐史、内村裕起、山下理恵、南中道里香、星原亮太、森元直美、東 友和、満安隆之	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢

学会発表(招待口演・シンポジウム)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
13	機器を用いた側弯症学校検診 ― 全国展開に向けた日本側弯症学会の取り組み ―	黒木浩史	第58回日本側弯症学会	2024.11	福岡
14	日常生活動作の上肢キネマティクス-年齢と性の影響を中心に-	中武 潤、宮崎茂明、荒川英樹、帖佐悦男	第51回日本臨床バイオメカニクス学会	2024.11	大阪
15	ジャパンラグビーリーグワンのメディカルサポート体制の現状と課題	田島卓也、中村明彦	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
16	宮崎県におけるスポーツ医・科学サポート体制の構築	田島卓也、帖佐悦男	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
17	ストレス超音波検査による足関節外側靱帯不安定症の診断	横江琢示、帖佐悦男、田島卓也、山口美奈、大田智美、長澤 誠、森田雄大	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島
18	胸椎、仙椎に発生した骨居細胞腫(GCT)に手術およびデノスマブ投与を行った2例	比嘉 聖、濱中秀昭、黒木修二、永井琢哉、高橋 巧、松本尊行、亀井直輔、帖佐悦男	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島
19	ストレス超音波検査による足関節外側靱帯不安定症の診断	横江琢示、帖佐悦男、田島卓也、山口美奈、大田智美、長澤誠、森田雄大	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島
20	胸椎、仙椎に発生した骨居細胞腫(GCT)に手術およびデノスマブ投与を行った2例	比嘉聖、濱中秀昭、黒木修二、永井琢哉、高橋巧、松本尊行、亀井直輔、帖佐悦男	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島
21	働き方改革と医学生のキャリア志向	船元太郎、小松弘幸、亀井直輔	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
1	Col2A1異常に関連した胸椎後側弯症の1例	永井琢哉、濱中秀昭、黒木修司、比嘉聖、高橋 巧、松本尊行、帖佐悦男	第39回九州小児整形外科集談会	2024.01	福岡
2	下肢変形に対し複数回のguided growthを要したSEMD-JLの兄弟例の治療経験	福岡研人、川野彰裕、梅崎哲矢、帖佐悦男	第39回九州小児整形外科集談会	2024.01	福岡
3	サッカーのゴールキーパーに生じる舟状骨偽関節についての検討	甲斐奈乃、戸田 雅、鎌田 綾	第45回九州手外科学研究会	2024.02	佐賀
4	遊離皮弁を用いて救肢し得たA群溶連菌による上肢壊死性筋膜炎の一例	日吉 優、田崎和志、東雲宗之、山内佑太、川名 遼、佐々木 朗、松岡博史、落合秀信	第59回宮崎救急医学会	2024.02	宮崎
5	人工膝関節置換術患者の骨粗鬆症有病率	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、黒木啓吾、吉田尚紀、帖佐悦男	第54回日本人工関節学会	2024.02	京都
6	当院における肩関節周囲炎に対する拡散型圧力波の治療効果について	出口彩乃、一井竜弥、山元ありさ、佐藤有紀、早野 浩、高須尚樹、甲斐咲輝、河原勝博	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
7	拡散型圧力波(R-PW)による足関節背屈可動域の変化量の検証～下腿三頭筋・筋腹への治療介入効果に着目して～	坂元俊介、野口麻沙史、甲斐俊介、迫間紳史、江夏剛	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
8	ハムストリングスの柔軟性向上目的に拡散型圧力波を使用する場合の周波数は、20Hzより10Hzが有効である。	甲斐雅人、塩崎 猛、柏木輝行、小島岳史	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
9	Hogrelマシンと振動刺激マシンによるハムストリングスのストレッチ即時効果の比較検討	藤田靖昇、塩崎 猛、柏木輝行、小島岳史	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
10	中学女子バスケットボール選手と成人女子バスケットボール選手の下肢柔軟性の比較	外山芹香、塩崎 猛、柏木輝行、小島岳史	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
11	地域高齢者の骨密度に関連する因子の検討-体組成と運動習慣に関するアンケートの結果より-	満安隆之、前原孝政、圓福陽介、東友和、植村貞仁、深野木快士、小牧 亘	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
12	当施設における過去3年間の転倒・転落の実態	後藤眞育、那須優一、田澤さおり、沖久美子、福田洗希、上村莉帆、浪平辰州、帖佐直紀	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
13	当院における転倒転落防止に向けた多職種カンファレンスの取り組み	長田響生、後藤夏季、小川灯子、宮崎茂明、荒川英樹、帖佐悦男	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
14	当院における大腿骨転子部骨折術後経過の特徴について	坂田尚亮、本村涼馬、蔵座利文、尾崎純也、浪平辰州、帖佐直紀	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
15	当院における身体機能と嚥下障害の関連性の有無について	白川悠奈、蓑田健二、東 一久、魚住春奈、浪平辰州、帖佐直紀	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
16	舌の過緊張を認めた小顎症を伴う口蓋裂の一例	立山七絵、荒川英樹、帖佐悦男	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
17	SBi Silicone インプラント®による人工中手指節間関節置換術後早期からスタティックスプリントを使用した関節リウマチの一症例	前田翔吾、大田智美、中武 潤、荒川英樹、帖佐悦男	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
18	集学的治療と生命予後を考慮したリハビリテーション治療により自宅退院に至った脊髄悪性神経膠腫の一例	湯村千里、長田響生、中武 潤、荒川英樹、帖佐悦男	第46回宮崎リハビリテーション研究会	2024.02	宮崎
19	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術	長澤 誠、帖佐悦男	第36回日本肘関節学会学術集会	2024.03	札幌
20	遠位上腕二頭筋腱断裂の2例	大野鉄平、大田智美、長澤 誠、帖佐悦男	第36回日本肘関節学会学術集会	2024.03	札幌
21	橈骨遠位端骨折を合併したVarus Posteromedial Rotary Instabilityの1例	甲斐糸乃	第36回日本肘関節学会学術集会	2024.03	札幌
22	CT画像による腓骨筋腱溝の形態学的評価	横江琢示、田島卓也、山口奈美、森田雄大、帖佐悦男	第10回九州足の外科研究会	2024.03	福岡
23	柔道競技における膝前十字靭帯損傷の特徴	森田雄大、田島卓也、山口奈美、横江琢示、帖佐悦男	第49回九州膝関節研究会	2024.03	福岡
24	サーファーの膝前十字靭帯再建術後の復帰プログラムの提案	岩下睦美、小島岳史、柏木輝行、帖佐悦男	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
25	ビデオカメラタイプのカヤックモーションキャプチャーシステムの開発	川口 翼、宮崎茂明、山子 剛、木村遼、ニローシャン プンチヘーワ、荒川英樹、帖佐悦男	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
26	女子陸上選手の月経記録から見てきたことー月経周期調整と低用量ピルの取り組みー	竹井友理恵、菅原康史、明野慶子、田島卓也	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
27	パラサーフィン大会のメディカルサポート報告ーパラリンピック新種目採用を見据えてー	中村志保、小島岳史、石田翔太郎、一井竜弥、帖佐悦男	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
28	宮崎式サーフィン競技安全度評価に基づいたメディカルサポート2シーズンのまとめ	御手洗隆良、小島岳史、石田翔太郎	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
29	サーフィン大会帯同で妥当な日当を支給するための取り組み 一般社団法人宮崎サーフメディカルチームを設立して	小島岳史、石田翔太郎	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
30	サッカーゴールキーパーに生じた舟状骨偽関節についての検討	鎌田 綾、戸田 雅、吉川大輔、甲斐糸乃、益山松三	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
31	Jones骨折検診の試み	喜多恒允、樋口潤一、樋口誠二、深尾悠、日吉 優、永井琢哉、藤田貢司、横江琢示、川越 亮、飯田暁人、宮本浩幸、原田昭彦、山口奈美、田島卓也、帖佐悦男、三橋龍馬、立石智彦	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
32	小学生ソフトボール選手に対する肘検診の活動報告	山元公俊、川村康太、山元 弘、鈴木脩斗、井上正太、長澤 誠	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
33	JFA over60・70全国大会での会場救護に対する活動報告	谷合司聖、高橋淳二、甲斐紀章、中山富貴、島袋 渉、坂本玲惟楠、宮本浩幸、樋口潤一	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
34	宮崎県におけるラグビープロチームのキャンプメディカルサポート	岩佐一真、今里浩之、田島卓也、森田恭史、吉川大輔、三橋龍馬、中村嘉宏、帖佐悦男	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
35	地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業	田島卓也、山口奈美、緒方善弘、黒葛原朱美、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	第70回宮崎県スポーツ学会	2024.03	宮崎
36	当科における頸椎化膿性脊椎炎の治療法選択と術後後弯	黒木修司、松本尊行、高橋 巧、永井琢哉、比嘉 聖、濱中秀昭、帖佐悦男	第53回日本脊椎脊髓病学会学術集会	2024.04	横浜
37	腰椎疾患患者におけるCTでの椎体HUの測定は骨粗鬆症・骨質評価において有用か	比嘉 聖、濱中秀昭、黒木修司、永井琢哉、高橋 巧、松本尊行、帖佐悦男	第53回日本脊椎脊髓病学会学術集会	2024.04	横浜
38	透析患者の頭蓋骨CT画像における骨の変化ーハロービンベスト固定におけるビン穿破のリスク因子の検討ー	濱中秀昭、黒木修司、比嘉 聖、永井琢哉、日高三貴、高橋 巧、帖佐悦男	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
39	わが国の側弯症学校検診の現状と未来展望	黒木浩史	第56回日本整形外科学会	2024.05	福岡
40	TKA周囲骨折骨接合後再骨折の1例	日吉 優、中村嘉宏、帖佐悦男	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.06	北九州
41	高熱・炎症反応高値を示し鑑別に苦慮した両側単純性股関節炎の一例	川越悠輔、森 治樹、池尻洋史、北堀貴史、鮫島 央、帖佐悦男	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.06	北九州

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
42	宮崎における重度四肢外傷治療の「いま」と「これから」	日吉 優、帖佐悦男、今里浩之、増田圭吾、石原和明	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.06	北九州
43	C1-2 不安定症に対する後方手術の治療成績 ～除圧術単独と固定併用の比較～	松本尊行、濱中秀昭、黒木修司、比嘉聖、永井琢哉、高橋 巧、帖佐悦男	第99回西日本脊椎研究会	2024.06	徳島
44	宮崎県保健医療福祉調整本部防災訓練への参加を通して	川崎弘貴、鈴木幹次郎、荒川英樹、帖佐悦男	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会	2024.06	東京
45	DISHに伴う椎体骨折に対するO-armを用いたDEPS(double endplates penetrating screw)法による後方固定	黒木智文、濱中秀昭、黒木修司、比嘉聖、永井琢哉、高橋 巧、松本尊行	第14回最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)	2024.06	倉敷
46	大腿骨転子部骨折術後患者の10年生存率	柏木悠吾、柏木輝行、小島岳史	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
47	頸椎脱臼骨折における椎骨動脈損傷と症候性脳梗塞の発生率	日吉優、今里浩之、福永 幹、帖佐悦男、神谷俊樹	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
48	非定型大腿骨骨折に対する骨穿孔術を併用した骨折観血的手術の検討-隠し味(ひと手間)は奏功するのか？	小牧 亘、帖佐悦男	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
49	当センターにおける両側Perthes病の検討	福岡研人、川野彰裕、梅崎哲矢	第63回日本小児股関節研究会	2024.06	横浜
50	両側同時に手術施行したJones骨折の1例	三橋龍馬、福田 一、増田 寛、久保紳一郎、田島直也	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
51	人工骨頭置換術後にバイポーラーカップとフェモラルヘッドの分解・脱臼を来した1例	柏木悠吾、柏木輝行、小島岳史、石田翔太郎、吉田尚紀	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
52	当科にて仙骨脆弱性骨折に対して手術加療を行なった1例	河野 翔、川野啓介、比嘉 聖	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
53	アキレス腱内膿瘍をきたした猫咬傷の1例	川越悠輔、森 治樹、池尻洋史、岩佐一真、大野鉄平	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
54	当院における観血的整復固定術を要した上腕骨大結節骨折5例の検討	川越 亮、海田博志、森田恭史	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
55	末期変形性膝関節症に対するS-flurbiprofen plasterの効果と継続率	井口公貴、肥後 聖、座間味 陽、北島潤弥、小菌敬洋、栗原典近	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
56	膝周囲骨切り術(AKO)始めました～国内留学してその後～	石田翔太郎、柏木輝行、小島岳史、吉田尚紀、柏木悠吾、三谷玄弥	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
57	当院における膝周囲骨切り術の短期成績	森田雄大、田島卓也、大田智美、長澤誠、横江琢示、帖佐悦男	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
58	ロープロファイルロッキングプレートを使用し遠位脛骨斜め骨切り術を行なった治療経験	岡村 龍、小菌敬洋、北島潤弥、井口公貴、座間味 陽、肥後 聖、栗原典近	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
59	人工膝関節置換術患者の骨粗鬆症有病率	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、石田翔太郎、吉田尚紀	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
60	母指以外の手指MP関節側副韌帯付着部裂離骨折に対する治療経験	甲斐糸乃、當瀬雅大、鎌田 綾、吉川大輔、益山松三	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
61	指関節牽引創外固定Dynamic Distraction Apparatus 2 (DDA 2)を用いたPIP関節脱臼骨折の治療成績	戸田 雅、上通一師、當瀬雅大、鎌田綾、吉川大輔、甲斐糸乃、益山松三	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
62	当院整形外科と形成外科の手術における連携体制について	福田麻衣美、大安剛裕、川浪和子、出光茉莉江、益山松三、甲斐糸乃、吉川大輔、鎌田 綾、當瀬雅大	第88回宮崎整形外科懇話会	2024.06	宮崎
63	ロコモ検診における新型コロナウイルス感染症の影響	船元太郎、帖佐悦男	第52回日本関節病学会	2024.07	東京
64	世界骨粗鬆症デー(WOD)に合わせた都城市における啓発活動の取り組みについて-市民公開講座参加者の意識調査も含めて-	小牧 亘、前原孝政、太田尾祐史、内村裕起、山下理恵、南中道里香、星原亮太、満安隆之、東 友和、森元直美、福富雅子	第37回日本臨床整形外科学会学術集会	2024.07	熊本
65	当院の骨粗鬆症性椎体骨折に対する取り組みの変遷による効果と今後の課題	前原孝政、小牧亘、深野木快士、植村貞仁、太田尾祐史、内村裕起、大久保節子、南中道里香、星原亮太	第37回日本臨床整形外科学会学術集会	2024.07	熊本
66	FLS活動開始後の新規外来患者数と外来医業収益について	太田尾祐史、小牧 亘、前原孝政、東友和、大久保節子、宮川恵美、山下理恵、南中道里香、星原亮太、内村裕起、森元直美	第37回日本臨床整形外科学会学術集会	2024.07	熊本
67	The 16th International Conference Genetic and Evolutionary Computing	Fan Yang, Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa	ICGEC-2024 CALL FOR PAPER	2024.08	宮崎
68	柔道競技における当科での手術症例の検討	森田雄大、田島卓也、山口奈美、長澤誠、横江琢示、帖佐悦男	日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京
69	Football's migraineと診断されたプロサッカー選手の1例	山口奈美、田島卓也、森田雄大、長澤誠、横江琢示、帖佐悦男	日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
70	小学生野球選手の肩関節可動域の変化	長澤 誠、田島卓也、山口奈美、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京
71	全身関節弛緩性を有する若年男性の足関節外側靱帯不安定症は全身関節弛緩性を有さない群と比較し大きい	横江琢示、田島卓也、山口奈美、長澤誠、森田雄大、帖佐悦男	日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京
72	両側JONES骨折に対して両側同時に手術加療した女子バスケットボール選手の1例	三橋龍馬、田島直也、喜多恒允、帖佐悦男、田島卓也	日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024)	2024.09	東京
73	スポーツリモートメディカルサポートシステムの構築と我々の活動に関して	中村嘉宏、田島卓也、帖佐悦男、黒木修司	宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構 第31回技術・研究発表交流会	2024.09	宮崎
74	用手的リンパドレナージの微弱電流刺激による補助効果の検討	野海 渉、小牧 亘	第65回全日本病院学会	2024.09	京都
75	腰部脊柱管狭窄症患者の前傾姿勢による身体運動機能への影響	養原勝哉、小牧 亘	第65回全日本病院学会	2024.09	京都
76	ストレス超音波検査で評価した足関節回旋不安定性と徒手前方引き出しテストの関係	横江琢示、帖佐悦男	第35回日本整形外科学会超音波学会	2024.10	東京
77	当センターにおける癒縮治療に対するITB療法的位置付けと治療成績	梅崎哲矢、川野彰裕、福嶋研人	第41回日本脳性麻痺の外科研究会	2024.10	沖縄
78	機器を用いた側弯症学校検診 ― 全国展開に向けた日本側弯症学会の取り組み ―	黒木浩史	第58回日本側弯症学会	2024.11	福岡
79	術後CT画像に生じるメタルアーチファクト及びメタルアーチファクト低減処理がシステム周囲の術後応力解析に及ぼす影響	鎗水浩平、和佐宗樹、岡上裕介、帖佐悦男、山子 剛	第51回日本臨床バイオメカニクス学会	2024.11	大阪
80	半月板損傷後に用いるクッション型インプラントの膝関節面圧力分布の評価	内海光稀、帖佐悦男、山子 剛	第51回日本臨床バイオメカニクス学会	2024.11	大阪
81	円板状外側半月板部分切除術に高位脛骨内反骨切り術を併用した際の脛骨大腿骨関節の接触応力の有限要素数による評価	大内宏輝、横江琢示、田島卓也、帖佐悦男	第51回日本臨床バイオメカニクス学会	2024.11	大阪
82	宮崎県における側弯症学校検診の現状	永井琢哉、黒木浩史、比嘉 聖、帖佐悦男	第58回日本側弯症学会学術集会	2024.11	福岡
83	腓骨筋腱溝の形態学的評価はCT推断撮像レベルの影響を受ける	横江琢示	第49回日本足の外科学会学術集会	2024.11	東京

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
84	宮崎県のラグビー競技の外傷報告とメディカルサポートの実際	今里浩之、田島卓也、帖佐悦男、吉川大輔、岩佐一真、森田恭史	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
85	マスギャザリングとなる1万人規模マラソン大会における救護体制の構築と問題点	黒木修司、田島卓也、帖佐悦男	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
86	宮崎式サーフィン競技安全度評価に基づいたメディカルサポート2シーズンのまとめ	小島岳史、石田翔太郎	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
87	若年の腰痛疾患の正確な診断のためにはMRIを施工すべきであり、特に単純XPで潜在性二分脊椎を認める症例では分離症の合併が多いため注意を要する	三橋龍馬、田島直也、帖佐悦男、田島卓也	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
88	当院で経験した脊椎発症小児 Langerhans cell histiocytosis の3例	永井琢哉、濱中秀昭、黒木修司、比嘉聖、高橋 巧、松本尊行、亀井直輔、帖佐悦男	第100回西日本脊椎研究会	2024.11	沖縄
89	脊椎発生の骨巨細胞種(GCT)に就学的治療を行った4例の経験	比嘉 聖、濱中秀昭、黒木修司、永井琢哉、高橋 巧、松本尊行、亀井直輔	第100回西日本脊椎研究会	2024.11	沖縄
90	両側Perthes病5例の治療経験	福岡研人、川野彰裕、梅崎哲矢	第35回日本小児整形外科学会学術集会	2024.12	福岡
91	低侵襲かつ早期骨癒合を期待し、同種骨移植を併用した内側楔状開大式脛骨粗面下骨切り術症例の検討	石田翔太郎、柏木輝行、小島岳史、吉田尚紀、柏木悠吾	第2回日本膝関節学会	2024.12	沖縄
92	スポーツによる膝複合靱帯損症例の特徴と傾向	田島卓也、山口奈美、森田雄大、横江琢示、大田智美、長澤 誠、帖佐悦男、亀井直輔	第36回九州・山ロススポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡
93	末梢血由来のFibrin Clot内に骨髄由来のFibrin Clotを挿入したものを併用し半月板のHoop機能を補強しうる縫合方法にて半月縫合を行った4症例	三橋龍馬、福田一、増田寛、田島直也、久保紳一郎、帖佐悦男、田島卓也	第36回九州・山ロススポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡
94	骨端線閉鎖前の若年者に対する鏡視下pull-out法を用いた前十字靱帯修復術の一例	佐々木一駿、田島卓也、山口奈美、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	第36回九州・山ロススポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡
95	ハムストリング近位部損傷における当科での手術経験	森田雄大、田島卓也、山口奈美、大田智美、長澤 誠、横江琢示、帖佐悦男	第36回九州・山ロススポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡
96	Footballer's migraine と診断されたプロサッカー選手の1例	山口奈美、田島卓也、長澤 誠、森田雄大、横江琢示	第36回九州・山ロススポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
97	サーファー外来続けてます	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、石田翔太朗、吉田尚紀、田島卓也	第36回九州・山ロス スポーツ医・科学研究会	2024.12	福岡
98	当院におけるGustilo type3A/3B境界領域症例の検討	日吉 優、帖佐悦男、山口洋一郎、今里浩之	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
99	高度骨欠損並びにMRSA骨軟部感染併発により治療に難渋した大腿骨開放骨折の一例	山下紀美子、中村嘉宏、帖佐悦男、坂本武郎、舩元太郎、山口洋一郎、今里浩之、藤田貢司、天野翔太、帖佐直紀、亀井直輔	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
100	中手骨基部粉碎骨折を伴うCM関節脱臼骨折の2例	井口公貴、石原和明、小菌敬洋、肥後聖、座間味 陽、北島潤弥、栗原典近	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
101	感染・骨欠損を伴った脛骨遠位骨折に対するTrabecular metal augmentationを用いたSalvage手術の治療経験	田中涼太、中村嘉宏、坂本武郎、舩元太郎、山口洋一郎、今里浩之、藤田貢司、帖佐直紀、帖佐悦男	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
102	悪性腫瘍と鑑別を要した原発性結核腫瘍の1例	鮫島勇汰、大田智美、田島卓也、山口奈美、長澤 誠、森田雄大、横江琢示、土屋慧祐、亀井直輔、帖佐悦男	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
103	立方骨単独骨折に対して骨折観血の手術を施工した1例	座間味 陽、栗原典近、小菌敬洋、岡村龍、井口公貴、北島潤弥、肥後 聖	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
104	ハムストリングス近位部損傷における当院での手術経験	土屋慧祐、森田雄大、田島卓也、山口奈美、大田智美、長澤 誠、横江琢示、帖佐悦男	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
105	ARMD症例の検討と外転筋機能不全に対する軟部組織再憲法に関して	榊 昂典、帖佐悦男、坂本武郎、中村嘉宏、舩元太郎、山口洋一郎、今里浩之、藤田貢司、帖佐直紀	第148回西日本整形・ 災害外科学会学術集 会	2024.12	鹿児島
106	Perthes病の早期発見のための提言	梅崎哲矢、川野彰裕、福岡研人	第89回宮崎整形外科 懇話会	2024.12	宮崎
107	当センターにおけるPonseti法による先天性内反足の治療経験	福岡研人、川野彰裕、梅崎哲矢	第89回宮崎整形外科 懇話会	2024.12	宮崎
108	骨折を有しない恥骨結合離開に動脈損傷を合併した1例	北堀貴史、松永美穂、平川雄介、松岡知己、日吉 優	第89回宮崎整形外科 懇話会	2024.12	宮崎
109	立方骨脱臼の一例	福永 幹、當瀬雅大、鎌田 綾、甲斐糸乃、吉川大輔、益山松三	第89回宮崎整形外科 懇話会	2024.12	宮崎
110	大腿骨骨幹部骨折術中に発生した大腿骨頸部骨折に対して内固定を施行した1例	肥後 聖、井口公貴、座間味 陽、北島潤弥、小園敬洋、岡村 龍、栗原典近、帖佐悦男	第89回宮崎整形外科 懇話会	2024.12	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
111	鎖骨-骨幹部骨折に対する MIPO 法の治療経験	大野鉄平、岩佐一真、川越悠輔、池尻洋史、森 治樹	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
112	緩みのある高位脱臼したTHAに対して大腿骨遠位短縮骨切り併用し再置換施行した2例	鮫島勇汰、坂本武郎、中村嘉宏、舩元太郎、山口洋一朗、今里浩之、天野翔太、帖佐直紀、山下紀美子、亀井直輔	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
113	Transgluteal approachによる股関節手術後に生じた仮性動脈瘤の一例	川越秀一、泉 俊彦、安藤 徹	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
114	ロボット支援UKA導入後初期症例についての検討	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、石田翔太郎、吉田尚紀	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
115	AR-Hip 併用下でのTHAカップ設置精度の評価	喜多恒允、吉川教恵、濱田浩朗	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
116	ロボット支援人工股関節手術におけるカップ設置制度 整形外科1年目と30年目の比較	柏木悠吾、柏木輝行、小島岳史、石田翔太郎	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
117	小児距骨骨折に対して手術加療を施行した1例	座間味 陽、栗原典近、小園敬洋、北島潤弥、井口公貴、肥後 聖	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
118	示指中指PIP関節脱臼を伴った小児中節骨骨端線損傷の1例	大田智美、田島卓也、山口奈美、長澤誠、森田雄大、横江琢示、佐々木一駿、榊 昂典、亀井直輔	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
119	当院における小児脊髄損傷のヒト自己骨髄由来間葉系幹細胞(ステミラック注)適応2症例の経験	永井琢哉、濱中秀昭、黒木修司、比嘉聖、高橋 巧、松本尊行、亀井直輔	第89回宮崎整形外科懇話会	2024.12	宮崎
120	足部変形の治療に難渋したSMA-LEDの1例	梅崎哲矢、川野彰裕、福嶋研人	第36回日本整形外科学会骨系統疾患研究会	2024.12	福岡
121	骨成長終了後に追加治療を要した多発性骨端異形成症に併発したペルテス病の1例	川野彰裕、梅崎哲矢、福嶋研人	第40回九州小児整形外科集談会	2025.01	福岡
122	当院入院患者における咳嗽力と身体・認知機能、活動性の関連について	林田友樹、佐野佳未、上村和也、上村莉帆、岩崎智代、浪平辰州、飯田暁人	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
123	頸部前傾が嚥下機能に与える影響	養田健二、東 一久、白川悠奈、魚住春奈、浪平辰州、飯田暁人	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
124	肝胆膵領域癌および食道癌における周術期の口腔・嚥下機能の評価	深江真吾、荒川英樹、宮崎茂明	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
125	ギラン・バレー症候群を呈した症例の回復過程における心理変化	渡辺紗英、川野彰裕、梅崎哲矢、福嶋研人、海野理絵、山下晃功、岩山隆之、野口拓巳	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
126	ALアミロイドーシスに対し早期からADL・IADL訓練を行い、自宅退院・外来で化学療法を継続できた一症例	矢野朝香、中武 潤、荒川英樹	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
127	令和6年1月能登半島地震における宮崎JRAT第4陣の活動報告	長田響生、小川灯子、宮崎茂明、荒川英樹	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
128	当院のデイケア利用者に対する30cm台立ち上がり動作に関連する因子の検討	満安隆之、砂川一馬、圓福陽介、大山香代子、村永千世恵、松山孝志、植村貞仁、深野木快士、小牧 亘	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
129	歩行動作の時空間パラメータと膝関節の力学的負荷との相互関係	松田友秋、加藤 浩、新保千尋、獅子目 亨	第47回宮崎リハビリテーション研究会	2025.02	宮崎
130	Scaphoid fractures injured by soccer goalkeepers when saving a ball with the palm	Itono Kai, Masashi Toda, Aya Kamada	IFSSH/IFSHT TRIENNIAL Congress 2025 Global Hand Care	2025.03	Washington, USA
131	CT画像による後脛骨筋腱溝の形態学的評価	横江琢示、帖佐悦男、亀井直輔	第11回九州足の外科研究会	2025.03	福岡
132	頸椎脱臼骨折における椎骨動脈損傷の発生率と症候性脳梗塞の発生率	日吉優、長野健彦、落合秀信、亀井直輔	第61回宮崎救急医学会	2025.03	宮崎
133	当院整形外科と形成外科の手術における連携体制について	福田麻衣美、大安剛裕、川浪和子、出光茉莉江、益山松三、甲斐糸乃、吉川大輔、鎌田 綾、當瀬雅大	第61回宮崎救急医学会	2025.03	宮崎
134	自家ハムストリグ腱を用いた二十束後十字靱帯再建術における術後成績不良例のリスクファクターの検討	森田雄大、田島卓也、山口奈美、横江琢示、帖佐悦男、亀井大輔	第50回九州膝関節研究会	2025.03	福岡
135	健康増進施設認定取得までのプロセスと役割	御手洗隆良、深尾 悠、小島岳史、石原善三郎	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
136	サーフィン中の心拍応答の評価(光学式心拍計付腕時計を用いた計測)	一井竜弥、小島岳史、河原勝博	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
137	サーファー外来続けてます	小島岳史、柏木輝行、柏木悠吾、石田翔太郎、吉田尚紀	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
138	「日本のひなた宮崎障スポ」開催に向けたメディアカルスタッフの課題～SAGA2024 障スポ視察からみえてきたもの～	松元春香、水浦毅彦、長友典子、佐藤勇貴、大山史朗、山内通恵、福嶋秀一郎、田島卓也	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎

学会発表(一般口演)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
139	第2回ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)視察研修の報告	帖佐直紀、長澤 誠、明野慶子、久保彩、奈須崇倫、落合 優、中村優太、黒木雅子、門田広美、野田ありさ、田島卓也、亀井直輔	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
140	Jones骨折大規模検診@石川	喜多恒允、樋口潤一、樋口誠二、深尾悠、日吉 優、永井琢哉、藤田貢司、横江琢示、川越 亮、飯田暁人、宮本浩幸、原田昭彦、山口奈美、田島卓也、帖佐悦男、亀井直輔、三橋龍馬、立石智彦	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
141	女子サッカーチームに対するメディカルサポート	樋口潤一、谷谷司聖、宮本浩幸	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
142	サーフィン中の溺水患者に対する頸椎保護の必要性についての検討	戸村祐理子、小島岳史、落合秀信	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
143	高校生柔道選手に対する前十字靭帯断裂後の治療経過に関するアンケート調査	山元公俊、川村康太、山元 弘、今西杏介、森田雄大	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
144	ACL損傷の術前リハビリテーションでロボットを使用し、バランス機能向上した一症例	岡村謙佑、落合 優、川口 翼、久保彩、伊波わか葉、長友朱里、下沖爽子、宮崎茂明、田島卓也、荒川英樹	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
145	ラグビーによる膝伸展機構断裂を伴う膝複合靭帯損傷の1例	田中涼太、田島卓也、山口奈美、大田智美、長澤 誠、森田雄大、横江琢示、亀井直輔	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
146	骨端線閉鎖前の若年者に対する鏡視下pull-out法を用いた前十字靭帯修復術の一例	佐々木一駿、田島卓也、山口奈美、大田智美、長澤 誠、森田雄大、横江琢示、亀井直輔	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎
147	若年の腰痛患者の正確な診断のためにはMRIを施行すべきであり、特に単純XPで潜在性二分脊椎を認める症例では分離症の合併が多いため注意を要する	三橋龍馬、田島直也、久保紳一郎、野崎正太郎、増田 寛、福田 一	第72回宮崎県スポーツ学会	2025.03	宮崎

学会発表(ポスター)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
1	Three-dimensional fine structures in deep fascia revealed by combined use of cryo-fixed histochemistry and low-vacuum scanning microscopy	Hiroyuki Imazato, Nobuyasu Takahashi, Yusuke Hirakawa, Yoichiro Yamaguchi, Masaru Hiyoshi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa and Akira Sawaguchi	ORS2024 ANNUAL MEETING	2024.02	Long Beach, USA
2	A possible Cause of Articular Cartilage Degeneration in the Acute Phase after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction	Yudai Morita, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Takuji Yokoe, Etsuo Chosa	ORS2024 ANNUAL MEETING	2024.02	Long Beach, USA
3	Predicting The Clinical Decision Limits of Locomotive Syndrome from The Screening Questionnaire Using Machine Learning	Yoichiro Yamaguchi, Hiroyuki Imazato, Takuji Yokoe, Yudai Morita, Takuya Tajima, Etsuo Chosa	ORS2024 ANNUAL MEETING	2024.02	Long Beach, USA
4	当院の大腿骨近位部骨折に対するFLS活動の治療推移とその課題	前原孝政、小牧 亘、深野木快士、植村貞仁、太田尾祐史、内村裕起、大久保節子、南中道里香、星原亮太	第11回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会	2024.03	東京
5	FLS活動開始後の外来患者数の変化が当院運営におよぼす影響と職員意識調査について	太田尾祐史、小牧 亘、前原孝政、東友和、大久保節子、宮川恵美、山下理恵、南中道里香、星原亮太、内村裕起、森元直美	第11回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会	2024.03	東京
6	THE ANTERIOR TALOFIBULAR LIGAMENT RATIO WAS GREATER IN YOUNG MEN WITH GENERALIZED JOINT LAXITY THAN IN THOSE WITHOUT GENERALIZED JOINT LAXITY	Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita, Etsuo Chosa	21ST ESSKA CONGRESS	2024.05	MILAN, ITALY
7	EFFECT OF THE VOLUME OF RESECTED DISCOID LATERAL MENISCUS ON THE CONTACT STRESS OF THE TIBIOFEMORAL JOINT: A FINITE ELEMENT ANALYSIS	Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita, Etsuo Chosa	21ST ESSKA CONGRESS	2024.05	MILAN, ITALY
8	Pelvic discontinuity を合併する人工股関節置換術の手技的問題点 ー骨盤輪をどう安定化させるか？白蓋再建法は？ー	中村嘉宏、帖佐悦男、坂本武郎、船元太郎、山口洋一郎、今里浩之、藤田貢司、福永 幹	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
9	CTでの椎体HUの測定は骨粗鬆症・骨質評価において有用か ーDXAとの比較ー	比嘉 聖、濱中秀昭、黒木修司、永井琢哉、高橋 巧、帖佐悦男	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
10	医療安全の観点から考えるwell fixed セメントレスシステムの抜去法に関して	中村嘉宏、帖佐悦男、坂本武郎、船元太郎、山口洋一郎、今里浩之、藤田貢司、福永 幹	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡

学会発表(ポスター)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
11	A reimbursement system based on 48-hour target time for hip fracture surgery shortened the waiting time and affected clinical outcomes	Tsunemasa Kita,Taro Funamoto,Haruki Mori,Hiroshi Ikejiri,Takahumi Kitabori,Takuya Tajima,Etsuo Chosa	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
12	Hip fracture surgery within 48 hours from injury improved short-term mobility	Tsunemasa Kita,Taro Funamoto,Haruki Mori,Hiroshi Ikejiri,Takahumi Kitabori,Takuya Tajima,Etsuo Chosa	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
13	Vertebral coplanar alignmentを用いた低後弯特発性側弯症に対する生理的胸椎後弯形成	山田勝崇、森平泰、野尻英俊、村上悠介、明田浩司、片柳順也、友利正樹、都島幹人、中村英一郎、永井琢哉、種市洋	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
14	思春期特発性側弯症に対するvertebral coplanar alignmentにおけるPonte osteotomyの影響	友利正樹、森平泰、高田知史、山田勝崇、内野洋介、野尻英俊、志村有永、村上悠介、明田浩司、片柳順也、都島幹人、中村英一郎、永井琢哉、大谷和之、種市洋	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
15	一般高齢者集団におけるCOVID-19 パンデミック時の外出制限とロコモ25スコアとの関連性	上原将志、高橋淳、池上章太、常田亮介、西村輝、酒井典子、帖佐悦男	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
16	有限要素法による円盤状外側半月板患者における半月板部分切除量の変化が膝関節応力に及ぼす影響の評価	横江琢示、帖佐悦男、田島卓也、山口奈美、大田智美、長澤 誠、森田雄大	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
17	凍結固定組織化学と低真空走査型顕微鏡の併用で示す深筋膜の三次元微細構造	今里浩之、高橋伸育、澤口 朗、山口洋一朗、日吉 優、船元太郎、中村嘉宏、田島卓也、坂本武郎、帖佐悦男	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
18	Lenke type2患者におけるVCA法による側弯矯正での術後肩バランス不良の危険因子	志村有永、野尻英俊、森平泰、種市洋、山田勝崇、森野忠夫、中村英一郎、友利正樹、大谷和之、明田浩司、永井琢哉	第97回日本整形外科学会学術総会	2024.05	福岡
19	超高齢者のびまん性特発性骨増殖症(DISH)ヲ背景とした椎体骨折における早期手術の有用性の検討	神谷俊樹	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
20	粉碎の強い行骨遠位端骨折に対する一時的創外固定は何を改善するか	今里浩之、日吉 優、帖佐悦男、中村嘉宏、山口洋一朗、福永 幹、神谷俊樹	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台

学会発表(ポスター)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
21	当科における仙骨脆弱性骨折の経験	河野 翔、川野啓介、帖佐悦男	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
22	急性心筋梗塞を合併した大腿骨頸部骨折の1例	北堀貴史、森 治樹、池尻洋史	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.06	仙台
23	骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折の3か月後の椎体圧潰進行率に関連する因子の検討	圓福陽介、東 友和、植村貞仁、深野木快士、小牧 亘	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	2024.09	横浜
24	安全な寛骨臼骨切り術・恥骨骨接合を目的とした股関節前内側・坐骨前方のcadaver study	今里浩之、帖佐悦男、坂本武郎、中村嘉宏、船元太郎、日吉 優、山口洋一郎、福永 幹、帖佐直紀	第51回日本股関節学会学術集会	2024.10	岡山
25	非定形大腿骨骨折の組織の検討ーリスク因子の長期ビスホスホネート服用による骨細胞壊死傾向の関与についてー	小牧 亘、深野木快士、植村貞仁、船本太郎、帖佐悦男、田中弘之、島倉剛俊、山本智章	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
26	透析患者の頭蓋骨CT画像における骨の変化ーハローピンバスト、メイフィールド固定におけるピン穿破のリスク因子の検討ー	濱中秀昭、黒木修司、船元太郎、永井琢哉、帖佐悦男	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
27	高齢者における腰椎DXAの適合性	船元太郎、永井琢哉、比嘉 聖、黒木修司、濱中秀昭、帖佐悦男	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
28	宮崎県延岡市の市民を対象としたアンケート調査からみえる骨粗鬆症リスクの状況ー産・学・官共同事業『のべおか骨太プロジェクト』のスタートにあたってー	佐藤信博、船元太郎、帖佐悦男、吉村典子、西村邦宏、金井一男、岡村樹里、石原和明、公文崇詞、井上英豪	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
29	当科でのアパロパラチド短期治療経験	永井琢哉、濱中秀昭、黒木修司、船元太郎、帖佐悦男	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
30	人工膝関節置換術患者の骨粗鬆症有病率	吉田尚紀 柏木輝行 小島岳史 石田翔太郎 柏木悠吾	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢

学会発表(ポスター)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
31	当院の二次性骨折予防継続管理料の算定状況と課題について	前原孝政、小牧 亘、太田尾祐史、内村裕起、南中道里香、星原亮太、宮川恵美、大久保節子、深野木快士、植村貞仁	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
32	脆弱性骨折のリスク因子の検討ーリエゾンサービス対象者に対する一次骨折前後での比較ー	小牧 亘、前原孝政、太田尾祐史、内村裕起、宮川恵美、南中道里香、星原 亮太、深野木快士、植村貞仁	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10	金沢
33	腰部脊柱管狭窄症に対する後方除圧術がMRI上の椎間板変性に及ぼす影響	亀井直輔、中前稔生、丸山俊明、中和人、Fadlyansyah Farid、福井博喜、安達 伸生	第39回日本整形外科学会基礎学術集会	2024.10	東京
34	安全な寛骨臼骨切り術・恥骨骨接合を目的とした股関節前内側・坐骨前方のcadaver study	今里浩之、帖佐悦男、坂本武郎、中村嘉宏、舩元太郎、日吉 優、山口洋一郎、福永 幹、帖佐直紀	第51回日本股関節学会学術集会	2024.10	岡山
35	変形性足関節症ステージ4に対し遠位脛骨斜め骨切り術を行なった1例の中期成績	岡村 龍、肥後 聖、座間味 陽、井口公貴、北島潤弥、小菌敏洋、栗原典近	第49回日本足の外科学会	2024.11	東京
36	鷲足炎との鑑別に苦渋した脛骨内側顆部疲労骨折の1例	山口奈美、横尾琢示、森田雄大、長澤 誠、田島卓也、帖佐悦男	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
37	高校空手道部の貧血調査	森田雄大、田島卓也、山口奈美、長澤 誠、横江琢示、帖佐悦男	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
38	受傷前歩行が自立していた大腿骨近位部骨折患者の在宅復帰に関わる要因の検討	渡辺一徹、太田尾祐史、東 友和、深野木快士、植村貞仁、小牧 亘	第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	2024.11	岡山市
39	ベルト電極式骨格筋電気刺激実施前後の体組成変化についての検討	東 友和、渡辺一徹、野海 渉、茂利久嗣、圓福陽介、養原勝哉、前原政孝、満安隆之、松元美里季、太田尾祐希、有田江里菜、砂川一馬、植村貞仁、深野木快士、小牧 亘	第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	2024.11	岡山市
40	膝離断性軟骨骨炎に対する保存療法の経験	山口奈美、田島卓也、森田雄大、横江琢示、帖佐悦男	第2回日本膝関節学会	2024.12	沖縄

学会発表(ポスター)

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
41	実業団柔道選手における膝関節靱帯・半月板損傷とX線評価の検討	森田雄大、田島卓也、山口奈美、横江琢示、帖佐悦男	第2回日本膝関節学会	2024.12	沖縄
42	十字靱帯周囲のガングリオンに対して超音波ガイド下に穿刺吸引後にステロイド注射を施工した5例	三橋龍馬、田島卓也、帖佐悦男	第2回日本膝関節学会	2024.12	沖縄
43	Evaluation Of Contact Area And Pressure On Total Surface Bearing Sockets During Golf Swing In Two Subjects	Koji Totoribe,Koki Ouchi, Go Yamako,Gang Deng,Etsuo Chosa	ORS 2025 Annual Meeting	2025.02	Phoenix, USA
44	Hip Joint Reaction Force And Posture During Gait In Patients With Unilateral Hip Osteoarthritis	Koki Ouchi,Koji Totoribe,Go Yamako,Gang Deng,Etsuo Chosa	ORS 2025 Annual Meeting	2025.02	Phoenix, USA
45	ロボット支援UKA導入後初期症例についての検討	小島岳史、柏木輝行、吉田尚紀、石田翔太郎、柏木悠吾	第55回日本人工関節学会	2025.02	名古屋
46	OWHTO施行後、再内反に対してMakoシステムを用いてUKAを施行した1例	石田翔太郎、柏木輝行、小島岳史、吉田尚紀、柏木悠吾	第55回日本人工関節学会	2025.02	名古屋
47	人工骨頭置換術後にバイポーラーカップとフェモラルヘッドの分解を来した1例	柏木悠吾、柏木輝行、小島岳史、吉田尚紀、石田翔太郎	第55回日本人工関節学会	2025.02	名古屋
48	関節内遊離体が原因となった前骨間神経麻痺の1例	甲斐糸乃	第37回日本肘関節学会学術集会	2025.03	岡山
49	野球選手の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する鏡視下廓清術の治療成績	長澤 誠、大野鉄平、大田智美、亀井直輔、帖佐悦男	第37回日本肘関節学会学術集会	2025.03	岡山

講演

番号	演題名	発表者名	会議名称	開催年月	開催地
1	精神科理学療法への期待—リハビリテーション医療の新たな領域—	荒川英樹	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会	2024.06	東京
2	「膝が痛いつてもそも何？」～膝の痛みはどこからくるのか？どのような治療がいいのか？を解説します～	小島岳史、柏木輝行	市民講座「～やさしく解説先進的な医療の話～膝と股関節の健康講座」	2024.07	都城
3	「人の手よりロボット？」～ロボットを使った人工関節手術の安全性～	柏木悠吾、柏木輝行	市民講座「～やさしく解説先進的な医療の話～膝と股関節の健康講座」	2024.07	都城
4	「足をまっすぐにできますよ？」～人工関節以外の選択肢～	石田翔太郎、柏木輝行	市民講座「～やさしく解説先進的な医療の話～膝と股関節の健康講座」	2024.07	都城
5	「膝周囲骨切り術がいいらしい～人工関節以外の選択肢～」	石田翔太郎、柏木輝行、小島岳史、吉田尚紀、柏木悠吾	南九州 変形性膝関節症セミナー	2024.09	WEB
6	下肢特化カーボンテンプルを用いた Intra-capsular THAの実践-Anatomical Sort Stemを用いた手技-	中村嘉宏、帖佐悦男、坂本武郎	第51回日本股関節学会学術集会	2024.10	岡山
7	いい骨、いい歯、いい薬	小牧 亘	世界骨粗鬆症デーin都城2024	2024.10	都城
8	みんなあちこち痛いんだよ、生きているんだもの！ —生活、運動習慣を見直してみよう—	中村嘉宏	運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会	2024.10	宮崎
9	いつのまにか骨折～あなたの骨は大丈夫ですか？～	福嶋秀一郎	運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会	2024.10	宮崎
10	フレイル、ロコモ、サルコペニアについて	黒木龍二	運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会	2024.10	宮崎
11	健康スポーツナース(スポーツナース)がなぜ必要か	帖佐悦男	第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会	2024.11	新潟
12	運動器再生研究と実用化への取り組み	亀井直輔	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会	2024.12	鹿児島
13	やめられないのならばう、骨折連鎖を断ち切るメソッド	小牧 亘	第8回牧会地域医療連携の会	2024.12	都城
14	「学校健診での具体的な側弯症の診かた」について	永井琢哉	延岡市医師会研修講演会	2025.03	延岡

編 集 後 記

2026 年号では、近況報告、同門会活動、研究報告などを掲載いたしました。

本年度より、大学病院および関連病院のスタッフの写真を新たに掲載いたしました。同門の先生方に関連病院のスタッフの皆様の顔を知っていただき、より一層連携が深まる契機となれば幸いです。

また、第 150 回西日本整形外科・災害外科学会学術集会も盛会のうちに終了いたしました。同門の皆様のご指導とご協力に、厚く御礼申し上げます。

このたび、新たに齊藤友彦先生、佐藤光先生、松永咲穂先生、山崎颯斗先生の 4 名がご入会されました。先生方の今後のご活躍を楽しみにしております。

その他、同門会長や医局長のご挨拶、学会賞・同門会奨励賞、同門会行事、医局行事等の報告を掲載しております。皆様楽しんで読んでいただけますと幸いです。

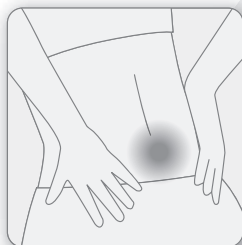
末筆ではございますが、ご多忙の折、本誌にご寄稿いただきました先生方に心より深謝申し上げます。

令和 8 年 7 月吉日

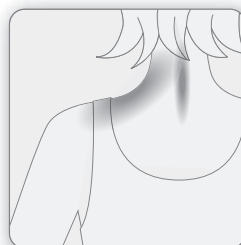
渡邊 信二

大田 智美（文責）

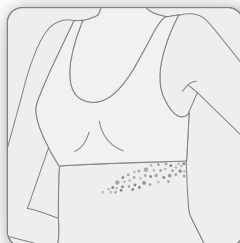
腰痛症



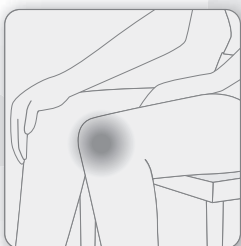
頸肩腕症候群



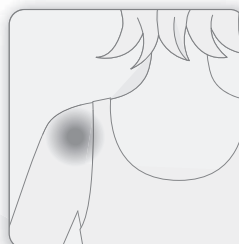
帯状疱疹後神経痛



変形性関節症



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤（非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害）

ノイロトピン®錠 4単位

ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液含有製剤 薬価基準収載



2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果
帯状疱疹後神経痛、
腰痛症、頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、変形性関節症

6. 用法及び用量
通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

7. 用法及び用量に関連する注意
＜帯状疱疹後神経痛＞
4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続け
ないよう注意すること。

11. 副作用
次の副作用があらわれることがあるので、観察を
十分に行い、異常が認められた場合には投与を中
止するなど適切な処置を行うこと。

- 11.1 重大な副作用
11.1.1 肝機能障害、黄疸（いずれも頻度不明）
AST、ALT、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、
黄疸があらわれることがある。
11.1.2 ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）
11.2 その他の副作用（一部抜粋）
発疹、胃部不快感、悪心・嘔気、食欲不振

その他の注意事項等情報については、電子添文を
ご参照ください。

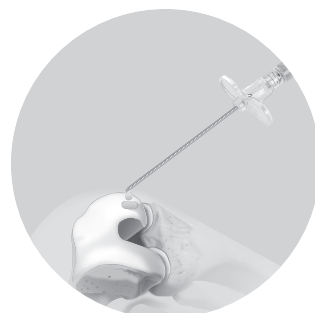


製造販売元
日本臓器製薬株式会社
大阪市中央区平野町4丁目2番3号
資料請求先：営業推進部 學術課

くすりの相談窓口 ☎ 0120-630-093
9:00～17:00（土・日・祝日及び当社休日を除く）

軟骨修復材 モチジェル®

モチジェル® は
低エンドトキシン化した
アルギン酸ナトリウム溶液を用いた
軟骨修復材です。



軟骨欠損部においてゲル化したアルギン酸ナトリウム溶液は、
骨髓液から滲出した骨髓間葉系幹細胞が軟骨細胞へ分化するために適した
3 次元的足場（scaffold）となり、これにより分化した軟骨細胞から
硝子様軟骨が形成されます。



軟骨修復材 モチジェルの詳細はこちら

<https://bm.mochida.co.jp/product/mochigel/>



クラス分類：高度管理医療機器
一般的名称：吸収性軟骨再生用材料
販売名：軟骨修復材 モチジェル
承認番号：30700BZX00165000
保管条件：水ぬれに注意し、2～8℃の環境で、
かつ直射日光の当たらない清潔な場所に保管すること。
機能区分：237 軟骨修復材

この資料は医家向けです。本製品の警告・禁忌・禁止、使用目的又は効果、
使用方法等、使用上の注意、保管方法及び有効期間等は電子化された添付
文書をご参照ください。

製造販売業者

持田製薬株式会社

〒160-8515 東京都新宿区四谷一丁目7番地

問い合わせ先

バイオマテリアル事業本部
<https://bm.mochida.co.jp/>
カスタマーサービス
TEL:03-3225-6300

ALG-002-007-1C 4/2026

Hisamitsu®



経皮吸収型 持続性疼痛治療剤

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤

ジクトルテープ® 75mg

ZICTHORU® Tapes 75mg

1枚中 日局ジクロフェナクナトリウム75mg含有

薬価基準収載

● 効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元  **久光製薬株式会社** 〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地

文献請求先及び問い合わせ先：お客様相談室 〒135-6008 東京都江東区豊洲三丁目3番3号

TEL. 0120-381332 FAX. (03) 5293-1723

受付時間／9:00—17:50（土日・祝日・会社休日を除く）

URL: <https://www.hisamitsu-pharm.jp/product/dl/zicthoru-75-7/>

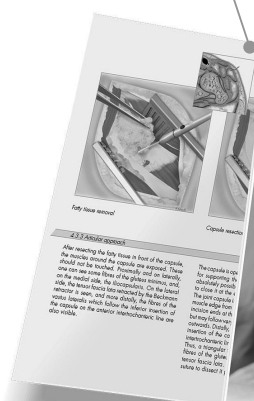


2025年4月作成

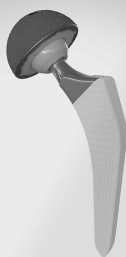
AMISTM Experience

ANTERIOR MINIMALLY INVASIVE SURGERY
IN HIP REPLACEMENT

SURGICAL TECHNIQUE



DEDICATED IMPLANTS



TOOLS AND SERVICES



MEDICAL EDUCATION



ADVANCED INSTRUMENTATION



More than an
Anterior Approach

届出番号: 13B1X10060H01001
販売名: AMIS モバイル レッグポジショナー

© 2021 Medacta International SA. All rights reserved. ref:99.98XPADV rev. MIYAZAKI2021


medacta
International 

製造販売業許可番号: 13B1X10060
メダクタジャパン株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-5 麹町中田ビル2F
TEL 03-6272-8797 FAX 03-6272-8798

  | HIP.MEDACTA.JP | 



DISCOVER
MORE



The Avenir Complete Hip System

Proven Heritage.
Operative Flexibility.
Surgical Excellence.

Avenir Complete Hip Systemは、Avenir Hip Systemの良好な臨床実績¹⁻⁴に基づき、よりユーザーフレンドリーなデザインを追求し開発されました。ステムサイズ・ネックバリエーションを追加することにより、術中の柔軟性を向上させ、再現性の高い手術を実現するために設計されたシステムです。

References: 1. Boisgard S, Brientini J, *et al.* 7-year Results of Primary Total Hip Arthroplasty with the Uncemented Avenir Stem. Hip International 2018; Volume 29 issue: 4, page(s): 418-423 2. Australian Orthopaedic Association National Joint Replacement Registry (AOANJRR). 2018 Annual Report 3. Endoprothesen Register Deutschland (EPDR). Annual Report, 2022 4. NZ Joint Registry, New Zealand Orthopaedic Association. NZJR 19 Year Report Jan 1999 to Dec 2017.

販売名：Avenir Hip システム
医療機器製造販売承認番号：23100BZX00041000
規制区分：高度管理医療機器
一般的名称：人工股関節大腿骨コンポーネント
機能区分：人工股関節 HF-4
人工股関節 HB-8-3

本資料に示された内容の著作権、商標権、及びその他の知的財産権は、特に断りのない限り適宜 Zimmer Biomet またはその支社に帰属し、これらの全てまたは一部を Zimmer Biomet の書面による許諾なしに再利用、複製、及び公開することはできません。本資料は医療従事者向けに作成されており、医療関係者以外の一般の方へ提供することは法規制等により禁止されております。【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja> にてご確認ください。

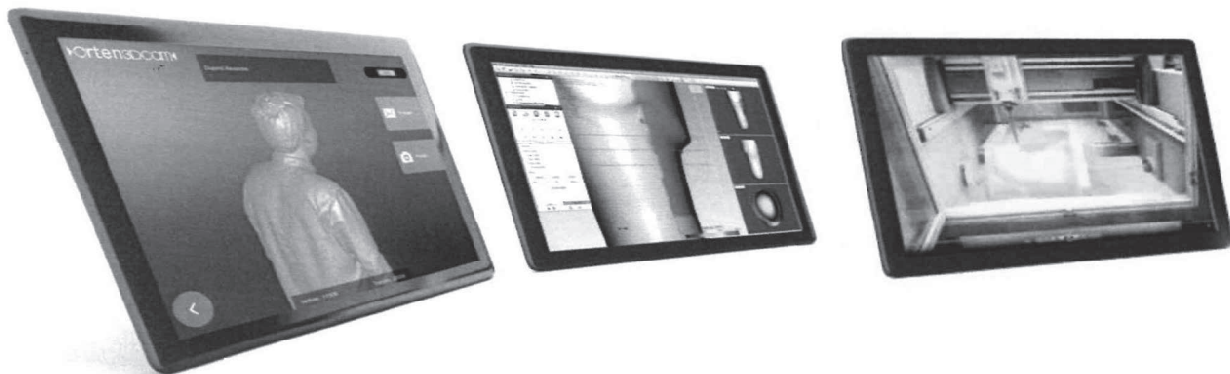
©2025 Zimmer Biomet

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>

本社 〒108-0073 東京都港区三田三丁目5番19号 住友不動産東京三田ガーデンタワー 12 階
Tel. 03-4331-8600 (代)



最先端3D CAD/CAMシステム



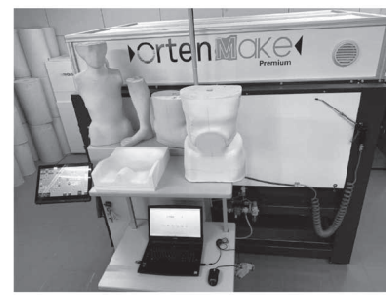
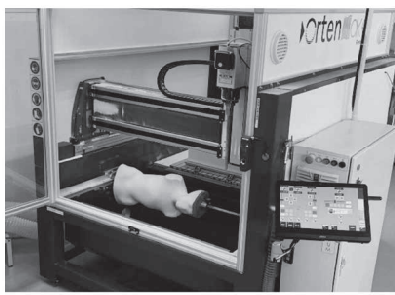
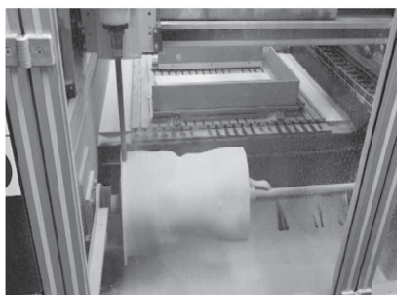
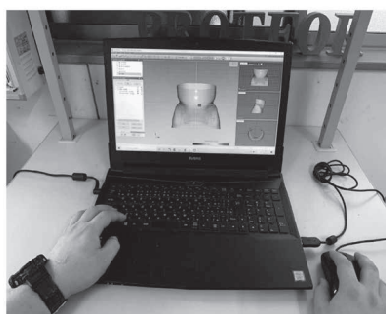
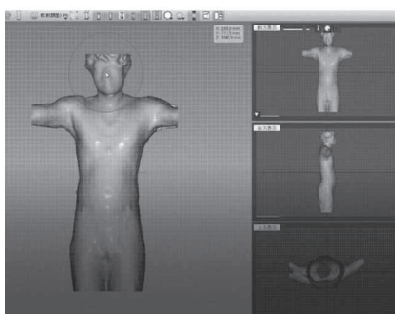
1. 3Dスキャンの非接触型採型により
患者様の負担を軽減

2. 専用ソフトウェアによる
モデル修正

3. 3D-CAM切削加工機による
モデル加工



3Dスキャンシステムで身体形状を、効率的にスキャン加工しデジタル保存



3Dスキャンの動画の紹介



上のQRコードをスマホで読み取ると動画が見れます

義肢・装具・整形靴・座位保持・車いす・介護用品・住宅改修



株式会社マキタ義肢製作所
マキタ福祉用具レンタル事業所

本社： 都城市鷹尾1丁目27街区11-2号
TEL(0986)24-6598 FAX(0986)24-6630
宮崎営業所： 宮崎市大字恒久6011-3
TEL(0985)65-6178 FAX(0985)65-6179



MEHERGEN GROUP

正面も側面もセンターセンターに!

ベストフィットネイルは、大腿骨転子部骨折に適用したインプラントです。

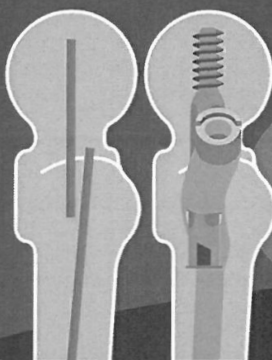
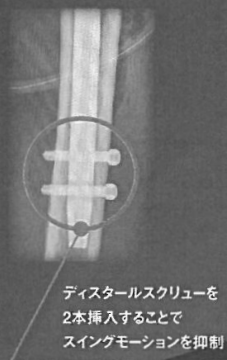
従来のネイルでは術後合併症の一つである「術後整復の破綻(髓内型への移行)」が約30~40%発生すると報告されております。

ベストフィットネイルは、「頸部軸」と「骨軸」の前方へのオフセットをネイルで再現し、ラグスクリューのスライディング方向が「髓内」へ落ち込まないように誘導します。術後合併症を軽減することが予想される唯一のネイルです。

製品の特長 *Product Highlights*

01 ネイル近位部を湾曲させることにより、
ラグスクリューホルの位置が頸部中心軸へオフセットしています。

02 ネイル中心軸と頸部中心軸のずれのため発生している後方挿入率を下げることで、
移行抑制、整復位維持向上、固定力強化が期待できます。



左右オフセットネイル採用



体内固定用大腿骨髓内釘

Best Fit Nail

CENTRAL TARGETTING

●一般的名称：体内固定用大腿骨髓内釘 ●医療機器承認番号：3010087X00006000 ●医療機器分類：高度管理医療機器（クラスIII）

お問い合わせ

〈販売元〉

b-origin

MTD MEDICAL INFORMATION DELIVERY

Fides-ONE

株式会社 ビーオリジン

〒860-0831 熊本県熊本市中央区八王寺町37-5 オガタビル102号
TEL: 096-328-7690 FAX: 096-353-1550

株式会社 エムアイディ

(本社) 〒812-0017 福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
TEL: 092-436-2555 FAX: 092-436-2556

株式会社 フィデスワン

(福岡支社) 〒812-0017 福岡市博多区美野島3-17-27-1 2F
TEL: 092-436-3022 FAX: 092-436-3023



〈製造販売元〉

ACTY Power

株式会社 アクティブパワー

〒520-3022 滋賀県東海市上鉤11-6
TEL: 077-599-5035 FAX: 077-599-5036

Best Fit Nail
製品情報サイト

<https://www.b-origin.jp/product/>



stryker



Know more. Cut less.

知るほどに、侵襲を少なく。^{1,2}



Mako SmartRobotics™

参照

1. Kayani B, Konan S, Pietrzak JRT, Haddad FS. Iatrogenic bone and soft tissue trauma in robotic-arm assisted total knee arthroplasty compared with conventional jig-based total knee arthroplasty: a prospective cohort study and validation of a new classification system. J Arthroplasty. 2018;33(8):2496-2501. doi:10.1016/j.arth.2018.03.042
2. Suarez-Aledo C, Gui C, Martin TJ, Chandrasekaran S, Lodhia P, Domb BG. Robotic-arm assisted total hip arthroplasty results in smaller acetabular cup size in relation to the femoral head size: a matched-pair controlled study. Hip Int. 2017;27(2):147-152

**Mako SmartRoboticsの特長を
動画でご紹介しています ▶▶▶**



※本製品に関するお問合せは、弊社営業までお願いします。

医療機器承認番号 販売名
22900BZX00325000 M a k o システム

Literature Number: MK09-001L_Rev1
Copyright ©2026 Stryker

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



第一三共株式会社



生薬には、
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 ㊞

Creating for Tomorrow

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、次の時代へ大胆に挑戦していくために一。

私たちは、昨日まで世界になかったものを創造し続けます。

AsahiKASEI

旭化成セラピューティクス株式会社

協和キリン株式会社

たった一度の
いのちと
歩く。

KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成

変化する 医療の最先端へ

私たちにとって、患者さんは常にすべての中心です。アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓する、私たちの取り組みの原動力が患者さんです。

私たちは、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えるグローバルライフサイエンス企業です。



詳細は[astellas.com](https://www.astellas.com)をご覧ください

